臺灣日日新報　夕刊
二月十三日

十三日未明を期し 呉淞河を敵前渡河

敵陣近くに迫つて

我◯◯◯團激戰中

【上海十三日發本社特電】呉淞河を挾み對峙中の我◯◯◯團は十二日夜來河口上流に架橋工事をなし十三日未明を期し◯◯隊一部は敵前渡河を敵陣眞近に迫り午前十時に至るも尚激戰中である

横濱路の敵陣を爆撃

戰鬪、爆撃◯機出動して

【上海十三日發電通】今朝六時十分我戰鬪機◯臺、爆撃機◯臺は横濱路の敵陣に爆彈を投下粉碎した

今曉敵を沈默せしむ

永安紡から敵機關銃の猛撃

【呉淞十三日發電通】朝來敵は永安紡績工場から機關銃の猛射をなしつつあり、午前六時我軍は山砲、歩兵砲で應戰し七時沈默せしむ、昨夜から十三日午前八時まで我軍死傷なし

今曉一時敵は全く沈默

【上海十三日午前一時發本社特電】全線に亙る近來の我軍の猛烈なる砲撃に堪へ切れず、支那軍は全部退却したものの如く午前零時半頃より砲聲全く止み沈默してゐる

閘北の戰線異狀なし

【上海十三日發電通】昨夜激戰後閘北の戰線は我警戒線で終夜を通じて一發の銃聲も起らず午前十時半尚戰線に異常なし

上海にある支那兵は十萬に近き大軍と判明

【北平十二日發電通】支那側は上海の配備軍を恰も第十九路軍の三箇師だけの如く宣傳してゐるが事實は既に浙江省の二箇師、南京の二箇師、徐州より一箇師増援され計八箇師十萬に近き大兵となつてゐる

支那機六臺上海に向ふ

【漢口十二日發電通】廣東軍の爆撃機三臺、戰鬪機三臺は上海の戰線に參加するため十一日夕長沙飛行場着十二日南昌、南京を經て上海に向つた

英米公使の停戰調停 支那側の拒絶で挫折

十二日の協議會に於て

【上海十二日發電通】英米公使は十二日午後九時呉鐵城、郭泰祺、宋子文等と會見、停戰調停に就き協議したが、支那側は自國軍隊の區域外撤退を拒絶したため調停交渉は挫折した

【上海十二日發電通】イギリス公使は十二日午後六時停戰調停の爲め呉鐵城、郭泰祺、宋子文、顧維鈞と會見、午後九時アメリカ、フランス兩公使と共にイギリス總領事館で前記四氏と協議した

コクヨ 帳簿

蘊藻濱戰での我軍の戰利品

【呉淞十三日發電通】十二日の蘊藻濱の戰ひで我軍は小銃彈三千發、小銃二十挺、機關銃一、手榴彈三、十九路軍の帽子十箇を鹵獲した

陸軍最初の犠牲者

松森上等兵の告別式

【上海十三日發電通】陸軍最初の犠牲者◯◯聯隊第◯大隊松森一等兵は上等兵に昇進十三日午後一時から◯◯隊本部で下元◯◯隊長、◯◯隊長以下戰友に依り告別式が行はれた

十二日の戰況

敵前渡河をなし クリークを越ゆ

柳家屯金家祠堂を占領

【呉淞十二日發電通】我が左翼部隊は十二日午前十一時前進を開始し、午後四時呉淞の西約二キロの地點で敵前渡河を爲し、クリークを越え午後六時最左翼部隊は呉淞西一キロ半、柳家屯金家祠堂を占領した、尚十二日の戰鬪で三輪軍曹以下四名負傷した

支那避難民に便衣隊紛れ込む

我軍便衣隊狩りを行ふ

【上海十二日發電通】休戰中に閘北から虹口に入込んだ支那避難民は約五千名に達し、便衣隊もこの間に紛れ込んだらしく、午後四時頃より我軍警備區域内各所でピストル騒ぎ起り、爲めに我軍は四時半から便衣隊狩を始めた

江灣方面で交戰

【上海十二日發電通】十二日午後九時十分頃敵は臨濱路より江灣に至る全線に亘り小銃機關銃をもつて猛襲に出で我軍が盛んに應戰し増援隊を前線に配置した

敵の逆襲悉く撃退

【上海十二日發電通】陸戰隊本部發表、北停車場より四明公所に至る敵の逆襲は午後十時半各所とも之を撃退した

敵ながら大膽不敵

夜襲を企てて大半射殺

【呉淞十二日發電通】昨夜敵の正規兵と便衣隊十名が夜陰に乗じ田圃を潜つて我◯◯隊に夜襲し來り、我が監視兵の猛射を浴び大半射殺された、我が軍は敵ながら大膽なものだと賞めてゐる

永安紡に放火

【呉淞十二日發電通】敵は十二日[illegible]永安紡績工場に放火したが午後六時に至るも明々に燃えてゐる

表と裏は違ふ 香港、廣東の警戒

新聞が好戰的氣分を煽動

香港通信員　大航生

（一）

南 支那、潮州、廈門、汕頭、廣東方面に對しては、日支兩國とも非常に愼重な態度をもつて、不測の事件が突發しないやうに警戒し、福州、汕頭、廣東各地の部分的な事件も今のところ擴大しないものと見られてゐる

廣 東政府當局としても終始冷靜な態度を保持してをり、これがため[illegible]廣東や香港で一般廣東は日本の[illegible]的行動を避けるため中央から分離して獨立せんとしつつある」との噂も喧傳されてゐる程であり一般の空氣も特に險惡を要するほど惡くなつてはゐない。廣東、汕頭、福州等の在留邦人婦女子が全部引揚げたといふことは、事態の急激險惡化を物語るものではなくて、邦人の自發的警戒の念から發したものであると見るのが至當であらう。支那人の排日的態度や日常生活の不愉快、不便等もまたこれら在留邦人引揚げの原因となつてゐることと言ふ迄もない

殊 に香港や廣東では、日支當局が非常に愼重な態度をとつてゐる。香港では英當局が昨年九月の騒動に懲りて、若し再び前回の如き事態を繰返すならば政廳及び總督の名譽を犠牲にしなければならないとさへ見られてゐる程で、其の警戒の程度も充分推想し得べく、之がため豫想された二月六日の舊正月も無事に迎へる事が出來、在留民一同はホツと一息ついてゐる

事 態の發生を防止すべく、日英支當局者は[illegible]慎重な考慮を拂つてゐるが、不良分子の跋扈や英字紙、漢字紙の挑發的記事などは、依然有識者の神經を刺戟してゐる、支那紙が殊更誇大妄想の記事を掲げ、排日感情を釀成するに汲々たる態度は、香港、廣東在留邦人の等しく憂ひの種となつてゐる所である。昨年の騒動に懲りてゐる香港政廳の檢閲當局が、これ等の記事の發表を許容し、甚しきに至つてはテレグラフ紙の如き英字紙が、誇大な「日本排斥的」文字を羅列して紙面を賑はしつつあることを默認してゐるのを知るにつけて、[illegible]の警戒が[illegible]によつて吹き飛ばされつつある事を見逃し得ないのである

ま た一方、警戒とは言ふものの對日感情を惡化し、又は好戰的氣分の煽るものに、虎門砲臺の警戒がある。同じ警戒でも、砲臺の警戒は戰爭を豫想する不安を理由とし、それがために却つて人心を不安ならしめ、一面警戒の質が異らない所の「警戒」である

爪 聞するところによると虎門要塞は既に配置して[illegible]と唱へ海軍の[illegible]士官の談によると、要塞司令官の許可なくして虎門砲臺下を通る事は之を制止すべきで、若し制止に應じない場合には實力を行使しなければならぬとの意見が頻りに主張されたものの如くである。これなどは明かに見當違ひの警戒である

その日その日

○英佛の斡旋で砲火の巷から婦女子救ひ出しの爲めに日支間に四時間の休戰――

○これで上海の日支兩國間に休戰の可能性がある事は幾分解つた、英佛としては小手調べ

○休戰中でも、ポンポン射つてる所、如何さま支那の軍隊だ、第三國も次第に支那が解つて來やう

○諸方から支那軍隊が續々上海に集中、蟻になつて來るつもりらしい

○今の上海の戰況は、横綱に幕下力士が時々突つかかつて來ては撥ね飛ばされてゐるといふ所

○この横綱が四股を踏んで悠々土俵から出て行く事になると支那側には少々事が面倒にならう

○孫科や陳友仁などいふ政治家はもう少し解つてゐると思ふといや、はや全く案外――

○コレ程支那時局に取り重大な日支關係を、相變らず將との對內關係で片付けてゐる、言語道斷

○總選擧、一向に氣乘りせず、無政府狀態さへある、政黨政治に國民が愛想を盡かした證據だ

○興論にモノが押つてゐる様なのか[illegible]の現在「乘り後れ」としても少々遲過ぎる

○コレでは仕事もできぬし日新の進運に歩調も合せ得ない、更に角早く足並を整へる事だ

元英航空隊司令に 支那が招聘交渉

空軍總司令として

【ロンドン十二日發電通】元英國航空隊司令キングスフオード・スミス氏は支那政府から航空軍總司令の招聘を受けたが、同氏は言明を避け、唯支那から飛行機數臺の譲渡方を申込んで來たと語つた、尚同氏の友人は顧問位ならば兎も角現役の司令官に就任は不可能だらうと云つてゐる

故倉木少佐の遺骨歸る

【横須賀十三日發本社特電】呉淞の攻撃戰にて名譽の戰死を遂げた倉木少佐以下七名の遺骨は十一日午後三時上海發、十二日午後佐世保着、陸路十六日横須賀鎭守府に到着、十七日午後二時海軍合同葬を行ふ筈

無絃琴

有力な政治家を狙撃する者の多いのに鑑みしての發言に曰く「濱口首相が明るい政治をやつてゐるのに之を狙撃し、續いて井上前藏相が狙はれた、こんなに不都合者が飛び出すのは此種の犯人に對する刑罰が今日迄餘りに輕きに過ぎた爲めではないか、天下の輿論によつて是非之を改め斯る刺客に對しては極刑に處して貰ひたい▲原首相を刺した中岡が貯金までして悠々と出所して豪華に暮してゐるといふ事では仕方がありません」▲白耳義大使館の芦田均君は、外國にゐてゼネバの模様など見て日本や滿洲といふものに對する諸外國の認識が如何にも不足してゐるのに驚かし、之ではならぬ、もつと全世界人をして明確に日本を認識させねばならぬとあつて自ら職を辭し今度の總選擧に出馬する決心をしたのださうだ▲新進外交家までが斯うした認識を持つて至つたことは何しろ結構な事で、日本も之から次第に精神的に立直しができるだらう

人事

▲[illegible]氏　須有福氏と共に十四日午前の急行にて新營へ

▲一宮[illegible]太郎氏（[illegible]重役）十三日北投より來北十四日南下

▲[illegible]金三郎氏（[illegible]監査役）十三日北投より來北十四日南下

▲一宮[illegible]氏（大日本製糖會社[illegible]）十一日北投より來北十四日南下

火の鳥

【17】

中村星湖作
吉木雅生畫

見果てぬ夢（六）

「かた屋」も來た「はさみ屋」に似た見せ物を見せた。名前が違つてゐるだけに、やつて見せる趣向は違つてゐたが、その趣向を示す者はやはり裸體の女だつた。人間の猥褻な慾望を挑發する爲めに工夫された破廉恥な見せ物のうちの、最も極端な物に過ぎなかつた。

「かういふ露骨な物に比べたら、マルセイユあたりの「のぞき」なぞは、至極あつさりした物だ。」

「はさみ屋」はまだしも、多少の技巧を弄して、淫猥感をも伴ふが、「かた屋」に至つては、實に甚だしい物だ。快感を與へずに醜惡の氣分だけを殘す。」

自ら望んでかういふ所へ案内させた久慈氏も、實地に臨んでみるとさすがに厭いたらしく、一巣に力を籠めてそんな事を言つた。

「誰しも好奇心から一度位るは見に來ますが、一度で大抵氣持を惡くしてしまひます。」と小田は言つた。「これから、ムーラン・ルウジユへでも行つて、すつかり氣分を換へませう。今見た二つの見せ物に比べたら、ムーランやフォリイの踊りの踊が、どれ程藝術的の心地よさを持つてゐるかといふ事がお解りになります。」

秋山は、その時、二人の話を聞きながら、默つて考へてゐた。かれが常に惡んでゐた「夢のパリ」のどん底にも、かういふみにくい現實が横はつてゐる事をかれもかねてから聞いてゐないではなかつた。いよいよそれを見せ付けられた瞬間の氣持は、案外平氣なものだつたが、さて今となつてみると、とても名狀することの出來ない氣持になつた。それは久慈氏の感じた醜惡や嫌惡に近い物とも言へるが、それよりも寧ろ、侮辱とか恐怖とかいつた方が近いのであらう。

「小田君は何う思ふかね？」とかれはその友達に訊ねてみた。

「僕は、珍らしい物を見たといふよりは」と小田は答へた。「有りふれた物を見たといふ感じだね。[illegible]人間は生れ來ても、ああいふ興味は持つてゐる。ただ、その興味を大抵人間は抑へたり隱したりしてゐる。それを剥き出しにして見せるとああいふ事になる。見せる者も見る者も、醜しいと言へば醜しいが、大した問題になる事ぢやない。要するに一種の遊びだもの。」

「さうか知ら？」

「僕はあれなども文明國の國にのみ見られる病氣とでも思ふのかい？僕はさうは思はない。ああいふ興味は原始野蠻の時代から人類すべてが持ちつづけた物だと思つてゐる。」

「それは言ふまでもなく解つてゐる事だが、僕の言ふのは、つまりああいふ醜惡を商賣にして生きてゆく人間への憐れみと、ああいふ醜惡を見に行つて樂しむ人間への、自分自身もその一人だが、さういふ人間への憤りといふやうな物が感じられるんだ。」

「それは、君の氣持を[illegible]を感ずる[illegible]だけだらう。」

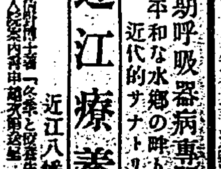
「いや、さうでない。自分に聞かされ、神秘視せらるべき事なり物なりが、それを見せ物にする者のために汚されてゐると思ふのだ。僕はああいふ事だけをやつて見せるとか見るとかいふ事よりも、同じやうに金錢の授受はあつても、もつと自然だし、もつと正常だと考へる。」

「それはさうかも知れないが、僕にはまた人間の一つの特徴的興味としても、色々な意味で興味だよ。」

「僕もその[illegible]の一人だつたが近頃すこし怪しくなつたんだ。」

「それには僕のやうに普通の家庭生活を送つてゐる者と君のやうに永く孤獨の生活を送つてゐる者との間の違ひだらう。やむを得ない事だね。」

「大分むづかしい議論だが」と川崎青年が口を入れた。「僕はやはり[illegible]のせいか、秋山さんに同感[illegible]、[illegible]ら[illegible]ないです。秋山さん、一緒に何處かへ行きませう。」



初期呼吸器病專門
平和な水郷の畔りの
近代的サナトリウム
近江療養院
近江八幡町郊外
[illegible]

メンソレータム
MENTHOLATUM
明朗に輝く
三月のお肌に
祝福あれ
淑女方の
健康美も
メンソレータムの
ご愛用から
價
二十五錢
四十五錢
九十錢
一圓八十錢
特効
お手足のアレ止
[illegible]

滿蒙建國會議
十八日から開會
馬占山張景惠も出席

【奉天十二日發電通】長春にての滿蒙建國會議は十八日から開會に決し臧式毅は馬占山、張景惠、湯玉麟に召集狀を發すると共に吉林の熙洽にも使者を派し、開會準備にかかり馬占山、張景惠は自ら出席すべく、湯玉麟は代表を派す筈、臧式毅も張海鵬、于芷山、奉天市長趙欣伯と共に出席すべく熙洽も列席の筈

特別總會開催の
要求權限を保留
顏代表の通牒內容

【ゼネバ十二日發本社特電】顏代表のドラモンド事務總長に手交した通牒內容は、規約十五條に基つき總會召集の絕對的要求でなく、右は十五條の期間滿了後も適當の時期に特別總會の開催を要求し得る權限を留保したものなる事が判明した

總會召集の希望
顏代表から通告
ドラモンド總長に對し

【ゼネバ十二日發電通】支那代表顏惠慶は十二日午前十時五十分事務總長ドラモンド氏に對し聯盟理事會が聯盟總會を召集されたしとの希望を通告した

十五條による解決策
全く總會に移る
總會召集の責任をとる事を
十二日理事會で拒否に決す

【ゼネバ十二日發本社特電】本日午後五時半から開かれた理事會十二國會議は理事會として總會召集の責任をとる事を拒否する事になつたが、その結果日支紛爭の規約第十五條による解決策は全く總會に移り、理事會は領土並に政治的獨立の保障に關する第十條並に

戰爭の脅威ある場合に關する第十一條の適用だけが理事會に殘される事になつた、併し總會の開催迄には相當の期間に亙る事を豫想し、その開會期日は當分見込みたたず、問題の實際的解決は遲延され、支那代表部は總會要求で却つて不利な立場に陷り狼狽に終つた態である、日本代表部も又斷然たる態度をとり今後とも各理事國代表の間に諒解運動がましき事をせぬ事に決したので、聯盟當局も

板挾みの恰好となり、行詰まれる局面の打開に腐心してゐる、尚理事會は來る十五日公開會議を開き理事會の立場を公表する筈である

總會召集
意見一致せず
英代表强硬に反對

【ゼネバ十二日發電通】支那代表部の要求に依り十二國理事會議は十二日午後五時四十五分開會、非公開にて協議したが、總會召集に就ては遂に意見の一致を見ず、十五日公開理事會を開き理事會として總會を召集するか又は支那の發意に依り總會召集の形式を執るかを決定することとし、七時三十五分散會した。同會議席上イギリス代表サイモン外相其他は支那の要請に依り理事會の權限として總會を召集するに强硬に反對した、又聯盟當局は聯盟總會の召集を回避すべく上海に於ける列國公使の斡旋を希望しつゝ支那の諒解を求めたが顏代表は之に飽くまで反對した

日支問題外は
議了せん

【ゼネバ十二日發電通】第六十六回聯盟理事會は十三日午後の公開會議にて日支問題以外豫定の議事全部を議了する筈

尼公上人日程

信州善光寺尼公上人の十四日以後の本島視察日程は左の如くに決定した

△十四日午前十時北投下山、總督官邸訪問、商品陳列館植物園、（五時旅館にて休憩）博物館研究所、龍山寺、中辻喜次郎氏宅、淨土宗、後藤法院長宅、近藤商會、岡今吉氏宅、午後六時放送局放送、五時旅館少憩十時三十分夜行列車にて南部へ出發

△十五日高雄午前八時着、高雄州廳訪問、壽山見物、十時臺南着、州廳、臺南神社參拜、孔子廟、安平、赤嵌樓見物、午後二時嘉義着、嘉義神社參拜、阿里山營林所見物、午後四時北港着媽祖廟參拜、北港大日本製糖工場にて宿泊

△十六日同工場出發、午前十時臺中着、州廳、臺中神社參拜、[illegible]見物、午後四時[illegible]午後[illegible]時臺北驛着、同五時半北投着別院に歸着

△十七日より二十三日迄は北投同別院にて臨濟大法要修行あり

△二十四日角板山見物

△二十五日草山溫泉入湯

△二十六日午後二時臺北驛發にて信州本山歸還

松尾部隊の遺骨還る

[illegible]東方社家宅にて名譽の戰死をとげた松尾部隊二十三勇士の遺骨は本七日午前品川驛著直ちに目黑の原隊に運ばれた（寫眞は品川驛著の遺骨）

三國代表の演說
十二日の軍縮本會議

【ゼネバ十二日發電通】國際聯盟軍縮會議は十二日午前十時開會、スペイン、デンマーク、チエツコスロバキア代表より左の如き演說を行ひ午後一時散會した

ズルエタ外相（スペイン）スペインは左の七項を要求す

一、攻擊的武器の全廢

二、戰爭用器材貯藏の制限並に貯藏所公表

三、武器軍需品製造の取締

四、軍艦の最大噸數を一萬噸以下に制限し且つ備砲口徑を二百三ミリ以下とす

五、潛水艦を一千噸以下としその行動範圍を制限す

六、商船の武裝を禁止す

七、軍用航空機を廢止し民間航空機關を國際管理とす

以上の外スペインは非人道的戰爭材料廢止、陸軍の人的器材を國內の治安維持、國際協調軍に對する寄與に必要な程度に制限すること、海軍を沿岸警備、國際軍に使用程度に縮小すべき事を主張す

ミユンヒ氏（デンマーク）フランスの國際警察案に賛成し聯盟規約第十六條の侵略の定義と制裁方式を明確にするため調査委員會の設置を主張す、尚この際國際信用の回復を圖らねばならぬ

ベネツシユ外相（チエツコスロバキア）軍縮政策として余は左の諸點を强調す

一、國際紛爭に對する信用の回復

二、本會議は先づ軍縮條約を締結し數年後の改訂において軍備撤廢を開始すべし

三、各國は軍備狀態を交換報告すべし

四、軍縮委員會を常設すべし

五、各國の兵員數及び武器の製造貿易に付き一層嚴重な管理を施す

六、毒瓦斯、バクテリアの使用を禁ず

七、國際軍隊創設フランス案を承認すべし

八、軍備縮小への途を拓くため現條約案を採用すべし

九、チエツコスロバキアは現在の兵役年限短縮を爲すことを言明す

尼公上人歡迎
茶話會

十四日淨光寺尼公上人臺北各寺院[illegible]同午後三時三十分[illegible]別院にて[illegible]志は尼公上人並に一行の歡迎茶話會を開催する

立候補者總數は
七百二十名內外
無投票は八選擧區か

【東京十三日發電通】普選第三次總選擧も愈々一週日の後に迫り、立候補屆け出は十三日午後十二時をもつて締切られ、茲に全國の立候補者は一先づ確定することとなつたが、今回は不景氣のため選擧資金の調達意の如くならず、候補者の出足も極めて鈍く、その數も著しく

減少し 結局七百二十名內外に留まるものと見られ、普選第一回の九百六十五名、第二回の八百四十名に比すれば非常の減少である、而して警保局調査に依れば十二日までの形勢では左記八選擧區が無投票區となる模樣である

△大阪六區（定員三名）井阪豐光（政）松田竹千代（民）山口義一（政）

△岐阜三區（定員三名）牧野良三（政）古屋慶隆（民）平井信四郎（政）

△新潟一區（定員三名）山本悌二郎（政）田邊熊一（政）民政一名

△同四區（定員三名）鈴木義[illegible]郎（政）武田德三郎（政）民政一名

△山形二區（定員四名）佐藤啓吉（民）熊谷直太（政）清水德太郎（民）松岡俊三（政）

△千葉二區（定員三名）鵜澤宇八（民）鳩山秀夫（政）今井健彥（政）

△山口一區（定員四名）久原房之助（政）保良淺之助（政）[illegible]太郎（政）藤井啓一（政）

△大分二區（定員三名）綾部健太郎（政）清瀨規矩（政）民政一名

尚山口二區、福岡三區は十二日に至り突如

無競爭 の形勢破れたが、關係者間の交涉に依り或は無競爭區となるかも知れぬ

遠藤千元氏
選擧違反
檢事局に召喚

【東京十三日發本社特電】東京第三區民政黨公認候補遠藤千元氏は十二日午前十一時檢事局に召喚、選擧違反で取調べ中

水南洞海岸の
珍風景
又も採金熱が勃興した

【基隆電話】金瓜石附近から基隆郡下の採金熱は又復猛烈な勢ひで燃えはじめてゐるが、瑞芳庄水湳洞海岸ではこの程から近郷の部落民が總出で笊を以つて海岸の砂を掬ひ、附近の川で砂金採取をはじめ、一人一日七、八十錢の收益を擧げてゐるか、波の打ちあげた跡など老幼男女百數十名が血眼になつて入亂れ競つた風景を描き出してゐると

獻金

大稻埕太平町元發商店に勤める元發商行の兩店員は各百圓宛何れも兵器獻納金として城北分會を通じてその筋へ獻金した

捜査に行つた
巡査を袋叩
本島人三、四十人が

【新竹電話】八日午後二時四十分頃新竹州竹東郡橫山庄八十分字[illegible]三五にて賭博中の同所四〇劉[illegible]金（三〇）外四名を犯罪捜査に赴いた岸、羅兩巡査が承諾を得て所持品を檢査取調べんとした所附近に居合せた三、四十名の本島人が毆り殺せと罵言を吐き兩巡査を包圍手毆を以つて暴行を加へ、羅巡査は治療二週間の傷害をうけた、[illegible]は公務執行妨害として目下關係者取調べ中

涅槃法會

大聖釋迦如來入滅の當日たる二月十五日臺北佛教各宗寺院聯合主催にて樺山町曹洞宗別院にて涅槃會を修し法華寺住職岡田泰道師の講演あり各宗僧侶一般の參詣を希望する

全島の產業組合が
飛行機獻納の美擧
臺北市內組合から飛檄

現時我が國家多事の折柄吾々と或は個人として或は團體として愛國心の發露を示してゐるが、此處にも亦一大美擧が計畫されつつあるといふのは全島の產業組合が擧て醵金し產業組合愛國號なる飛行機一臺を獻納しやうといふ偉大なる目論見である、本島各地における產業組合關係者は期せずして各々別々に三月六日の產組

記念日 を卜し[illegible]組合から

一萬圓 [illegible]獻上し[illegible]

時より鐵道ホテルに會合し協議した結果、全島四百の產業組合に檄を飛ばし、以つて產組愛國號とも稱すべき飛行機を獻納してはといふ事に意見が一致した、大體の計畫としては八萬五千圓の費用を醵出する方針で、二十六萬五千人の組合員の組合が漏れなく自發的に醵出することとなれば八萬五千圓やそこらの金額は立所に集まるから、世話役の人も[illegible]しをやらねばなるまいと喜んでゐる位だ、以上の事は未だ全島的に具體化してゐないが各地の產組としても一つもイヤをいふものなきに極まつてゐるから必ず實現するに至るであらう、之が

實現の曉 は本島の[illegible]

智榮尼公上人が
講演を放送
十四日夜臺北から

來臺した善光寺の大本願智榮尼公上人は十四日午後六時三十分より臺北放送局マイクロホンの前に立つて今回畏くも故北白川宮殿下の御姉宮たる同尼公上人の御來臺を奉安して北投の善光寺と本山別院に於いて法要を執行するに至つた事につきその間に於ける奇しき因緣等に就いて講演をなす事になつた

制裁規定適用を
英聯盟協會決議
日支紛爭に對して

【ロンドン十二日發電通】イギリスの聯盟協會では日支紛爭に對し斷然聯盟規約の制裁規定を適用すべき事を決議した、右は聯盟協會創設以來の事である決議の內容は

一、聯盟總會召集

一、米國と協調し日支兩國に均しく外交的、經濟的壓迫を加へる事である

大阪ひの學校繪畫展

（舊廳舍にて）

刑事の家で
阿片の押賣
早速捕はる

【基隆電話】十三日午前八時頃基隆署司法係張刑事宅に一人の本島人老爺が訪れ、阿片煙膏約一匁をさし出し買つてくれと哀願するので同刑事は知らぬ顏に色々說聞の後補繩を取り出すと老爺は吃驚して逃れんとするのを引捕へ本署へ引致したが右は堀川町九一[illegible]と云ひ留置場に取調を依賴され刑事の家とも知らずに舞込んだもので阿片は飛んで火に入る夏の蟲と大笑ひである

早大北部校友會

早稻田大學臺灣北部校友會では來る二十日（土）午後五時より大稻埕江山樓に於て春季大會を開催するに付[illegible]校友諸氏も多數出席されたいと（會費は二圓五十[illegible]）

第二高女音樂會

[illegible]十四日（日曜）[illegible]第六回音樂會を催す事となつたが合唱獨唱の外に同校獨特の唱歌舞踊等二十數番ある筈同窓生父兄の出席を希望してゐる

中壢青年團の
自轉車遠乘り

【中壢電話】中壢青年團の自轉車遠乘會一行卅餘名は吳團長引率の下に十四日午前六時中壢を出發、龍潭、關西、新埔を經由して十時新竹着新竹神社參拜、その他を訪問して同日歸着の豫定で、當日は郡守、庄長、郡視學、庶務課長、松尾視學、黃街助役等も一行に參加する

婦人修養會獻金

去る七日鐵道ホテルにて軍器獻金及び對岸よりの歸還者慰安の夕を開催した婦人修養會は昨十二日利益金百六十四圓八十錢を臺北市役所を經て軍器購入費として獻金した、尚同婦人會は一月十一日社會事業に盡した功により[illegible]會より表彰された

乃木講演會

乃木講演會は十三日午後七時より臺北稻荷神社社務所二階にて開かれるが當日の講演者及び演題は左の通り

一、神ながらの道修理固成之卷　臺北稻荷神社社掌　伊東伊代吉

一、海軍常識　海軍武官大佐　鈴木新治

一、修興新講談『本能寺』　久保田桐蔵

ウエルカム

▲我國祭日は三大節たる紀元節であるのに國旗を出さぬのが多數あつた、何とかできぬものか（非國民）▲レプラ又も蔓延する當局は何をしてゐるのか（エイ生）▲[illegible]に用ひらるる品物を常用するは[illegible]多い[illegible]せり（メートル法生）▲三十一日[illegible]一圓拾ひ派出所へ屆けあります（拾得者）▲十四日の[illegible]無料公開音樂會こそ市民待望の夕だ（鈴之生）▲[illegible]小學[illegible]父兄たちもつと考へて下さい（四年一年生）▲[illegible]氏の告別音樂會に盛大にしたい（大人）▲子供が足を折つたのを自宅まで運いた方お禮を（新生）▲淡水郡役所郡長さん管下派出所の[illegible]を監視して下さい（ひどい生）

商況
十三日

米況

正米市況（前場）

[illegible]

大阪期米

[illegible]

天氣概況（十三日）

本島及沖繩方面は引續き風弱く晴れ又は快晴の好天氣で海上も至極穩やかとなつて居ります

▲天氣豫報（十四日）

北部　北乃至東の風弱く晴れ後曇り

南部　北乃至東の風弱く晴れ後曇り

各地氣溫（十三日）

[illegible]

東京期米

[illegible]

神戶期米

[illegible]

株況

大阪定期

[illegible]

大阪長期

[illegible]

許特賣專
脚氣と營養にアベリー
全國著名藥店に販賣す
詳細說明書進呈
粉末アベリー
液狀アベリー
錠劑アベリー
注射用アベリー
第一製藥株式會社

イカリソース
原料は野菜と果實
獨特の葡萄酢を配す

公社債諸株式賣買
長期短期
清算取引
大株一般取引員
松井輝三商店
大阪市北濱二丁目

かな川端ゴルフ場

りん病
世界一療法

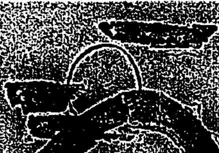
おみやげには臺北名物
メロー
京町一丁目
メロー商會

かるかん
內地送り
春日堂

福福[illegible]

恩給立替
三成社

メガネの御用は
和田眼鏡製作所



殘月譜 (103)

志乃田迪司作
清水三重三畫

大根と傘（九）

……すると、その時、さつ、と飛び込んで來た者があつた。

吉次を押へて居る仲間の襟首を取つ捕まへて、後ろへ、ぐんと引き倒した。

「な、な、な。」

仲間、泥だらけになつて、跳ね起きやうとして居る。

「おつ！大根屋かつ。」

「あつ！」

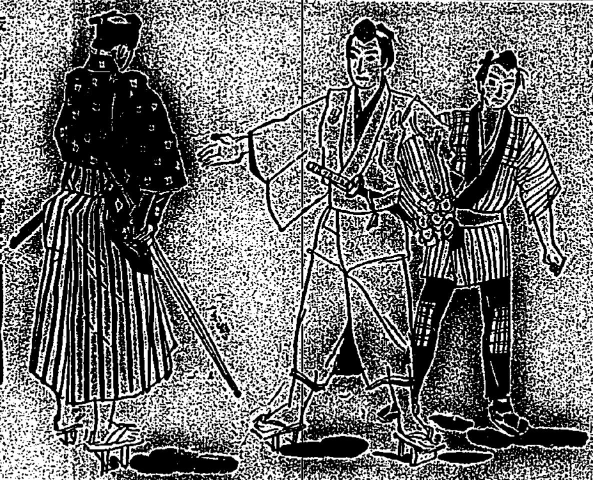
吉次は、一氣に取り圍つた。片手に、仲間だけ仕上げた雨傘を一抱にして、立つて居たのは須吉次であつた。

「ち、畜生！」

「どうしたんだつ！」

吉次は、無念氣に。

「おらか、おらか、大根賣つて居たら、めちやくちやに、突つ掛かつて來たんぢや、それで、おら、[illegible]



大根打つけてやつて、大分投じちやつたんぢや、それを、追つ駈けて來たのぢや！阿呆やーい、五人も掛かつて、あ、阿呆やーい」

喜助は幽に困るものだから、めちやに、取つついた。

吉次は、それを後に庇つた。

後岡が前へ出て來た。

「退けつ！」

「退きませぬ。」

吉次は、油斷なく眼を配つて居る。

「退けと云つたら退けつ！」

「退かぬと云つたら、退きませぬ。」

「うぬつ！。」

「こんな小僧、お許しなされて下さいませ。」

「おら！詫びることはないや、あんな奴に！」

喜助が又しても、いきり立つ。

「まあ、ええ。」

手で制して、吉次は。

「取るに足らぬ大根賣で御座います。」

「いーや、ならぬ」

後岡は小さい身體で怒鳴つた。

「ならぬ、ならぬ、無禮な奴ぢや叩つ斬る！」

「えつ！」

「叩つ斬る！、どけつ！」

吉次は默つて五人を睨めて居る。

「きさまは一體、誰ぢやつ！」

小久江が叫んだ。

「見知つて居るぢやらう、御家老の御子息後岡さまぢやて、わしは小久江ぢや、それから牧田ぢや、判つたか？」

「判りました。」

「きさまは誰ぢや？」

名乘つてから威丈高になつた三人は、後の二人にちらりと微笑を見せて、吉次の傘の柄仕上げを眺

した。

「須賀吉次で御座います。」

假正面を見たまま、吉次は答へた。

「須賀ちやらう」

「はい」

「須賀の傍に、大根屋が佇び立てすると、其方も許さんぞ。」

「どうせ、その大根屋と奴ぢやらう。」

小久江が役内に云うた。

「さうかも知れませぬ」

吉次が、都に添じさうな笑みを浮かべた。

「さあ、出せつ！拜來の子の分際で、邪魔立てすると承知せぬぞ」

「出しませぬ。」

「出さぬ？」

「けいっ！」

「ようし、きさまが對手だ、[illegible]せい！」

後岡が、竹刀を振り上げた。

社交ダンスの渦を巡って（二）

カフェのダンス時代

昭和三年と云へば內地、それも特に阪神地方にかけて社交ダンス流行の

爛熟期で

ある、ソシヤルダンスが神戸、橫濱などの港々に逼塞してゐる間は港々のローカルカラーとして社交ダンスも限定的傾向を持續してゐたが、どうステップを踏みあやまつたのか社交ダンスが一度浪速の商業地に轉げ込むや前垂れ角帶商人の算盤に乘せられ[illegible]お商品化されて了つた、そして資本の注入である、資本化である、大阪商人の手にかかつた社交ダンスはお客を躍らす前に先づ社交ダンスその者が踊らせられた

昭和元年

頃には未だ
―ソシャルダンスてなんや
だつたものが、昭和三年には
―あんたダンス踊れまつか
―とんと駄目だす
―そんなやつたら時勢に遲れまつせ、始めなはれ
と言つた調子になつて來た、そしてダンスホールの殖えるに何倍かいや何十倍かしてダンスファンは急激に增加して行つた

× × ×

その頃である「內地から」と肩書付で呼ばれるシークボーイ或はシークボーイ氣取りのダンス病患者がマルシップの舷傍に[illegible]を報入して來た、彼等の或者は出張の名目で、又或者は轉勤に依つて

渡臺した

のであるかいづれにしろ彼等は先づ第一番に、[illegible]情緒を[illegible]、[illegible]情緒か何處に潛んで居るかは知らないが、北條セレネードの物悲しいメロディーにひかれて差しあたりカフェーのドアーを押すのが順序ではあるまいか、彼等が腕先の感傷とグラスに泡と盛つて飲む程に、醉ふ程に、內地風の少々は吹かせやうと云ふものである

―ねー君、臺北にダンスホールあるかい
―そんなものないわよ
―盆踊ンてとこ話せネーな
―お氣の毒さま
―ちや君ダンス出來るかい
―ご生憎さま

其の夜彼

氏は[illegible]唄に[illegible]するのみで引揚げたにしろ、カフェの彼女達であればモダニティーに對する憧れを持ち續けてゐるであらうし、又彼氏とて郷愁感は把持してゐるであらうから、やがては

―ねえ、ダンス教へてやらう

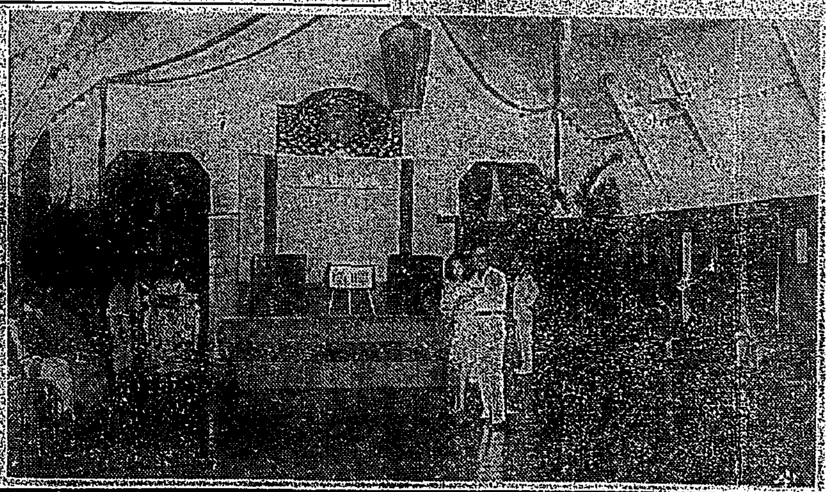
てな事にならうぢやないか、かくて彼女達のヨチ〳〵ヨタ〳〵の危つかしい足元がやや物になりかけた頃から蓄音器屋ではダンスレコードの賣れ行が増し、カフェからはグラスのかち合ふ音を消して床をこする靴音がもれて來始め、遂にカフェのダンス

謳歌時代

を現出した

× × ×

だからこそ昭和五年九月二十日に[illegible]のカフェ・ライオンの階上ホールで本島最初のダンシング・パーティーを催した際には、豫定の[illegible]に二倍したファンがワンサワンサと押しかけたといふ、尤も中には「ダンスてどんなものだつしやろ」の手合であらうが男五十人女三十人は[illegible]エンジョイしたといふから大したものである（寫眞はコロンビヤ・ダンシング・パーティーの會場）



中華百合影片公司特作品

清宮秘史（全十卷）

二月十四日（[illegible]）より三日間永樂座において上映

主演 王元龍 湯天繡 [illegible]

【解說】支那清朝の末路と國民黨革命の情勢を描いたイデオロギー映畫[illegible]の映畫であるだけに所々カットされたため前後の連絡を缺いた憾みはあるが全篇を通して多年の內亂による荒廢の過程と兵亂と大饑饉とで支那多數の民が餓死線上を彷徨してゐる悲慘な場面及び一部奸惡なる爲政者に誤られた清朝がそれら民衆の怨嗟の聲に[illegible]革命軍の進擊をも意に介さずに朝に夕に[illegible]と[illegible]とを恥とする場面は效果的に表現され常に內亂續出の狀態を造りつつある支那爲政者の正體[illegible]はその雰圍氣に置かれた支那民衆の行きつくべき過程を[illegible]に暗示してゐる

【梗概】清の末期政事[illegible]れて四邊に兵火起り人民流離しその極に達したのにも拘はらず當時の攝政[illegible]親王は民を救ひ兵を[illegible]めようともせずに唯奸臣王幼の甘言を容れて日夜[illegible]の誕生日を利用して各方面より賄物を貪り懷を肥やさん事のみ計つた

× ×

奸臣王幼は絕世の美人鳳英を[illegible]王に獻上すべく甘言巧に王少慶を欺いて夫婦を離し鳳英を[illegible]招じ入れた

× ×

果して[illegible]親王は鳳英の艶姿に動かされ[illegible]後宮に一番を賜はつたが王妃又嫉妬のあまりに王少慶を要し端王の大事な翡翠を王少慶に[illegible]つたので宮廷內に於いて[illegible]の四角關係を中心に時ならぬ波瀾をまき起した

× ×

遂に端王は鳳英を得べく詭計を弄して王少慶に官職を與へ邊境に派遣した後鳳英を殿室內に召し欲望を遂げんとしたが鳳英良く貞操を守り權力王に抵抗したために端王の怒りを買ひ宮に監禁される身となつた

× ×

その後鳳英は宮內脫走を試みたが果されず遂に良人王少慶に[illegible]を[illegible]し宮女に託して悲慘の自殺をした、召使の[illegible]により始めて端王に事を[illegible]れた[illegible]を知つた王少慶は第一線の陣中で悲憤慷慨して官服を裂いた、折しも前線の味方が敗戰し意氣地無い兵士が蜘蛛の子を散らすが如く總退却する中を一人王少慶だけは端王の詭計を恨みつつも勇敢にも敵陣に踏み留まり全軍を指揮したがそれは甲斐無き事であつた

× ×

斯くて內亂は國民革命軍の勝利に歸したが王少慶の行方又は[illegible]の末路果して如何に？本篇はそれに答へる明確な解答を避けて[illegible]にかける[illegible]王の[illegible]の哀れを[illegible]として結末の結論としてゐる

名家敗退將棋（一）

（志澤氏一回勝二人目）

左香落 △六段 小泉兼吉
▲四段 志澤春吉

△七六歩▲三四歩△六六歩▲八四歩△七五歩▲八五歩△七七角▲九四歩△七八飛▲九五歩△六八銀▲六二銀△六七銀▲六四歩

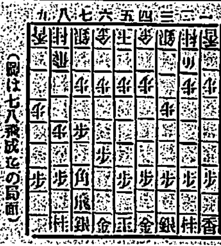
▲志澤四段曰く 三四歩と角道を開ける手で直ちに八四歩と突く順もあつたが小泉氏は輕い特徴の人で知つて不利が出來さうで自重した

▲小泉六段曰く 七五歩は定法形であるが他の順を用ゐても結局は七筋の位を張つて置くべきでせう

▲志澤四段曰く 六二銀の順となれば全く定法通りで香の損は充分取つて居る筈ですが輕い變化を作られる惧れがあつて油斷は禁物です

▲小泉六段曰く 六七銀は敵の模樣を見た手で四三玉と趨せば六八角の順に七六飛と位を張る趣向である

▲大崎八段講評 下手三四歩は當然の運びで直ちに八四歩と突くは[illegible]指しと稱し古來指せもあるが力指しで危險が多い上手七八飛は定法通りとなり變化は[illegible]くとも研究し盡された形で賛成が出來ない七八銀と六七に越して敵の模樣を見るべきである



（圖は七八飛迄の局面）
持駒▲志澤 ナシ
持駒△小泉 ナシ

高木新平一座
榮座の亂鬪劇

◇鳥人高木新平生野初子兩優の共演亂鬪劇は十一日より十七日迄榮座で開演してゐる、元來が身輕な猿のやうな輕快な活劇振スクリーンの上で縱橫無盡に「[illegible]」の あの呼吸でナギ立てる其の輕快さは榮座の舞臺ではチト狹過ぎる

◇生野初子嬢得意のヴァンプ振をキビ〳〵と剃刀庖丁の斬味を見せてゐる、その上仲々の別嬪なので爽に魅惑さを增す

◇要するに活劇趣味の擬物を見てゐるやうで、輕く愉快に頭を[illegible]ろだ

◇新平の澤正張り恐ろくない「オー鮭が嗚く[illegible]の音も次第に消えつてゆく人間もあの通りだ…」なんて科白のくだりなど[illegible]が、數三十餘名が舞臺に現はれこの大立廻り大車輪のトン返りは痛快 惜ませぬところが特長、だが[illegible]

淋病、消渴は世評の如く不治なるや？

妙藥「ナイセル」の新發見
急性三日、慢性一週間で全快

今まで淋病は絕對根治できないものと世人は勿論專門家も往々信じてゐたものです、[illegible]決して全治せないと言ふ事はありません。只この病は他病に比して特に攝生如何に依り治療上非常に關係があります、依つて一意專心根治に向つて攝生宜しきを得、且つ信頼すべき妙藥を信念のもとに服用すれば治療する事は[illegible]に依つて證明が出來ます。然るに此の病氣は他の病氣の樣に起きて居られぬと言ふ事がないから痛や[illegible]がとれると途中で[illegible]になりがちで治療せない內に服藥を止めて終ふので中々根絕が困難であります。然らば淋病妙藥を服用して攝生宜しきを得れば百パーセントの全治をするかと申しますと此れは淋病に限らず他病の妙藥でも決して百パーセントの全治をさせる理想的妙藥とは如何なるものであるかと言へば其全治率の最も多きものを以て妙藥とせねばなりません然かも幾萬服[illegible]せらるゝ此靈藥は數百服を以て數ふるも一つとして如上の目的に添ふ淋病治療藥は絕無と言つてよいのであります[illegible]そこに[illegible]と「ナイセル」の如きは[illegible]者の總てが其效果の的確な[illegible]本病に[illegible]と言ふ[illegible]に添ふ[illegible]信用して各種の諸大病者に添ほす[illegible]分服してゐたから服用者以外には知られない譯であります。一度服藥全快の方々から[illegible]に知らせないのは[illegible]るから人助けに全國的に公開せよとの多大の勸めにより如何にも最もな事と感じ此の度[illegible]に[illegible]へ迎薬する事にした次第であります。營利主義でなく價格も頗る低のであります。[illegible]御試藥をお勸め申上ます。高價藥必ずしも其藥にあらざる事を併て申添ます。

定價 三日分一円、八日分二円、十三日分三円、廿五日分五円

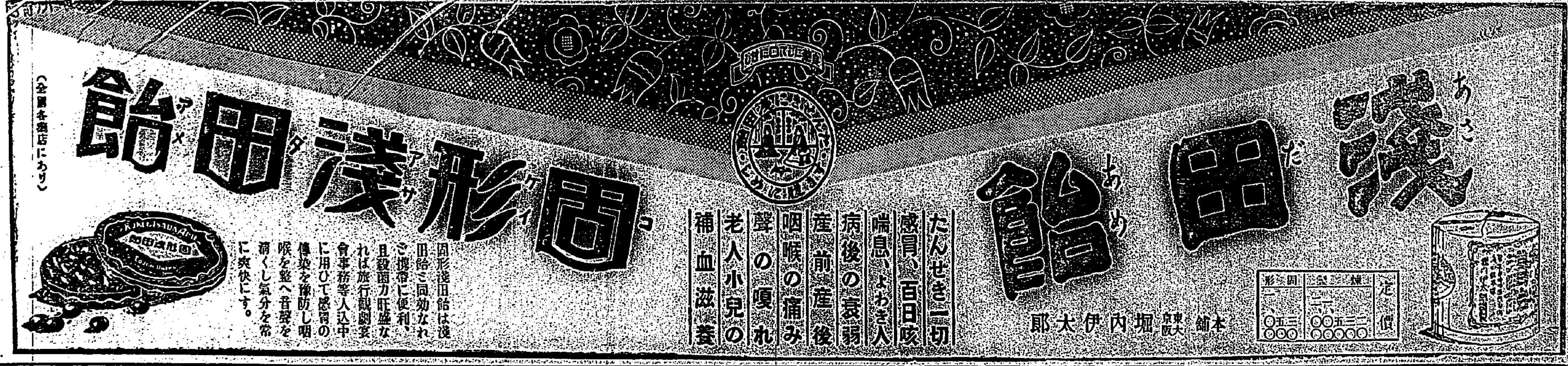
總發賣元ナイセル本舖 松井濟民堂製藥所
福岡縣直方市殿町
（振替福岡六三五九番）
（全國有名藥店にあり）

臺日案內

三行 一回 五十錢 [illegible]

- 書籍
  - 畔見書店 臺北[illegible]
  - 東陽堂書店 [illegible]
  - 平光書店 臺北新起町 [illegible]
- 藥種商
  - エナモル [illegible]
  - にんにくエキス [illegible]
- 醫院
  - 小林醫院 [illegible]
  - 藤井齒科醫院 [illegible]
  - 齒科 清水醫院 [illegible]
- 寫眞
  - 初春に寫眞機 西尾商店
  - パテー反轉現像 [illegible]
  - 岡田コロタ印刷所
- 下宿屋
  - 太陽館 臺北市[illegible]
  - 肥後屋 [illegible]
- ラヂオ器械
  - 高砂無線商會 （電話三九四番）
- 染物洗張
  - 萬染物洗はり [illegible]
- 遞信官吏 [illegible]
- 旅館
  - 頂北投溫泉 [illegible]
  - きおん旅館 [illegible]
- 運送業
  - 引越荷物運送 [illegible]
  - 貨物自動車 [illegible]
- 高等理髮
  - 士田理髮館 [illegible]
- 治療所
  - 透視 難病 [illegible]
- 洗濯屋
  - 和洋洗濯 神戸屋 [illegible]
- 雜件
  - ベニヤ板 [illegible]
  - 特許 商標 岸喜鑑 [illegible]
  - ダンス 教授 [illegible]
  - 玄米精乳と牛乳 [illegible]
  - 中島籐製品 [illegible]
  - 麻雀 特價拾圓 [illegible]
  - ふとん わた [illegible]
  - メガネ二割引 東京堂時計 [illegible]
  - 藥掛赤瓦大勉強 [illegible]
  - 十錢均一 春日家 [illegible]

滋強飲料 スピルカ



淺田飴

たんせき一切
感冒、百日咳
喘息、よわき人
病後の衰弱
產前產後
咽喉の痛み
聲の嗄れ
老人小兒の補血滋養

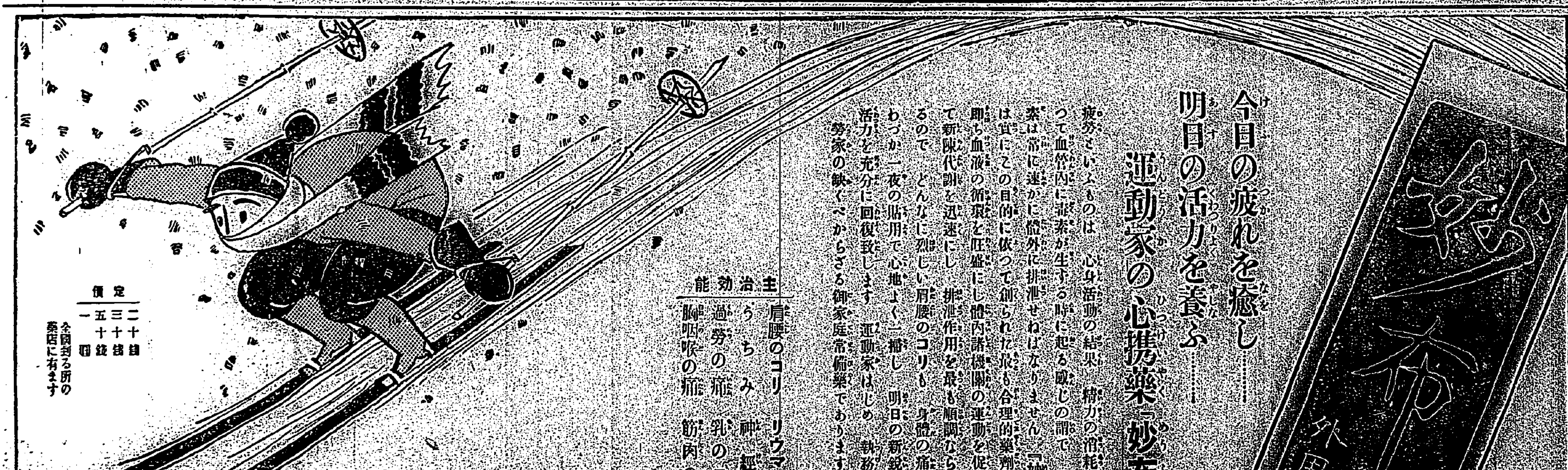
定價 [illegible]

本舖 東京 大阪 堀内伊太郎

固形淺田飴

固形淺田飴は淺田飴ご同効なれば携帶に便利、且發話力旺盛なれば旅行觀劇宴會事務等人込中に用ひて感冒の傳染を豫防し咽喉を整へ音聲を滑くし氣分を常に爽快にす。

（全國各藥店にあり）



今日の疲れを癒し
明日の活力を養ふ……
運動家の心携藥「妙布」

疲勞といふものは心身活動の結果精力の消耗に依つて血管內に毒素が生ずる時に起る感じの謂で此毒素は常に速かに體外に排泄せねばなりません「妙布」は實にこの目的に依つて創られた最も合理的藥劑で即ち血液の循環を旺盛にし體內諸機關の運動を促進して新陳代謝を迅速にし排泄作用を最も順調ならしむるので どんなに烈しい肩腰のコリも身體の痛みもわづか一夜の貼用で心地よく一掃し明日の新鋭なる活力を充分に回復致します 運動家はじめ執務家勤勞家の缺くべからざる御家庭常備藥であります

主治効能
肩腰のコリ　リウマチス
うちみ　神經痛
過勞の痛　乳のコリ
胸咽喉の痛　筋肉の痛

妙布 外用

定價 二十錢 三十錢 五十錢 一圓

本舖 [illegible]

漢文臺灣日日新報

西丁捷三國代表演說
皆主張戰器或廢或限
十二日軍縮會議續報

十二日壽府電。國際聯盟軍縮會議。十二日午前十時開會。西班牙。丁抹。其他代表。各有演說。午後一時散會。

▲西班牙代表。主張七項如左。

一、攻擊的武器全廢。

二、戰爭用器材。貯藏量制限。并貯藏量公表。

三、武器軍需品製造撿束。

四、軍艦最大噸數。制限一萬噸以下。且備砲口徑。制限二百三糎（二米突百分一）以下。

五、潛水艦二千噸以下。其行動範圍制限。

六、商船武裝禁止。

七、軍用航空機廢止。民間航空機關歸國際管理。

以外主張非人道的戰爭材料廢止。陸軍人員器材。制限於國內治安維持。次與國際聯盟軍。必要程度。海軍沿岸警備。國際軍縮小於使用程度。

▲丁抹代表主張如左。

贊成法國國際警察案。爲聯盟規約第十六條侵略定義。制限方式明確起見。主張設調査委員會。又此際宜謀恢復國際信用。

▲捷克斯羅巴奇代表主張如左。

一、對國際機關信用恢復。

二、本會議。先訂軍縮條約。數年後改訂。撤廢軍備。

三、各國軍備狀態。交換報告。

四、常設軍縮委員會。

五、各國兵員數。及武器製造許可。一所限洲管理。

六、禁用毒瓦斯。病菌。

七、承認國際軍隊創設法國案。

八、爲軍備縮小起見。採用軍縮條約草案。

九、我國現在兵役年限短縮。欲此言明。

中國避難民入虹口
便衣隊似紛入

十二日上海電。停戰中。由閘北入虹口。中國避難民。約五千名。便衣隊。此間似亦紛入。午後四時頃。我軍警備區域內各所。頻銃聲起。我軍自四時半。開始搜緝云。

吳淞攻擊左翼部隊
占柳家屯金家祠堂

十二日吳淞電。我左翼部隊。十二日午前十一時。前進開始。午後四時。吳淞西方。約二基羅之地。敵先渡河。午後六時。最左翼部隊。占領吳淞。西二基羅半柳家屯金家祠堂。又十二日戰鬪。三輪軍曹以下四名負傷云。

敵軍放火
永安紡工場

十二日吳淞電。敵軍十二日朝。放火吳淞西部外永安紡績工場。至午後六日猶燃云。

移出不和盤
圓糯又落

二期圓糯。內地滯米尙有十萬袋。故自本月來。向臺灣移出商。採糴極稀。雖有指定欲買之價。因產地高唱。斷不欲售。故不能和盤。舊正月來。登市無多。基隆在庫漸減。十三朝只存五萬八千餘袋。然自舊初六日以後。卽漸次調製。近日中在庫必增。目下現米九圓三十錢。沖渡指定九圓六十錢欲買。然扣除運費。則移出商全無所得。買賣多不能成立。十三早期米又落一二十丁。形勢不良。圓糯當限。唱價九圓四十七錢。人氣尙軟。此後難落。當視期米及在庫數量。惟當限買賣約方二百車。中部買派。買米猶未轉賣云。

臺北市產組
協議獻金

本島兵器獻金。全島產業組合。擬捐八萬五千圓。臺北市內二十餘組合代表者數十名。去十二日午後七時。齊集鐵道旅館。妥議出資方法。中田商工課長就議長席。各代表者因愛國心發露。熱心討論。結局將以配當爲標準。或利益爲標準諸案。滿場無一異議贊成之。而無配當之組合。理不應支出。然役員熱心。亦擬自己捐出。以示愛國熱誠云。

英美公使與華人協議停戰
爲華人拒絕挫折

十二日上海電。英美公使。十二日午後九時。與吳鐵城。郭泰祺。宋子文等會見。協議停戰調停所關事宜。中國一邊。拒絕已國軍隊之區域外撤退。調停交涉。遂爲挫折云。

英美法三使會四華使
協議停戰所關事宜

十二日上海電。英國公使。十二日午後六時。爲停戰調停起見。與吳鐵城。郭泰祺。宋子文。顧維鈞會見。午後九時。復與美法兩公使。會四氏於英國總領事館協議云。

十二國理事會召集意見不一
英國代表強硬反對
聯盟當局亦不欲召集

十二日壽府電。中國代表部既要求。十二國理事會議。十二日午後五時四十五分開會。非公開協議。總會召集。意見不一。訂來十五日開理事會。議決理事會。召集總會。或依中國要請召集。七時三十五分散會。會議席上。英國代表。其他諸氏力反對依中國要請。以理事會權限。召集總會。聯盟當局。亦不欲召集聯盟總會。指摘上海列國公使斡旋。以求中國斷念。顏代表始終反對云。

聯盟總會召集
顏代表通告希望

十二日壽府電。中國代表顏惠慶。十二日午前十時五十分。照會事務總長。希望設法聯盟理事會。召集聯盟總會云。

香椎司令官
謝狀

臺北市協議會。代表臺北市民。以內海市尹之名。對一月二十日。出征中之皇軍。發慰問電報。對此華北駐屯軍司令官香椎浩平氏。去十一日。亦向臺北市役所。送到謝狀云。

臺北米庫組合
議總會事項

臺北米庫利用組合。十三日上午九時。在組合事務所。開役員會。協議本期總會將附議之議案如左。

一、六年度決算竝事業報告。

一、理事七名任期滿了改選。

一、大稻埕倉庫自管。

一、受檢米三萬袋以上產地。卽板橋。鶯歌。羅東三處倉庫建設。

一、借入金最高限度。

一、交關銀行。

南京警備司令捏造
我飛機偵察南京

十二日上海電。南京警備司令部十二日午前四時。發見我飛行機二機。飛行南京上空偵察。發機關銃射擊提示發表。我艦隊司令部。則以我飛行機。並無飛行南京方面之事。絕對否定云。

軍司令官
視察基隆

阿部軍司令官。去十二日午前九時十五分。抵基隆驛。受基隆官民有志數十名。衞戍地將校。及在鄉軍人隊出迎。巡視基隆諸部隊。午後三時起。招待市內官民主要人物三十餘名。在重砲兵大隊。開茶話會。約於午後五時。出席於本阪商船支店應接室之座談會。與官民有志歡談。撮影紀念。然後搭五時十分發列車。歸臺北。

滿蒙新建國會議
訂來十八日起開於長春
臧氏招馬張湯熙諸氏出席

十二日奉天電。長春滿蒙建國會議。訂來十八日開會。臧式毅。照會馬占山。張景惠。湯玉麟招集。並遣使吉林熙洽。準備開會。馬占山。張景惠。自欲出席。湯玉麟。合派代表。臧氏。或與張海鵬。于芷山。奉天市長趙欣伯聯袂出席。熙氏亦應列席云。

聯合青年團
擧結團式

臺北州文山郡。新莊郡。竝及海山郡敎化聯合會。男女聯合青年團。擇去十一日紀元節佳辰。在臺灣神社。擧結團式。

川中島蕃人
閱七月
許往霧社

昨年六月頃。自霧社移住川中島之霧社蕃人。迄今不許其旅行霧社。今回由安達警部補。引率男二十七名。女二十一名。自十二日起四日間。許以歸鄉。議務人自昨年十月十五日擧[illegible]式。同十二月十五[illegible]。移住以來[illegible]。[illegible]及親族等。再欲整理共同[illegible]。所有牛隊。十二日午前六時。出川中島。在埔里街購買物件。旋卽向霧社云

竹中竹高女
入學試期
併卒業式期日

新竹中學併高女兩校。爲來四月一日之新入生。各校約近百名。均訂本月二十七二十八兩日。各校內執行入學試驗。入學手續截止期爲來二十日。又兩校卒業式期。新竹中學。定來三月一日。高女學校。來三月十五日云。

白沙坑命案
彰化南郭無賴
十餘猛受取調

彰化郡下花壇庄白沙坑人黃金錠。年二十七。去九日爲細故。與同庄人洪垂棗。爲二名口角。繼王川武黃被毆。翌日斃命。據當地庄民。乃云黃平素常魚肉良善。者番亦以報怨。登加害者之門尋事。反被毆死。事後有檢察官臨檢。並召喚彰化南郭方面無賴十餘猛。前往取調云。

塗改販賣
竊取自轉車
被臺中署捕去

豐原郡神岡庄人陳坤和。年三十。自大昨年來。在臺中市內。竊取自轉車。塗改販賣。因爭購過當局耳目。規模益大。自昨年夏。將竊取自轉車。搬往故鄉神岡庄。開業自轉車店。賤價出售。被臺中署倉光刑事偵知。捕去查究云。

官制改正案一部
通過法制局
多是行政整理關係

十二日東京支局本社特電。督府諸官制改正案中專賣局官制。法院職員定員令。監獄官制。臺北帝大官制。竝諸學校官制案。十二日于法制局審議結果。經已通過。右皆與行政整理關係。主重減員。別無議論。十三日將審議督府官制。地方官々制。臨時職員設置其他數件改正案。督府官制中。有理蕃課擴張。敎育產業關係敎師及技師等增員。而臨時職員制。乃爲烏溪。合文。花蓮港築港諸大事業。其折衝相當困難。又督府欲使中央研究所之農林試驗關係獨立爲農林試驗所。其官制案已經拓務省。提出法制局。[illegible]所關官制。[illegible]課。其形勢可慮。[illegible]橋事務官。河合屬等努力始得復活。近日將于法制局審議。而諸官制。因選擧關係。內閣方面多忙。審議終了之分。亦暫時保留。俟殘餘官制通過。乃上程于閣議也。

彰化南瑤宮
賽錢被盜

去十二夜。彰化南瑤宮。所置之內外賽錢箱。悉被賊人盜取。外賽錢箱之鎖。被其扭斷。金錢不知其數。尙有取不盡十一圓餘在內。而內賽錢箱。尙未得開取。[illegible]。似無過失。因守廟者驚醒。追出喊賊。賊始逃去。天明報官往查云。

北港地租
徵收磋商會

臺南州北港郡下各街庄長助役。去九日午前九時。參集於會議室。開磋商會。主爲關于昭和六年度後期分地租徵收之件。各街庄吏開臨委員會。磋商地租徵收所關云。

馬公內地人協議會員
總辭職問題
一般希圓滿解決

既報馬公街協議會員內地人一連十名。前日協議會時。曾一致反對小學校授業料。尋常科十五錢。起至三十錢。高等科三十錢起至五十錢。可決修正照改爲五百十。補塡該減收額。各協議會員。謂該小學校。每年受海軍補助金二千百圓。有特殊關係事情。不能與他地方之授業料比較。確信得照修正案認可。然至去二月三日。竟照原案認可。各協議會員。聞知驚愕。云協議會雖無議決權。爲諮問機關。然以如是無視民意。於諸協議會員體面上攸關。故於去八日晚。諸協議員。集合在伊東正成氏宅上。交換意見。且議將來態度。擬決議任意的總辭職。而小阪協議員。係代表海軍。且在官職。若個人的得與之共同行動。然一應要詢問上司意見。然後決定。餘則自九日朝。各提出辭表于街役場。該辭職理由略謂如斯熱心主張番議意見。不至見容。是表示不信認云々。其關於是。依澎湖廳田中庶務課長談云。謂內地人街協議會員。總辭職。爲關于小學校授業料修正案不通過。諮問機關。現協議會員。純然若認修正意見適當。至如何亦尊重意見。今回授業料問題。就法規上。及四邊實情考察。諒無違算。至於難受海軍補助金。該用途亦有明記。故據此反對。其無理由。若論授業料三十錢。及五十錢。決無過貴。依規定。高等科得徵收八十錢以內。尋常科五十錢以內。余對於協議員之總辭職。非表遺憾也。又木間廳長。所談如左。修正案不通過。認可原案。故總辭職。似此問題。他地方甚多。已主張不通過。則認爲不信任。贈當局。觀察四圍事情。依據公平判斷。故考慮街役場立脚。不是全然無視協議會員意見。此點希互相理解。冷靜判斷。更就地方及街政。盡力爲宜也。又今回事件。一般頗爲地方問題。希望圓滿解決云

經由霧社萬大社
蕃地警備道路
已完成十二里餘

昨年開鑿中。自霧社萬大社。至新高郡下加社與兎屈拉屈間之蕃地警備道路。十一里餘。開鑿告終。途中鐵線橋。若架三三處。則告竣功。爲是伊藤理蕃課長。爲視察該道路。去十二日。發臺中。向該地蕃。務部。科長。至前記新高郡下。蕃社俱有駐在所。順此道路。經意那科陰遠。此次新設者。唯拉屈拉屈一處云。

自動車運轉手
命停止就業

新竹郡新埔庄運轉手何添盛。因操縱自動車。職務過失。轢傷行人。州當局依自動車取締章程第三十一條。命其自三日起三十日間停止就業。又同郡香山庄虎子山運轉手楊朝老。及竹東郡竹東庄運轉手蘇煌順兩人。亦以職務上放縱。被州當局自同日起。命停止就業十日間。

幼女撞車負傷

新竹郡新埔庄四座屋運轉手徐請旺。年二十八。去七日上午十一時半。操縱朝日貨切自動車商會所屬之自動車。第七六號。至竹南郡造橋庄錦水神社前與吟閣。附近交叉路。古井四郎之三女。古井三繳。年六。突然由側面奔至。面撲車體。負擦過重傷。

十二日夜敵軍頻攻
我軍無損害發砲轟擊
流彈飛落千愛里附近

十二上海發。十二日午後五時半。青雲路廣場敵軍。以迫擊砲。攻擊陸戰隊本部附近。我砲兵應射半小時。敵軍沈默。此間我警備區域。落下敵彈十數發。我無損害。是後敵兵蠢動不止。七時我野砲隊。砲擊敵陣[illegible]要地。九時半。敵軍以野砲。迫擊砲[illegible]。[illegible]附近。附近野砲彈二個落下[illegible]。

少婦短氣自縊

東石郡朴子街朴子李發之妻李鄭氏揚。年十七。自十五于歸李家。夫婦和諧。家庭中姑正亦愛。如掌珠。未聞有風波。去十一日。忽對其夫。云欲歸寧。其夫因採蔗中忙甚。不肯之許。亦未嘗有口角。其夫及家人往田間採取蔗。至[illegible]日午後九[illegible]歸來。[illegible]鄭氏[illegible]。[illegible]乃[illegible]

逃犯到基
被拘回竹山郡

竹山郡竹山。笋干商林德長男林添定。年二十八。爲客月關連埔里施西池之僞刑事事件。以共犯容疑。被留置在竹山郡警察課。副後乘當局不備逃走。寺尾課長。立張非常線搜查。然終被巧爲逃至基隆。更欲逃赴內地。郡當局聞知其事。立派佐々木司法係部。竝河原田刑事。先往基隆等候。卒在船內捕住。十一日。押回竹山[illegible]中也。

花蓮港痘瘡
三十八名

花蓮港瑞穗天然痘。去十一日。有瑞穗十五番地陳氏心。年三十四。同二十八番地劉氏秀英。二歲。同十二番地劉兆貴。年三十四。三發病。外合疑似患者公埔二百十八番地林氏金玉。二歲。計達三十八名云。

畢業獸醫校
歸服痲藥
一命危篤

嘉義市西門町五保王賴汝崇之長男賴彙。別名阿欽。年二十三。昭和六年四月。卒業東京獸醫學校歸來。十二日午後二時半。在自宅房內。嚥下痲醉藥。企圖自殺。苦悶中。被家人發見。急舁入加藤病院施救。一命危篤。原因未詳。目下究查中云。

盜五十圓票
送檢察局

東石郡六脚庄竹子腳陳金城。于古曆去十二月二十二日。到同庄陳乘家。共助設堆草之架。對陳乘。欲借金二圓。陳乘許之。欲向房中壁間衣袋中取金二圓以應。始知衣袋中之五十圓紙幣一枚。不翼而飛。心雖疑金城取。然未敢言。爰是用人窺其行止。至古曆十二月二十五日。知其台向朴子街購買布帛物件頗多。料知該金。尤是此人竊取無疑。乃急報當局。拘引到案。不肯實供。經由東石郡役所司法係。及雷刑事。費盡苦心。搜羅證據。至十二日。始自供。而竊取原因。乃于幫助創設柴架之日。乘乘家不見。闖入房中。向壁間衣袋中。竊取之。故金尙存三十圓。作三處。埋藏宅內。除買布帛外。被其費消十圓。取調結果。將金城移送檢察局待罪。

戀愛問題事實無根
惟毆打兒童誠屬憾事
新巷公校不詳事件

嘉義郡新巷公學校。有發生五年生之兒童計議同盟罷學事。風聞原因爲同校訓導某。年二十六。與某女訓導年二十。每到便所。卽被兒童呼。蹬鼓掌。兩訓導懷恨在心。去二月五日會五年生受持敎師不在中。該訓導代理授業。乘機尋根。因是日北風凜烈。非常寒冷。將全級兒童四十餘名。引出校庭。向風而立。卽以手將兒童各兩名之頭。爲相撞。約立一時間。始欲引入敎室。其上更裁在敎室門。各加一拳。其時各兒童。含淚飲淚。歸告父兄。翌日各父兄。[illegible]校[illegible]。陳[illegible]其中。校[illegible]者排斥。仍不解過。當局聞此情狀。正奔走回譜解決。右據大澤郡視學談云。據風評爲戀愛事件。毆打兒童。余出於職責上取調結果。戀愛云々。事實無根。惟毆打兒童則誠屬遺憾。余爲監督責任者。亦大憂慮。正善後策考慮中也。

天順魔術開演

朝鮮天順大魔術團一行。自去九日以來。在市內太平町大同講座內。臨時開演。因戲金從廉。技藝優秀。日夜往觀者。頗多其人云。

誠春宵一刻事云。

稻江城隍廟內。常住病人。間有能傳染者。危險至極。敢告當局。及諸管理者。頭人。設法取締。（二香客）

淡石粉會社之成立。於地方之繁榮。固爲有益。但不可害及民衆。（一保甲民）

敢問信組目陳君。君於本年總會之時。力反對役員退職報酬金。如是則令尊退職當時。何不反對（原已渡人）

海山郡下。有某公學校教員五六名。投入信組黨派爭奪職渦中。總會之日。對於所受持之生徒。使之停課。因而出席。行監督責任之上司。對於此事問題。作何見解（父兄）

總理昇進

南瑤宮廟五媽會下大總理自客夏前。總理林海木氏逝後。其缺至今。選拔未得其人。去舊曆十二月末。由媽祖神前。選定大竹部烏日庄人周木火氏。以補其缺。舍宗於來二月十五日過頭於氏之宅。父替任務。尙廟改築會員。協力往祝。深望新總理。對今後南瑤宮廟。改築事務。竭力援助。而信徒多數竝不望其補助今年南北進香之任務云。

柑橘總會
員林

臺中州員林郡員林柑橘西瓜同業組合。定期總會。訂來十四日午後一時起。開於植物檢查所員林分所內。

寺落成式

以寄中武德殿廢材料。新築小之員林街金鳳山員林寺。現已竣工。訂來十四日午前八時。在同寺擧入佛落成式。當日東京駒澤大學々長文學博士忽滑谷快天師及大本山特派布敎師保坂玉泉師等。決定臨席。又其前日之十三日午前十時起。先在同寺。開全島佛敎師主任大會。兩日間各有餘興。屆時定呈盛況也。

專賣臺南支局
調查小賣成績

專賣局臺南支局轄內煙草小賣人。指定期間至來月抄。俱告滿期。有意繼營業者。此際均已更新願請。當局爲期愼重。經定由本月中旬派員赴各地調查。聞本屆新請許可者頗多。現小賣如成績不良。資本缺乏及不遵規則者。則欲裁廢之云。

臺北金獅團
往嘉參加繞境

客夏臺北城隍祭典。嘉義長義堂金獅團。曾來北參加行列。而此次臺北金獅團一行百餘名。亦擬搭來十九日夜行車。於二十日抵嘉義。參加於是日繞境。翌二十一日。往北港朝天宮進香云。

彰化
春燈賽會

彰化天公廟本年祝誕。七縣分依例主開。除演戲而外。添設春燈賽會。定自二月十四日起。至同月二十一日止。任街衆別出心裁棚製。到該廟陳列。月二十日。邀請相當人士鑑定仁氏。級分一二等三等。入選按三十名。又獨力對選者贈與物品。雖不入選者。至陳列後。聽其原物領回。

會事

▲宜蘭街。訂十五日午前八時。在農事試驗場。開柑橘栽培法實施講話會。特聘臺北州之園藝係。斯界權威者。州技手岩田淸氏爲講師。歡迎關係者往聽。

▲新竹州農會。訂來十五日起。一星期間。在竹市湳雅種苗場。招集市街庄在勤之產業技手。併州下篤農家等。開養蠶講習會。講師擬由督府派遣二名擔任。

人事

▲北投沂水園主人陳成地氏。前因動脈硬化症。入臺北醫院醫治。藥石罔效。去九日午後十一時去世。享年五十九。現停柩在北投自宅。訂來二十七日出殯。

▲朝鮮總督府主催來臺學事視察團一行。團長爲朝鮮平安道新義州公立中學校長大非利明氏。外校長十六名。府屬一名。訂十四日午前五時三十五分。到嘉義轉搭七時十五分山線。登阿里山視察一泊。十五日下山。視察市內各要所後。赴臺南。

▲嘉義郡中埔庄農業組合員。一行三十名。由產業技手引率。去十三日赴臺中州員林郡下。視察一般農業及畜產狀況。

中壢伯公岡驛北方
貨物車脫線顚覆
線路工夫重傷一名

中壢伯公岡驛北方約一千米突地點。去十二日午後三時十分。有貨物列車[illegible]。線路工夫潘萬福。年三十二。作業中。[illegible]重傷。右手[illegible]部骨折。顏面負裂傷。[illegible]原因不明云。

臺灣日日新報

◆◆來る十五日より◆◆

▼雛人形陳列會

◎◎新型＝尖端雛各種豐富陳列

◎◎木目込、淺草人形其他各種

◆◆今春流行の◆◆

本セル▼英ネル▼帯側

最新柄荷揃ひ

特製足袋◇[illegible]二足五十錢◇[illegible]三足五十錢

近江屋呉服店　臺北市京町　電話二〇四九番

◎雛人形大賣出し

◎タオル小供服地陳列會

ノーブル足袋[illegible]▼つはりの妙薬あり

臺北市京町二丁目　電話二五〇・一九七七番

藤井呉服店

雛人形大賣出し

木目込人形豐富

主婦の友

羽二重帯側宣傳賣出し（一本御買上毎に粗景進呈）

▼春向モスリン著尺　▼セル　▼英ネル　新柄荷揃へ

丸山呉服店　電話二一九五　二九九三

二月十五日ヨリ

雛人形大賣出し

本年ノ御殿ハ意匠登録濟新型組立式郵便五段式雛段特價

臺北市榮町二　電話一三三五

水野商會

二月十五日より例年通り

雛人形大賣出し

▲入學背嚢カバン大賣出し　一・〇〇◈一・五〇◈二・三〇

▲春の旅行鞄袋物大賣出し　二・七〇◈三・〇〇◈四・三〇

◈お徳用國盛進石鹸　半打三〇　一打五〇

▲春のワイシヤツ、ネクタイ新荷著

御祝、内祝、御安産祝、御禮、入學祝、佛事返禮等の御用命を是非弊店へ御願致します

臺北市本町　電二〇七・二三五

國盛進商行

●法人登記公告　[illegible]　臺北地方法院

●商業登記公告　[illegible]　臺北地方法院

●有限責任[illegible]信用組合（變更）[illegible]　臺北地方法院

●有限責任[illegible]信用購買販賣利用組合[illegible]　臺北地方法院[illegible]出張所

公告　[illegible]株式會社

◎社員招聘

弊社ハ有經驗ヲ不問内臺人男女全島各地ニ社員ヲ募集ス特ニ退職者歡迎ス自筆履歴書ヲ添ヘ面會ハ通知ス（臺北東部方面ハ台北支部、高雄部方面ハ南部營業所宛）

臺北市本町一丁目十五番地　常磐生命保險會社臺灣支部

高雄市入船町郵便局前　常磐生命保險會社南部營業所

▲内科▼

吉田内科醫院

臺北市東門町一ノ五　電話　醫院二八五三　院長宅二八五四

廣告は宣傳の近道なり

厦門、香港　各地行

パタビヤ、爪哇

シヤバン・チヤイナ・ライン（出帆）

之沙路亞丸　二月十八日午前十時發　[illegible]〇、〇〇〇噸

臺北　振成興產株式會社　電話七四番・七九三番

大阪商船　基隆出帆

門司神戸行　蓬萊丸　二月十五日後四時發

扶桑丸　二月十九日後四時發

瑞穗丸　二月廿四日後四時發

●花蓮港行　沿岸航路　[illegible]　晩十時發

近海郵船　基隆出帆

門司行　大和丸　二月十七日後四時發

吉野丸　二月廿二日後四時發

[illegible]丸　二月廿六日後四時發

純良天然葡萄酒
スポーツの一杯
うまし
よし
白玉ホワイトワイン
純粋に着色せず

ABCインキ無料サービス

萬年筆用

ナゼタダで提供するか？

優良なる品質である事を一般使用者に一刻も早く知つて頂きたいからである

實務家も……

學窓の若人も……

近代の女性方も……

擧つて本舗からの眞實こめた此のサービスを心よく御利用ください

無料サービスは有名文具店、万年筆店で

販賣店へ謹告　未だ入會されぬ販賣店は顧客への便宜の爲めに御取引の問屋へ御申込あれ

大阪市南區東阪町六番地

本舗　不易糊工業株式會社　インキ部

財團法人　**東洋音樂學校**

●本科・[illegible]科・高等師範科・[illegible]科男女生徒募集　●入學試驗四月四日

●新設管絃科入學試驗三月二十五日　●別科随時入學許可

東京府下[illegible]

◇募集　第一大學豫科（三年制）（晝間）　第二大學豫科（三年制）（夜間）

◇願書受付　四月二日迄

◇試驗期日　四月三日（日曜）

◇試驗科目　論文、英語、口頭試問

◇試驗場　東京神田三崎町二ノ一

◇詳細ハ規則書[illegible]

日本大學豫科文科

日本大學豫科文科校舍

花と植木

ばら、觀葉植物、しやぼてん、草花種子、花木果樹、庭園樹

美しき植物總目録進呈

兵庫縣川邊郡山本

旭植物園

内科、眼科　本町二ノ二　**大竹醫院**（電話一二四〇）

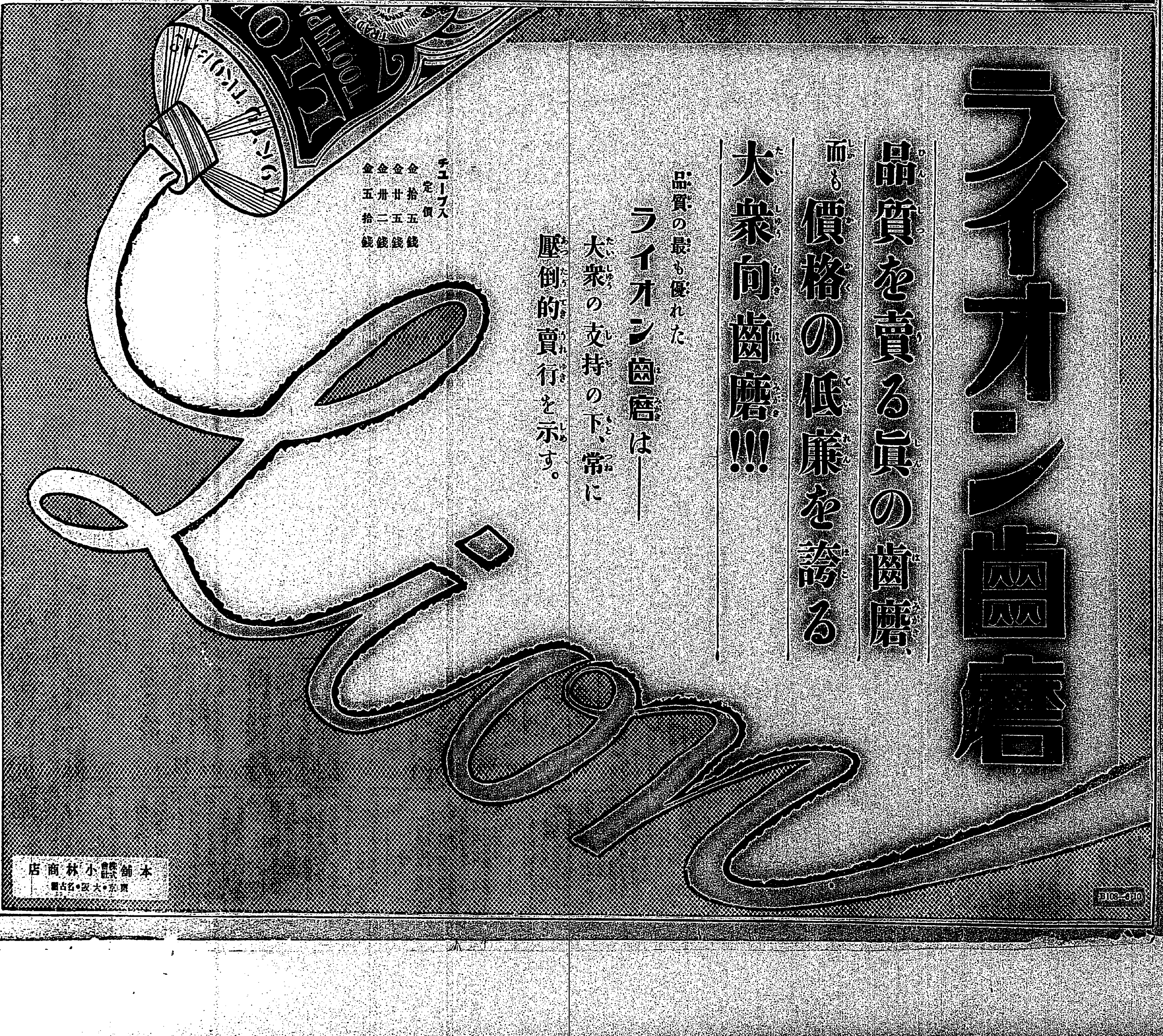
肛門梅毒科　表町二ノ一〇　**臺灣肛門病院**

内科　外科

台北市榮町一ノ九・電話二三五三番　入院隨意

醫學博士　板谷孫市

板谷醫院



ライオン齒磨

品質を賣る眞の齒磨、

而も價格の低廉を誇る

大衆向齒磨!!!

品質の最も優れた

ライオン齒磨は──

大衆の支持の下、常に

壓倒的賣行を示す。

チューブ入定價

金拾五錢

金廿五錢

金卅二錢

金五拾錢

本舗　株式會社小林商店

東京・大阪・名古屋

上海の中立地帯設定案
當面の問題解決には效果的

一

上海事件の解決は、國際問題に次ぐ重大案件であつて、之が解決如何は我が對支貿易の將來を卜すべき可能性をもつものと言はねばならぬ。從て此の問題の將來に就ても、國民として充分の認識をもち固き決心をもつて之が解決を有利に導くやう努力を拂はねばなるまい。而して上海事件の將來は、英米佛等の調停によつて此の儘で停戰となり何等か妥協の途を開くか、或は日支の硬化により實力を以て、支那軍を上海より一定距離の地に退却させ以て上海の安全を期するか、恐らく此の二つの途を辿るのではないかと考へられる。

二

而して日支間の諸問題してゐる紛爭を最も手つ取り早く緩和する方法は、現在の國民政府の組織を根本的に改め一黨專制を棄てて輿論政治の根本に立ち還らしめるにあるが、この事は今日直に行はれ得ぬ事情がありとすれば、差當つての即效的方法は、支那の主なる通商港に中立地帯を設定せんとする日本政府の方法を採用する外ないであらう。この中立案に就ては、早くも米國邊りの意向として右の中立地帶設定は、主權の侵害であり領土の分割となるもので反對だといふ風に傳へられて居り、國民政府側でも既に其の反對意思を表明してゐる。從て此の中立地帶案には相當反對のあることは充分考慮して置かねばなるまい。

三

唯だ支那の現狀と實際とに徴し、最も適切有效なる方法はと言へば、差當つて此の中立地帶案に到達しなくてはならぬだらう。現在の支那は、國民黨の專制であつて之に軍閥が結び付き、一般民衆の間の輿論なるものは跡を絶ち、多數の民衆は國民黨員及び軍閥の爲めに搾取と酷虐との鞭に打たれ續けてゐる。此の慘害が支那の國土内において支那の民衆だけの間に限られてゐるならば、人道上默視はできぬ事とは言へ隣家の喧嘩として見て見ぬ振りもされやうが、それが延いて支那との交際國通商國の直接利害關係にまで及んで來ては、それが何國たりとも沈默のみはしてゐられない。今回の上海事件などは明かに此の間の事情を物語るものであつて、例の一派が抗日運動を支持し煽動し續けて來た爲めに遂に同地が無秩序無警察狀態となり、工部局を初め各國とも戒嚴令下に相提携して租界警備の任に當らねばならなくなつたではないか。斯る惡化狀態が、極めて少數の黨部關係者や商工團體の假面を冠つてゐる軍閥の爲めに何時でも何處でも容易に引き起されるのだとすれば之が防止方法は差當つて中立地帶を設定し、彼等一味の暴虐なる魔手の及ぶを防ぐ外ないではないか。

四

米國その他の政府にして、若し此の中立地帶案に反對するものありとすれば、それは現在の支那の實情に通ぜぬ爲めであつて、支那の地へ來て見て考へたならば何人でも充分に首肯するであらう。若し又歐米の第三國が日本と地位を替へて極東の地にあつたら如何、自己の現在の立場では支那との國際關係を圓滑に續けてゆく事の困難を充分に知り、利害や權利思想に特に鋭敏してゐる歐米人士として支那のやり方に對し到底默過はしないであらう。或は現在の日支關係以上に惡化してゐたかも知れない。今日の支那に對し遠方で机上の空論をしてゐるのでは、迚も正確なる認識をつかむことはできない。吾人は茲に歐米列強の支那に對する更に正しき認識を渇望いたさねばならない。

五

今日上海において英米佛等を加へる列強が、大體に日本と共同提携して租界の警戒に當つてゐるのも、列國が上海において夫々の利害を有するからである。この點で滿洲事變當時日本に對する列國の態度とは幾分違つた感あり、各國とも軍艦を派遣し陸兵を送り自ら上海における自己の權益を擁護しやうとしてゐる。これ遠方にかける机上の空論と自己の利害に即する實際問題とでは大いに趣きを異にする所以であつて、歐米諸國は充分足下の點について其の認識を新たにすべきであると思ふ。要するに現在の支那が、自ら自國の秩序を維持し條約上の權利義務を完全に履行する樣にならぬ限り、主なる通商都市にかて中立地帶でも作つて在留民の保護と支那を相手とする條約上の權益を確保する外ないではないか。而して此の案は、今回の上海における各國の共同出兵の步調を更に一步進めれば容易に實現できるものであつて、寧ろ支那の安全を確保し同時に關係列國の權益をも衞る所以である。吾人は此の中立地帶設立を、現在にかては最善最上の案として國民と共に支持いたさねばならぬと信ずる。

一擧呉淞鎭一帶を占據の爲總攻擊開始
十三日夜十時から

【呉淞十三日發電通】我軍の戰備漸く整つたので今夜十時より一擧に呉淞鎭一帶を占據すべく總攻擊を開始する模樣で全軍の士氣頗る緊張してゐる

敵の本據を突止め奮戰
江灣特務曹長等十三名

【呉淞十三日發電通】○○森田○隊の江灣特務曹長は部下を隨へ十三日朝江灣の敵狀偵察に向つたが餘り深入りし午前九時頃江灣競馬場の西方で約三百の敵に包圍され勇敢にも機關銃で應戰したが敵は米國旗を揭げた家の二階から機關銃の猛射を浴せ我軍苦戰であつたが半時間餘り奮戰して一方の血路を開き十一時○國本部に引返した、この戰ひで沖繩縣中頭郡出身安里上等兵は胸部を擊ちぬかれ名譽の戰死を遂げた下元○國長は江灣特務曹長等十三名の勇敢な行動と敵の本據を突止めた功勞に對し感狀を與へた尚同隊の一等兵三浦元喜は午前十時頃敵彈に頭部を擊ちぬかれ重傷死亡した

岡本、岩佐兩隊敵と激戰

【呉淞十三日發電通】○○岡本○隊長は十三日午前十一時呉淞鎭西約○キロの地點でクリークの敵前渡河を敢行し呉淞鎭の西北に迂回せんとした敵を發見迫擊砲の猛射を受けたが我が山砲陣地は之に應戰正午敵陣を粉碎した、敵の損害多大の見込である、尚岡本○隊に先んじ呉淞西北に迂回すべく進擊の○○岩佐○隊は十三日朝來クリークの支流を狹んで對峙し午前十時頃小鎭橋を奪取せんと奮戰中十一時頃敵兵一箇大隊西方に現はれ苦戰に陷つたが○國本部より直ち救護隊を急派して之を擊退した

敵前渡河を敢行し我軍楊家栅齊を占領
我軍は二名輕傷を負ふ

【上海十三日發電通】岡本○隊は十三日朝呉淞鎭西方より進出し呉淞クリークの支流たる酒塘で敵前渡河を敢行し、十時すぎ敵の第一線突破を企て、楊家栅齊を占領した、同所は呉淞鎭の西方六、七百米に過ぎず、敵は大動搖を來してゐる、この占領の際特務曹長服部達夫、一等兵一名は輕傷を負うた

我が飛行機敵陣地を爆破

【上海十三日發電通】陸戰隊本部發表、十二日午前七時半より九時十五分まで攻擊機○臺、戰鬪機○臺出動、杭州會館、青雲路方面の敵陣地を爆破した

小雨を衝いて爆擊を開始

【上海十三日發電通】午前十一時四十分我軍は小雨を衝いて飛行偵察を行ひ正午より爆擊を開始し、同時に我が山砲隊よりも敵の第一線に對し猛攻擊を開始した

我總領事館に手榴彈
前庭で大音響と共に炸裂

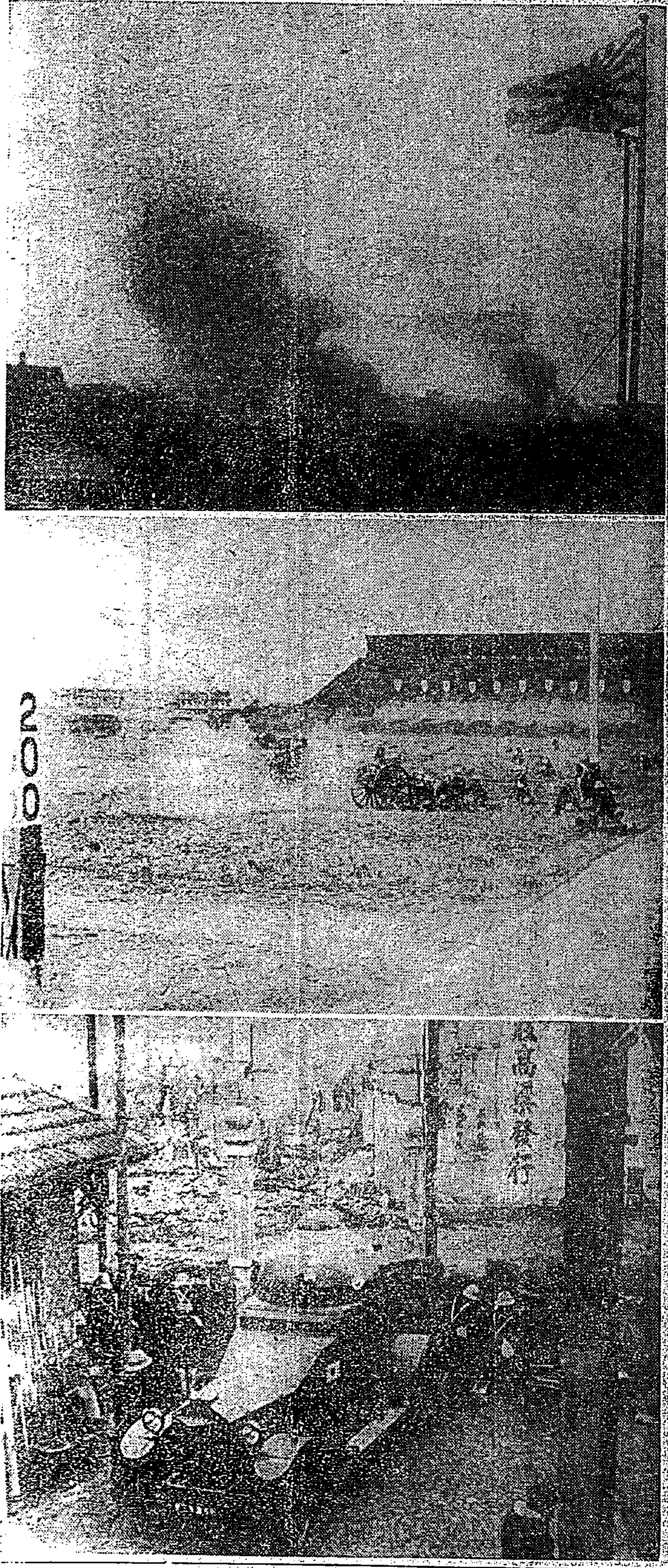
【上海十三日發電通】十三日午前九時二十分アメリカ總領事館建築豫定地たる黃浦江河岸から我が總領事館に向つて手榴彈二箇を投込んだものあり、大音響と共に炸裂したが前庭に落ちた爲め損害はなかつた、軍艦○○より警戒隊出動し目下嚴戒中、尚八時五分には虹口の東館に手榴彈を投込んだものあり、便衣隊の跳梁益々甚だしい

三國公使の停戰提議
支那側は欣然接受する
汪兆銘が蔣介石と會見後語る

【北平十三日發電通】北上せる汪兆銘、馮玉祥、李烈鈞、朱培德等要人は洛陽會議の決議を齎せる蔣介石と十二日徐州に落ち合ひ緊要會議を重ねて後汪兆銘は

政府は英米佛三國公使の停戰提議を欣然接受するものである

と語つた



上海事變畫報

【上】陸戰隊本部から激戰の北停車場附近を望む【中】射的場を利用し敵と激戰中の我陸戰隊の野砲隊【下】閘北東部戰線[illegible]我軍

ドイツ軍人が敵軍に加擔

【東京十三日發電通】上海十三日發聯合通信者來電、ドイツ軍人三十數名は今次事件にて直接支那軍と協同してゐるとの風說あり、且つ南京に在る係科は「上海の我軍の損害は莫大であるが我飛行機にはドイツ技師が乘つてゐるから對日空中戰は有利に展開するであらう」と語つた、尚十二日發文書は南京にあるロシヤ人を上海に派遣し高射砲製作の秘密命令を發した

敵が盛んに砲擊
流彈千愛里附近に落下

【上海十二日發電通】十二日午後五時半青雲路附近の敵は迫擊砲で陸戰隊本部附近を攻擊し、我が陸兵之に應射すること三十分、敵は沈默した、この間我警備區域に敵彈十數發落下せるも我に損害なし、その後も敵兵の蠢動止まず、午後七時我が野砲隊は敵陣地の要地區に砲擊を加へたが九時半敵は野砲、迫擊砲をもつて猛烈に攻擊し來り、新公園要資路方面からの流彈は千愛里電車道路附近に雨と落下しその附近にて野砲彈二箇落下炸裂した

金を呉れねば退去しない
十九路軍頑張つて
支那側目下金策中

【上海十三日發電通】三國公使は支那軍に支那軍撤退せぬ裡は停戰調停は出來ぬから先づ軍隊の撤退方法を研究せよと非公式に勸告し支那側は一應拒絕したが、聞かれねば停戰出來ぬを悟り宋子文等支那軍の引揚を策してゐるが、十九路軍は金を呉れねば去らぬと頑張り目下金策中

自警團に解散命令

【奉天十三日發聯合】馬賊、敗殘兵の侵入掠奪防止のため地方團體が組織した自警團は匪賊が殆ど滅亡した今日尚解散せず武器を持つてゐるため之に對抗する爲か匪賊が蜂起し地方の治安を攪亂せらる恐れあるため奉天省政府は各縣知事に對し自警團の解散と武器の取上げを命じた

傷病兵を見舞

【東京十三日發電通】荒木陸相は十三日午前十時半戶山町の第一衞戍病院に滿洲事變の傷病兵を見舞ひ慰問した

我軍敵前で架橋開始

【呉淞十三日發電通】我軍は十三日朝來永安坊西方約一キロの小鎭橋附近にて敵前架橋を開始した

優に十萬を超ゆる比島の支那移民
（上）

比律賓ダバオ本社通信員　兒島宇一

南洋方面には支那人の移住せるもの多く、彼等の多くは所謂華僑として強固なる商業的地盤の上に盤踞せることは周知の事實であるが、比律賓もその例に漏れずして彼等支那人の商業發展には巾々目ざましいものがある、マニラ市の如き支那人の活動殊に著しく、ロザリオ通りの如きは純然たる華商街をなすものであり、其の外到る處の地方都市に彼等の店舗散在し、又如何なる山間僻地にも拔け目なく商業網を張り、凡そ商利ある所に彼等を見ないことは稀である

◇

比律賓に來るアジア移民を見るに支那人、日本人、印度人、土耳古人及シリア人を數ふることを得るのであるが此中何と云つても支那人の數が最も多い、一九二七年度比島移民入國數を見るに支那人一萬七千百七人、日本人三千三百四十一人、東印度人百五十二人を筆頭に總計約三萬五千人を數へてゐる

◇

支那移民が比島に於て現在の地步を築る爲めには相當の年月を要した、今支那移民の歷史を見るに、彼等は遠くスペイン時代以前より渡來してゐたものであつて、既に一五二一年に於てスペイン人がセブーに支那人の町を發見し、或は麻國を發見したと云ひ、又一五一〇年頃サルセドなる者がミンドロ島探險中パコ河口に二隻の支那ジャンク船を發見したと日記してゐるといふ [illegible]

◇

[illegible]

戰艦六十二隻に乘組み、マニラに襲來した約三千名の支那兵が見事破れて止むを得ずリンガイエン灣頭及アグノ河畔に定住することとなつた時に始まる、其後支那人の入比する者益々多きを加へ、一六三九年に及んでは其の數既に四萬を算した、併しながら當時屢々支那人の暴動起つて多數之に死し、次いで西班牙總督アランヂアは王命を帶びて支那人を國外に放逐することとなり、之れが爲め僅かに基督教化されたる支那人千數百名を殘すのみとなつた、然る所一七七八年頃に至つて比島に於て勞働者の需要盛んに興り、遂に再び支那移民の入國を許すこととなつたのであるが、一八〇四年には支那人中特に農業移民だけの入國を許すこととした、かくして一八八六年には在比支那人十萬を突破する有樣となつた

◇

アメリカ合衆國が比島を占領したる後早々支那移民制限法が比島に於ても實施さるることとなり、一八九五年十二月三十一日より一八九八年十一月迄の間に比島を去つた者以外の一切の支那人勞働者は入國を拒絕せられ一時は在比支那人は減少一方の途を辿り、一九〇三年の調査に依ればその數四萬一千人となつたが其後追ひ〱增加し現今では優に十萬を超ゆるものと推算さる

◇

[illegible]

たず、多くマニラに住つて商業を營むに至つたことは注目すべきである、而して一昨年ミンダナオ調査委員アキノ氏の一行がダバオ地方の實情を調査し、日本人の活動を見て驚き、世に所謂日本人の農業獨占を防止すべしとなし、暗に支那農業移民の誘致方をほのめかしたのに思ひ到るときは誠に興味ある現象と云ふべきである

◇

從來の支那移民の多くは比島人を娶り、基督教徒となり、一見比人に完全に同化したかの觀がある、又比島に於て支那系比人の數多くして而もその中には政治界財界に幾多の有力者を網羅してゐる、そこで比島移民論として最近のスムロング案の如きが現はれて來ることにもなつた、スムロング氏は前上院議員である

◇

比島は人口少くして日本の約三分の一の密度を有するに過ぎない、之では比島の如き生活容易な熱帶地にあつては生存競爭も盛んとならず、國民は安逸に流れ易い、故に比島としては人口增加を計ることが目下の急務であつて、人口の自然的增殖を俟つわけに行かない、宜しく外國より移民を招致して活氣を付けるべしとなし、それには比人の民族的に親密を有し比人に最も同化し易い支那人の理想的移民なりとス氏は唱へてゐる

研究會の支那視察員出發

【東京十三日發電通】貴族院研究會の支那視察團に上海方面視察員に決定せる花房太郎、坂西利八郎兩氏は十五日東京發約一月に亘り南支那に滿洲一帶を視察する筈

臺北州農會並に水產會の總會

臺北州農會並に臺北州水產會では目下昭和七年度豫算の編成中であるが來る二十五日中に決定の上臺北州農會は二十六日、水產會は二十七日臺北州會議室においてそれぞれ總會を開催することとなつた

辭令

督府警務局長　友部　泉藏

市區計畫委員會委員を命す

督府技師　馬場　宏

第二回副業品意匠圖案指導改良講習會講師を命す

督府事務官　川村　直岡

督府官房秘書課長小林鐵太郎不在中代理を命す

人事

▲シー・エス・リード氏（米國副領事）來る十五日午後二時臺北鐵道ホテルを出で自動車にて基隆に向ひ同日發の船にて賜暇歸國の途につく

▲西岡塘翠氏　東門町二六二（文化村北二條）へ移轉

▲宇賀臺北州理事　總會出席の爲め十五日出帆蓬萊丸で上京の豫定

▲庄九一氏（日米鑛油會社社長）十三日來臺（日の丸館）

シナチク

臺灣總督は文官第一世の田男このかた貴族院議員といふことに相場が決つてゐる、言ひ換へると臺灣總督は貴族院議員の中から選ばれるといふ内規であると見てよい、從つて此の後臺灣總督たる人も當然上院から出ねばならぬ——といふのが目下の常識である▲すると下馬評に上つてゐる井上孝哉說は一寸モノにならぬ樣でもある、かと言つてさう無造作に片付けられぬ節もある、何となれば今は無官の大夫でも貴族院議員に勅選してから臺灣總督にといふ手段きもあり得る、今の貴族院には大分空席もあることだしさういふ事が無いとは保證はできない、殊に井上孝哉さんは選擧區たる岐阜縣の第二區を棄てて今度は立候補してはゐない▲また好事家の說く所によると貴族院議員ならずとも、殖民地長官として親任官になつた例は先に木下謙次郎君の關東長官があるさうだ、この先例があれば臺灣總督必ずしも上院議員でなくても宜しいといふ理窟はつく▲さうかと思ふと又他方では東京邊に武官總督說（それも海軍系）などがチラホラ耳にされるといふ何しろダークホースなんだから蓋を開けるまでは容易に窺ひ知れさうもない。

漢口の邦人婦女子引揚

【漢口十三日發電通】當地居留邦人[illegible]

女子六十餘名は十四日[illegible]上海經由引揚げることとなつた

◇尼公上人を迎へる北投の善光寺別院

汕頭からの避難民 三十一名が高雄へ

十四日入港のデリー丸にて

【高雄電話】十四日朝高雄入港の商船デリー丸で汕頭在住の避難民三十一名が高雄に上陸するとの通知が十三日午後汕頭領事より野口知事宛に入つたので市役所其他關係方面では夫々手配中だが同船は汕頭より廈門に寄港し高雄に直航するので同地避難民を收容してゐるやも知れぬと

臺北山砲隊が 蘭陽に出動演習

砲二門軍馬五十六頭を率ゐ

【宜蘭電話】臺北山砲隊が高東中佐を隊長にして百餘名の隊員、五十六頭の馬と山砲二門をもつて來る十六日臺北の本隊を發し基隆泊十七日基隆發礁溪泊十八日礁溪發[illegible]十九日礁溪を立ち途中宜蘭分遣中隊及宜蘭農林學生より成る步兵軍の一部と合して茲に攻防兩軍の[illegible]戰を展開し宜蘭街に入り壯烈な白兵戰を演じて演習を終り山砲隊は宜蘭に泊り翌二十日午後八時宜蘭を立ち山越をして坪林泊、二十一日歸北の豫定である因みに十九日演習終了の後練兵場に全街官民を集めて高須少佐の一場の軍事講話がある筈

大型漁船の 好漁場を發見

試驗船高雄丸歸る

【高雄電話】鮪、旗魚延繩大型漁船の漁場開發を主眼として高雄州水產試驗船高雄丸は本月二十九日から十日間に亘つてマツクレス・フイールド・バンクの南西海合を調査したがこの間延繩漁具の使用は三百十鉢、漁獲物は鮪六十六尾、旗魚十八尾、鮫十五尾、其他三尾合計百二十尾に上りその價格一千四十三圓である、尚同船は海洋觀測をも行つたがバンクの南東方面は水温一般に高くして漁獲も豐富で殊に東經百十五度三分、北緯十三度附近が目下の所大型漁船の好漁場に思はれると

基隆の 海の展覽會

役員の顏ぶれ

【基隆電話】基隆市役所主催基隆市勢展覽會を記念として本春開催される「海の展覽會」の役員は既にすつかり出そろひ目下陣容を整へつゝあるがその役員は左の通り發表された▲會長青崎保之▲副會長小島[illegible]▲總務部長同上（中監務、會計、接待三係）▲設備部長[illegible]（市製作、裝飾、陳列、商洋、商事商通、市勢、港勢、水產、水產施設九係）▲[illegible]部長[illegible]（中小公學校成績品、教育參考品二係）▲[illegible]

御難つゞきの東部 今度は腦炎が發生

羅病患者は吉野村の幼女

眞性と決定大騷ぎ

【花蓮港電話】去る七日玉里支廳大庄區公埔二一二番戶潘氏連雲が腦脊髓膜炎の眞症患者として發見されて以來久しく續發を見なかつたが十三日突如吉野村淸水三四二桑原幸子（三）が眞症と決定したが衞務課では即日吉野小學校生徒全部保菌檢索をなし保菌者があれば吉野村全部に豫防注射を實施する由である、傳染系統は全く不明であると、右患者は豫て不審の點あり注意中であつたもので十三日午前八時松本警察醫によつて眞症と決定したもので患者は直ちに吉野醫院に隔離された

連袂辭職の協議會員 本間廳長と會見

再考を約して辭去

【馬公特電十二日發】馬公街協議會員內地人側の總辭職問題に對し既に辭表を提出してゐる原、今田、經川、上藤、伊藤、大久保の六氏（小坂澎湖廳代表者[illegible]の兩氏は特別の立場なるを以つて辭表のみ提出せず某々兩氏は應ぜず）は十二日午前十一時街役場に三浦街長の招請によつて會合、辭意を翻へす樣懇望する所あつたが之に應ぜず、どこ迄も辭意の貫徹を主張した、ここに於て街長のとりなしに上つて辭職について本間廳長と會見する事を諒承し、午後一時から田中廳務課長立會の下に廳長公邸で會見、先づ協議會員側から提案料値上問題の經緯に關し當局の執つた態度があまりに民意を無視した嫌ひなる所[illegible]意見を述ぶれば、廳長は立會の田中廳務課長とともに當局の方針につき縷々說明に努めその諒解を求め、再考する事を約して午後五時會見を一先づ打切つた、それより協議會員側一同は街役場に會合密議を凝らす所あつた

圓滿に收まる模樣

【馬公特電十三日發】忌憚なき意見の交換をなし云ふ所全部を云つて了ひ辭表提出した馬公街內地人側協議會員も大いに理解したるものの如く問題は各見解の相違である事に我慢し問題に收まる模樣となり之と關聯した懇案の借用組合役員選任問題は一先づ圓滿に解決された

阿部軍司令官 澎湖の初巡視

阿部臺灣軍司令官は澎湖初巡視として二月二十三日夜來澎二十四、二十五、二十六日の三日間各部隊に各所巡視の上二十六日午後八時馬公發高雄に向ふ豫定だと云ふ

國語常用の家庭 屏東郡下の調べ

屏東郡では豫て郡下の國語常用家庭を調査中であつたが此程[illegible]三家庭が表彰された、其の家庭を見るに△屏東街一一一吳萬氏從さんは明治卅一年十二歲で內地へ留學し後ち故督府醫學校[illegible]醫院長吳克巳氏に嫁した家庭は長男（醫專在學）次男（屏農在學）三男（青山中在學）四男（屏小六）五男（屏小四）六男（屏小一）の子福者であり兩親も常用も話かれる△屏東街五八六李西來さん、郡庶務課小使を勤め長男は甲種自動車運轉手と言ふ[illegible]もある△里港庄四一三陳朝賢さんは法政大學卒業目下代書業を營み妻女は臺南長老女卒で長女次女四人の家庭である[illegible]か總勢十六人の家庭が悉く國語常用者である、とは珍らしい

澎湖の生魚を 內地へ直送

漸次發展の見込

澎湖鮮魚の內地移出は近年試驗的に行はれて居たが、今日迄のそれは全く試驗的で見る可き者なしと云つた狀勢にあつたが昨年臺灣水產三田村技手內地出張の際澎湖鮮魚移出に關して各地の狀況を調査し且つ取引先の如きも確實なる所を確かめ來りたるためこの調査に基き本年鮮魚の內地移出を大いに奬勵したが其成績も頗る好く將來有望だと云ふことである、本年移出の鮮魚は大部分鱲であつて昨年十一月から開始し目下終了期で移出元は馬公街陳合記商店一萬千四百五十斤買入れ價格三千二百五十四、鮮魚公司（宮崎、林合辦）四千百興記七萬八千百四斤、同價格一萬七千三百五十圓で內地移出は年々盛況に向ふ氣運に漸く進した、移出先は主として京阪地方である

社會事業大會と 臺南州側の提案

來る十八、十九の兩日高雄市に於て開かるゝ臺灣社會事業協會主催の第四回全島社會事業大會（十八日）並に第五回全島方面委員大會（十九日）に關し臺南州よりの提案事項は左の通り決定した

△協議事項（社會事業）

一、臺灣紹介法を速に本島に施行方當局へ建議の件（臺南市提出）

一、[illegible]の件（臺南市同）

△諮問事項

一、[illegible]に關する件（新竹郡提出）

一、[illegible]事業に關する件（北門郡提出）

△協議事項（方面委員會）

一、水火災其他非常時に於て方面委員は警戒線場所に出入し得る樣當局へ建議の件（嘉義市提出）

二、方面委員の取扱に係る救護者に對し[illegible]促進に關する件（嘉義市同）

三、社會事業施設に對し[illegible]關係人會の[illegible]件（臺南市同）

△諮問事項

一、[illegible]

[illegible]名の豫定であると

臺南市公會堂に催された市內小公學校聯合音樂會

臺中州主催の 學校美術展覽會

廿日から三日間公會堂に開催

【臺中電話】臺中州主催學校美術展覽會は來る二十日から二十二日迄三日間臺中公會堂においてその第一回が開催さるる事となり各小公學校兒童の手になるもの一千餘點と教員の描いたもの二百餘點の最初の下審查は十二月臺中州廳において行つたが來る十八日には第二回目の審查を行ひ第三回目の審查は十九日に行ひこの審查によつて受賞者を決定する段取となつてゐるが今回の審查には臺北から石川欽一郎氏も見え大いに嚴選をするとの事である

劍道は臺南署 柔道は東石郡に

臺南州下警察官の 武道爭霸戰終る

【臺南電話】臺南州下警察官武道爭霸戰は前日に引續き二次戰を十三日午前八時から開始柔劍道とも第二次戰で取り扱かれた臺南署四隊外の[illegible]を行つて戰ふ樣は各試合とも[illegible]一つの形態さを示し來賓見物人も前日に增して多く場內で緊張裡に破れるばかりの盛況裡に次の成績で午後二時全部の試合を終了したそれより坂口警務部長より本年の優勝旗劍道部臺南署柔道部東石郡に夫々優勝旗が授與されたさし盛大であつた本大會の幕を閉ぢ一同解散した

△劍道部

東　石七―一二臺　南　署

北　門九―六新　營

東　石九―九北　門

新　營八―一一〇臺　南　署

北　門八―一八新　營

一位臺南署三十一點、二位北門郡二十六點、三位東石郡二十五點、四位新營郡二十一點

△柔道部

新　營四―一〇臺　南　署

北　門二―一臺　南　署

東　石三―一二新　營

新　營四―一〇北　門

東　石三―一五臺　南　署

北門郡三點

一位東石郡九點、二位新營郡八點、三位臺南署四、五點、四位北門郡三點

臺南―安平―灣裡を 繞る一周新道路

新年度入り早々工事に着手

【臺南電話】八年度中に着工さるる豫定となつてゐる臺南市から灣裡海水浴場に到り同所から海岸傳ひに安平海水浴場を經て安平を經て臺南市に歸來する一周道路形成の第一着手として新年度に入ると共に着工さるる事となつた、大南門外大運動場道路につながる灣裡道路開鑿については臺南州において特に海水浴季節に間合すべく工を急ぐ事となり來月に入ると共に實地測量に着手し所要土地の買收を終つて四月に入り直に本工事着手の豫定で[illegible]中だがその工事延長は二十五丁餘で灣裡部落前方の地點で海岸道に連絡する幅五間の新道であつてこれにより灣裡海水浴行は一段の便宜を感ずる事となる豫定である

嘉義の豐川稻荷祭

【嘉義電話】嘉義市元町西本願寺布教所內豐川閣では十五日午前十一時より午後十一時迄の間に例祭出世豐川稻荷大明神初午大祭典を執行し[illegible]お守札を參拜者に分與するが餘興として夜間[illegible]大會を開催すると

東石郡聯合青年團結團式

臺南州東石郡では十三日午前十時より朴子公學校講堂に於て郡下聯合青年團結團式を擧げ、更に式後引續き同所に於て第一回郡下青年團辯論大會を開催した

朝鮮からの視察團

【嘉義電話】朝鮮總督府主催本島視察團は視察團長新義州公立中學校長大石利明氏外十六名は十四日午前五時三十五分嘉義驛に着嘉し同七時十五分同驛發阿里山鐵道にて登山一泊の上十五日下山し嘉義市內各所を視察の上午後六時五十分發にて臺南に向ふと

後壁庄の競犁會

新營郡後壁庄主催の[illegible]會は十七日午前九時より[illegible]

島民信仰の的たる 北港の媽祖祭

いよ〳〵廿日から三日間

島民信仰の的になつて居る北港媽祖の年中行事として最も賑やかな舊正月十五日より三日間の行列はその期日も切迫して來たので同廟管理委員四十數名はこの程同廟[illegible]に會合しこれが行列其の他に付き打合を爲したるところ例年どほり來る二月二十日卽ち舊曆正月十五日より三日間媽祖行列することに決定し各團體では成るべく盛大にやるべく昨年より一層盛大に其の他の餘興行列を計畫してゐる尚同期間中媽祖廟[illegible]を會場とする州主催の衞生展覽會も開催せらるることに決定したので一層の賑かさを添ることであらう

嘉義商工會の 慰勞會

【嘉義電話】嘉義商工會主催の從業員慰勞のため十三日午前十時より嘉義座において觀劇會を開催したが各從業員外多數從業員參會し頗る盛會で夜陪するまで

農務課長嘉義へ

【嘉義電話】增田督府農務課長は十二日來嘉一泊の上十三日阿里山鐵道にて[illegible]嘉義に引返し十四日には新營郡[illegible]を視察十五日には虎尾、斗六兩郡下を視察し十六日の虎尾郡西螺街にかける[illegible]に臨場して同夜歸北すると

水牛を騙取

【屏東電話】屏東郡[illegible]は別名を使用と言つて屏東街附近を徘徊し同街夜警で水牛一頭を騙取そのまま逃走したがその後この手を用ゐる各所を徘徊してゐるとの事で目下所在搜査中

徒食を 悲觀自殺

【嘉義電話】十三日午後二時半頃嘉義市西門町一ノ五保正[illegible]長男[illegible]（二〇）が自宅二階內で麻醉藥を服下し自殺を企て苦悶中家人の發見する所となり大騷ぎを演じ直ちに市內加藤病院に擔送應急手當をうけ入院加療中であるが生命危篤である原因は目下調査中にて判明しないが同人は昨六年四月東京醫學校を卒業、歸臺後就職口なく徒食してゐたものである

嘉義のかるた會

【嘉義電話】嘉義かるた會は同好者の發起の下に三新聞支局後援にて來る二十一日の日曜を卜し午前九時より公會堂に開催されるが市內外よりの參加者を歡迎すると

宜蘭郡學校園 藝品評會

【宜蘭電話】十三日午前十時より既報の如く宜蘭郡下公學校聯合の學校園藝品評會の賞品授與式が行はれた、松本郡守の式辭、川島技手の審查報告、郡守より賞品授與、[illegible]會長の[illegible]宜蘭農林學校長及小島街長の來賓祝辭があつて茲に閉式、それより係員の案內で來賓一同出品の野菜花卉盆栽類に宜蘭農林學校の誇りとする逸品の陳列や同郡下小公學校兒童の園藝手工品等を見て廻つたが何れも見事の出來榮えであり當日の觀覽者は好天氣の土曜日とて多數に上つた、尚十四日もある筈

花蓮港廳の 縱貫記念道路工程

玉里支廳管內は進捗

【花蓮港電話】花蓮港廳の縱貫記念道路工程は其後部落民側により豫定期間に竣功せしめることとなつたが玉里支廳管內は玉里三笠間は既に全通し玉里、[illegible]間は十二日から開鑿工事に着手したが此の區は玉里庄の部落民の勞力出役と共に[illegible]提供によるもので工費約三千圓を住民が負擔するものである、[illegible]著手のこととなつてゐるやうで後れてゐるのは玉里方面管內のみである

潮州深耕競技會 入賞者名

高雄州潮州郡共同苗代聯合會主催の潮州深耕競技會での入賞者は一等（萬巒庄林朝春）二等（竹田庄黃總再、潮州庄郭順火、陳銀河）三等（內埔庄沈明元、沈天來、潮州庄江來傳、竹田庄黃朝安、黃勝安、黃進德、萬巒庄洪火炎、鍾捷興、林榮太、林明和）で賞品授與は竹田庄であつた

西村督府地方課長 東部へ

【花蓮港電話】西村督府地方課長は[illegible]方面を視察へ十四日午後六時來花花蓮港廳下の事務視察を行ふ豫定であるがその日程は十五、十六日花蓮港在新城、吉野、女學校、農業校、水道、分遣大隊其他を視察十七日豐田、鳳林、林田を經て瑞穗着泊、玉里支廳着泊、十九日鹿野村を經て臺東着泊在二十二日新港二十三日知本大武着泊り二十四日大武發高雄二十六日馬公二十七日歸北すると

名和市尹日月潭へ

【臺中電話】名和臺中市尹は日月[illegible]

屏東商工會長 宮添環氏葬

屏東商工會長街協議會員故宮添環氏の葬儀は十二日午後四時[illegible]本願寺で執行されたが交友の廣かつた故人の事とて[illegible]面より贈られた花環[illegible]參列者六百餘名に上り[illegible]盛儀であつた

林員

▲員林柑橘組合では[illegible]十日午後一時より[illegible]檢查所員林分所內に於て昭和[illegible]年度定期總會を開催する

▲員林寺落成式 新築中であつた員林街金墩山員林寺は愈々落成したので十四日午後八時より臨濟大本山[illegible]東京駒澤大學學長文學博士忽滑谷快天氏[illegible]入佛落成式を擧行することとなつた[illegible]玉泉氏等が參式する

▲社頭庄長後任問題 社頭庄長[illegible]氏は都合により先月中其職辭表を提出し後任者が[illegible]されると見られて居るが目下の處[illegible]庄民より推薦された第一候補者[illegible]氏及び第二候補者[illegible]兩氏の兩名が有力なものの如く[illegible]內地人[illegible]者に上つてゐると

臺南開元寺にて 南瀛佛教講習會

臺灣南瀛佛教會では今回[illegible]天師の來臺を機とし來る十四日より一週間の豫定で市外開元寺において佛教講習會を開催の豫定であつて講師は駒澤大學[illegible]同大學教授[illegible]玉泉氏の外[illegible]工校長、[illegible]社會課長、坂上[illegible]布教監督その他東海[illegible]本願[illegible]高執德氏等內地本島各布教師が當り講習科目は眞心直說、禪宗的正體、現代思想と佛教、臺灣における社會教育及社會事業、佛教と社會生活其他であつて受講者員は島內各地より約百名參席の豫定

內科・外科・一般・性病
嘉義市 加藤病院
電話[illegible]

謹告
貴地に於て第一商行の商號を以て弊堂代理店と稱し[illegible]
昭和七年二月
東京市日本橋區[illegible]町三丁目
第一膽寫堂本店
支店出張所（大阪・福岡・京城・札幌・大連）

珍花植物
[illegible]
松香園植物場
振替大阪二〇五三六番

ロイマチス
神經痛・關節炎
外用藥 サロメチール
たゞ皮膚に擦り込めばよく、これほど簡單な方法で迅速に鎭痛の快感を得せしむるものは稀である。

臭氣がなくてしかも少しもベトつかない
一円・五十錢 藥店にあり
S 485

東亞の謎

（191）作者　國枝史郎
畫家　伊藤順三

大連の冒險（一六）

から云ひ觸ると癖のある男は、ポケットから五個の麻雀牌を出して、それをテーブルの上へ並べた。勿論裏返しに並べたのであつた。

「では此方から——石川さんから順々に取つていただきませう。」

しかし五人はさう云はれても、速に取らうとはしなかつた。

それは當然なことであつた。殺人行爲を犯すのだから。

もし白牌を取らうものなら、どうでも人一人を殺さなければならず、うつかりするとその反對に、自分が殺されてしまふかもしれない。

黄君の仲間になつた以上、どうせ惡事はしなければならず、又やるつもりで加入つたのではあつたが、加入つたその夜に、かうこのやうな殺人等といふやうな恐ろしい罪を犯さなければならない——と云ふことは五人に執つては、可成り苦痛のことであつた。

眼の前に置いてある麻雀牌の竹か、五人には何かしら氣味の悪い惡魔の手から投げ出されたところの惡運命の符牒のやうに見えた。

伯爵も苦痛を感じてゐた。

（これは何うも飛んだことになつた。……麻雀興味も少し度が過ぎて來た。）

黄君の食卓になることによつて、黄君の本當の内情を知らう、かう熱心な研究心の結果からではあつたが、しかし好奇心も少しなりと好奇的の、探險興味心が加味してゐることは、爭ふことの出來ないことであつた。その探險心の結果として、殺人をさへ犯さなければならない。——と云ふことは何その人が、良心ある紳士であるだけに、苦痛とならざるを得なかつた。

伯は食卓へやつて來て、先刻までいろいろの推測をし、すつかり會員な入會式にも列し、すつかり會員となりすましたが、それ迄に一度もかうなつたことを、後悔を以つて感じなかつた。今になつてはじめて後悔を感じた。

（食卓などにならなければよかつた。）

が、どうにも今になつては、退會することも出來なければ、しやうとしても許されさうもなかつた。

（一人は殺人とならざる可らず、一人は殺人を行はざる可らずと、先刻ボンベイ・ダンスホールで、黄君の[illegible]が茶碗を[illegible]、互ひに見合ふ際へあつてゐたか、つまり此の事を云つてゐたのだ。……どうして俺はこの一牌を、もつと重大に考へなかつたのだらう。）

こんなことまで後悔された。

（殺される人間は何者なのだらう？）

（俺を抜かして五人の人間が、正會員になる筈だつたのに、實際は四人しか入會しなかつた。一人人間が不足してゐる。その人間が然うかもしれない。犠牲になつて殺される人間かもしれない。）

こんなこと迄考へられた。

伯は四人の仲間を見た。

みんな血の氣の無い顔をしてゐる。

四川といふ男が咳拂をした。

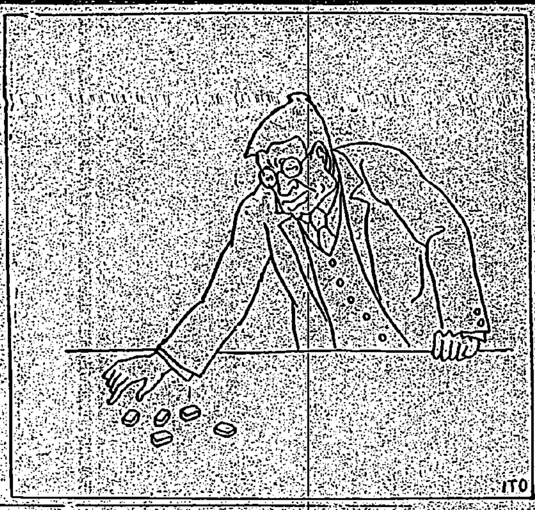
と、つゞいて後の三人も、低く苦しさうに咳拂をした。

さういふ人々の苦悶してゐる、[illegible]な、一同推察をしてゐないやう、癖のある男は勝手を眼にし、無情の面で立つたままでゐたが。

「時間が經ちます、お早く願ひます。」

かう云つて急に石川をしやくつた。

ブルクと石川は身顫ひしたが、思ひ切つて取らうと決心してゐる手で、一の牌をおづおづと取つたが、しつかり握つたままで、握り拳を膝へ置いたまま、容易にあけやうとはしなかつた。



仙方　不老長命（三）

怡養一日法（上）

鬼空

朝早く眼が醒めると同時に、ソンとりを入れて手足を伸ばし、先づ鼻から息を吸ひ込んで口から吹き出すこと數回、以て腹中の濁氣を出し、目を閉ぢ齒を叩くこと三十六遍、それから指頭を以て眼かしらから眼皆の方へ擦り、額て眼球に及び、耳をひねくり廻し、顔面を摩で、手足の關節を揉み延ばし、舌を以て上齶をさゝへて口中一杯に生唾をためて之を嚥み下す。十二三回是を繼續し、是を[illegible]とも呼び、この[illegible]元氣に滿潤し、前にも述べた通り顔色に光澤を生ずるのである

▽齒を叩く　こと三十六遍の此の齒は、漢法研究者の見解では[illegible]なども指頭を以て齒を叩くと解して居たやうだけれども是れは齒と齒とかみ合せることである。以上の行事は可なり面倒なやうでもあるけれども實行するには僅かに數分間の仕事であり、又寢室の中で出來る事だから無精者と雖も實行できるのである。[illegible]するの效は今日の常識では解し兼ねるやうだけれども往年[illegible]が[illegible]で、大に[illegible]を力說して居たことを思ひ出すのである。又齒に[illegible]の關係が[illegible]ば眼もとが涼しく成り、[illegible]れば[illegible]が通つて來るなど

▽養生の效　があると同時に運動の效もあるのである。例の野口道士は長壽の一法として朝から夕まで常に何か仕事をして[illegible]を[illegible]ないやうにするが好い、若し疲勞を感ずれば即ち止め、止めて[illegible]之を爲す、是れは導引と同じ[illegible]があつたといつて居る。老人は同じ形を長く續けてゐるのは宜しからず、例へば讀書、習字又は手紙を認める等、机上の仕事をして少しく疲勞を感ずれば今度は起つて庭の掃除の手入れを爲し、或は盆栽をいぢり、或は散歩を爲し、暫らくしてから再び机上の職務を繼續するなど

▽循環的に仕事をして行くのが最も大事な要訣である。決して今少し勉強すれば片付くからとて疲勞を忍んで無理をすることは宜しくない。婦人など裁縫などにかけると、是非とも之を縫上げやうと思ひ他に用事があるにも拘らず無理をしたがるものであるが、身體の弱い婦人又は老齡に入つてからは、永く之を續けるのは宜しくない。だから張り起つて他の仕事をして復た坐つて裁縫をするなども以て其に轉換すれば益あつて害がないのである。枕中方曰く、怡養の道、久行、久坐、久臥、久言する勿れ、[illegible]する勿れ、強ひて飲食せず、[illegible]を忘れ、饑れば則ち食し、渇すれば乃ち飲む、夜多食する勿れ、凡そ食後は道を行くこと約三百歩（十六町）を過ぎて乃ち寝に就くべし。不老長命の一要件に先づ歩行けスといふ位で、歩行は非常に好いけれども、老人に成つてから餘り長途を遊行するのは宜しくないし、又餘りよく坐り續けるのも好くない。一般の家庭が一日中で夕食が最もご馳走があるけれども、老人は夜の過食が最も害があり、[illegible]食して其まゝ就寢すると、翌朝は必ず胸悶を感じ、食慾を感じないものである。夕食後散歩を爲し或は談話をうたふなど最も必要であり有效なことである。それから力業げ困き物を擧げては不可ないとあるが老人が無理に重い物を持ち擧げたり、無理な力業をすると、それが終身の病み付きと成ることが多いからである。疲勞して髪を洗つたり、冷水や熱い湯で頭を洗つたり、冷水で足を洗ふと何れも人をして頭痛持ちたらしめ、前夜の湯のさめたので身體を洗ふと癬を成し、湯を洗ふと顔の光澤が無くなるとある

最新着の新刊

△法律新報（二月號）△[illegible]往來（二月號）△婦人倶樂部（二月號）△[illegible]（二月號）△[illegible]（二月號）△[illegible]（一月號）△[illegible]（一月號）△新聞時代（一月號）△[illegible]

痰咳藥

RIUKAKUSAN
The cough and Asthma
Good Medicine

龍角散！たんせき、龍角散！ぜんそく藥として、斷然偉効を謳はし、本年に於ける各方面の需要は素晴しい數字に昇りました。痰咳を放棄おくは非文明の極、これほど良い藥があるのに、用ひないのは野蠻です。一服お試み下さらば、迷朦釋然、病跡快然と晴渡ります。

古代醫藥軍の勇士

警告

たんせきを捨てゝおくと、肺炎、肋膜炎、肺結核に變症します。龍角散はそれを防ぐ作用ともなります。

登録商標

龍角散（りうかくさん）

▽全國各藥店にあり——△

二日半分	二十錢
四日分	三十錢
八日分	五十錢
十八日分	一圓
四十日分	二圓
六十五日分	三圓

龍角散の適應容證書

- （喀痰）／たんにて常にゴホンゴホン惱む人
- （喘息）／ぜんそくにてゼイゼイ息切する人
- （頻咳）／せき頻に出で夜中オチオチ眠れぬ人
- （流感）／流行感冒より起るたんせきの人
- （肺病）／肺病にて常に力なきせき出づる人
- （血痰）／たん黒赤を帯び時々血の交る人
- （音啞）／音聲のかれ又は咽喉の痛む人
- （小兒）／百日せき又ははしかせきの小兒

其の他如何ほど頑固の呼吸器疾患のたんせきも凡そ一二週間續けて服用すれば其効果は速に顯はる。

本舗
東京市神田區豊島町角
藥劑師　藤井得三郎
振替東京九一番
電話浪花園九二〇番
八〇五番

A7-12

減産擴張問題で
爪哇と玖馬と正面衝突
世界糖界の危機を切拔けるべく
チヤドボルン氏の新提案期待

【大阪十三日發本社特電】世界農業恐慌は棉花、小麥に於ては稍々一服の態であるが砂糖に於ては益々深刻化して十日入電の玖馬首都市場は○仙九〇、我が三月限○仙八九と

未曾有の安値を告げ爪哇は目下舊正で休みであるが氣配は同様安値を示してゐる此の根本原因は世界の大輸出國である爪哇、玖馬の増收による供給の大過剩に基いてゐる、試みに兩輸出國の一九三一、二年度の需給を見ると（單位千噸）

玖馬

供給	
生産高	三、一二二
持越高	一、四一三
合計	四、五三五
需要	
輸出高	二、六九〇
島内消費	一五〇
合計	二、八四〇
差引過剩	一、六九五

爪哇

供給	
生産高	二、八四五
持越高	五九八
合計	三、四四三
需要	
輸出高	一、三七五
島内消費	四〇〇
合計	一、七七五
差引過剩	一、六六八

右の如く兩國の過剩高は三百三十二萬二千噸に上り更に爪上分を加へると三百七十六萬噸に達し大約**一ケ年間**の兩國の對世界輸出高に匹敵する、かかる有樣であるから糖界の安定は目下の所望み得ないことになり前途何處まで悪化が豫想される次第でチヤドボルン氏は此の切拔策として本年度の生産で更に爪哇が十四萬二千噸、玖馬が**五十萬噸**を減少し其他の各國又これに準じて減少せしむべく協議した、然るに爪哇に於てはトラスト加盟會社は趣旨に賛成であるが未加盟會社（全爪哇製糖會社の二十五パーセント）が此の提案を利用する恐れありと許行を拒み安定案は**流産に終**つてしまつた此の結果は玖馬方の感情を害し玖馬に於ては逆に一九三二年度に於て一四〇萬噸を増産し爪哇と世界市場に於て正面衝突を試みんとする氣勢を示しつつあり糖界の情勢は極度に緊張するに至つたものでチヤドボルン氏は更に此の危機を切拔けるべく**新提案を**提出すべく豫想されてゐるが果して此の苦境にある糖界が救濟されるかどうか非常に注目を惹けれてゐる

株主總會は二月二十二日午後二時から北投ホテルに於て開催する由、今期配當は重役會に於て既定通り年六分据置に内定し、大不況時代に拘らず相當成績を收めてゐる、尤も契約高に於ては前期より幾分減少してゐるも收益の點に於ては前期以上の成績で法定積立金、特別準備金は今期一萬九千圓を計上し創立以來の積立金合計九十六萬二千五百圓を加ふると百萬圓を突破し同社拂込資本金百二十萬圓に對し百萬四千圓の積立を爲し來期に於て殆んど拂込資本金に達する樣の積立を計上する迄に至つてゐる從つて配當の如きも年六分配當を續けてゐる……四、五回續けてゐる等本島唯一の火災保險として內地一流保險會社と伍して何等遜色なきに至つた昭和六年初めの保險契約高現在は動差不割で差引合し二億六千九百三十四萬四千二百圓であつたのが昨年末の契約高二億七千四百八十二萬四千圓にして此間五百五十萬圓の増加を示し例年よりは幾分減少して居るも内容に於て見る事が穩實となつた事を示してゐる尚同社今期の利益金處分案及附議事項は左の如くにして本年は取締役監査役全員任期滿了につき選擧を行ふ筈である

利益金處分案

金十一萬三千四百三十四錢也

之を處分すること左の如し

金六千五百圓也　法定準備金

金一萬二千五百圓也　特別準備金

金八千圓也　役員賞與金

金七萬五千圓也　株主配當金

金一萬一千四百三十四錢也　後期繰越金

第二號議案　取締役、監査役任期滿了に付改選の件

第三號議案　本總會に於て決議したる事項に當局官廳又は大臣に於て修正を要する場合は本總會決議の趣旨に反せざる範圍に於て補正し得ることを取締役に一任の件

舊正に入り臺銀券
三百萬圓收縮す
前年よりは五百萬圓增

舊正月に入つての臺銀券の發行高は十二日現在で四千百九十一萬九千圓にして[illegible]

され四年より以上の圓滑なる狀況を保つてゐる事は事實である、此際、經濟界に多少の活況を示してゐる事も發行券から見て明かである二月に入つて五日が舊歳末の大晦日であつたが當日の四日が四千五百萬圓で前日より増加し舊歳末のレコードを示したが[illegible]十一日には遂に四千二百萬圓臺を割つて四千百萬圓に下つてゐるがそれでも尚ほ且つ前年より約五百萬圓の増發を示し順調なる發行狀況を續けてゐる

電力會社定時總會
理事候補者は畠山氏
松木社長は十二日上京

松木電力社長は十二日出發上京した、同社長今回の上京は遞信省に於て開かれる電力會社今期の總會附議事項中の「理事候補者選擧の件」と示ふ一項は何人も見逃せない事實である、

候補者の選擧に就て松木社長は人事に關する事はその間際即ち總會當日でなければ判らないと語んでゐたが右理事選擧は理事一名補員する豫定である、此間世間では南北理事が辭任するだらうなどと噂してゐる向もあるが右は一部の臆測に過ぎなく又絕對にあり得べき事情ではない、故に現在南、宇賀、安達の理事の外に一名補員される譯で右候補者と云ふのは疑ひもなく前間

辭令を發せられた遞信省電務局長であつた畠山敏行氏である、畠山氏は昨年八月宇賀、安達兩氏が理事に就任した當時からの候補者であつた、當時畠山氏は巨務局長の要職にあつたが確に理事として入社する豫定で當時電力株三百株も買收してゐる所から見ても明かである、その當時種々なる事情の下に實行に至らず日下退官して浪人中である、又その當時から行きがかり上

今回の通常總會に於て最後に決定を見る事は松木社長としての斷定である事も明瞭である之が實現する事になると電力會社の總務部としては松木、南、宇賀、安達、畠山の五氏で松木氏は社長、他の四氏は何れも理事である、右四氏中一名を副社長と云ふ説もあるが松木氏の話によると副社長制は現在で且つ各理事は何れも事務の分擔が定まつてゐるので副社長は置かない、右畠山氏の

入社と同時に松木氏は右四理事の事務を分擔する所であるらしい、即ち南理事は總務部、宇賀理事は營業部、更に畠山理事は工務部とし安達理事は副社長格で東京詰と云ふ段取らしい、右の如き分擔によると畠山氏も必らずしも副社長ではないと云ふ事も明かである、松木社長は出發より之迄の會社には四名の重役を置く事は當然であると言明してゐる所から見ても

畠山氏の入社は確かないい所であるし又株主總會の株主への通知に明かに理事候補者選擧の件を明記してゐる、併し一歩退いて考へると四名の重役多過ぎると云ふ説もあるが、去つての本社長時代に副社長、山中、南、岡弘の三理事が居つた事もあつたのだから今の上に於ては何等問題でない、又同社定款にも理事三名以上とあるのだから理事が四名だらうが五名だらうが何等違法でない、之等の點から見ても畠山氏の

入社は豫定の筋書通り確實に來月二十二日開かれる株主總會に於て通過するものと觀測されてゐる

霜害を回復させた
臺南の降雨
甘蔗の生育は順調

臺南州下一帶に亙る去る八日の降雨は著しい乾燥狀態にあつた甘蔗其他一般農作物に對し可成りの生氣を與へ臺南市附近の雨量十二粍は二十粍前後を算したけれど海岸地方にあつて特に先月上旬州下の甘蔗霜害に對し西一帶に亙つた甘蔗霜害に對し臺南並に新營郡は回復の氣勢を添へたものとして大に喜ばれ此の際唯一の方法とされた臺南大圳の通水に依つて被害程度を輕減せしむる等の特殊な方法を講ずる迄もなくなつた、病ぜられて居る所は目下數個所である六、七年期甘蔗は此の降雨で再び生長を始め[illegible]

副業講習會
準備進む

本島工藝品の大改善を目的とする殖産局主催の副業講習會は準備着々進捗中で臺北は來る二十三日から二十六日まで、臺南は二十九日から三月五日まで共に商品陳列館で開催することに決定、參考となるべき新製作品の購入中である講師は商工省の工藝指導所技師と商工省囑託中山正男氏に決定し相談へて來る二十日臺北の着であるが中山氏は長崎縣の商品陳列館長、石川縣商品陳列館長等をつとめ同縣の特産である塗器、陶器の改善に努力し殊に近來の九谷燒の色彩の改善を圖つたのも全く同氏の獻身的努力によるもので漆器図案界の新臨者であると

産組講習會
高雄州と澎湖廳

高雄州主催の產業組合講習會は來る十五日から二十二日まで新竹州主催の同講習會は二十三日から二十五日まで開催することに決定、殖產局商工課から泉技手ら派遣することとなり又澎湖廳主催の產業組合講習會は來る二十一日から一週間馬公において開催し產業組合協會の加藤主事補が講師として出張の豫定である

三井の製茶事業
今後は紅茶方面に發展

三井合名會社は本島における製茶事業に大改善を斷行し今後は紅茶により大發展を圖ることに決定し[illegible]大約、永茂、新山、嘉義、三叉等の各工場はそれぞれ各種の[illegible]

新糖業試驗所の
位置陣容の決定近し
岡出氏十五日から南下
猪俣特產課長等と共に

糖業試驗所官制の發布も目睫の間に迫つたので殖產局としても新事業に取りかかるべく最後の決定をなすこととなり先般來臺した岡出氏は猪俣特產課長、吉良技師と共に十五日より南下することとなつた、而して中途より土木課の荒木技師、三宅糖業科長も參加する筈で今回の調査により試驗所設立の場所及び育種の交配所等一切の陣谷が決定される、その日程は十五十六の兩日は大南庄及後里の蔗苗

試驗所を視察し十七日は台南にて試驗所豫定地を詳細に調査し十九日は蒔丹及び角宿に赴き育種交配の豫定調査を終へ二十一、二の兩日は再化の糖業科における從來の試驗經過を聽取し二十三日臺北の豫定である、岡出氏は二十六日の便船で一旦內地に歸還した上本月下旬には恐らく官制も發布されると同時に所長の任命もある事だらうから更めて家族同伴赴任する筈である

一月迄の製糖高
五百十六萬二千擔
平均步留は一割二分八厘九毛
前期より二厘六毛劣る

糖業聯合會臺灣支部調査によると新式製糖十一社の一月中旬迄は原料壓搾高二十四億百十八萬一千二百七十斤、製糖高三百九萬八千四十一袋、步留一割二分九厘で前年同月の步留一割三分三厘八毛に比し四厘八毛の低減を示してゐる、是は昨年十月の季節風に罹され壓搾した四條と一月初の霜害が被害壓の甘蔗を纖化せしめ步留に多大の影響を與へたのと其後氣溫割に高く甘蔗の成熟が後れてゐる爲めである、前昨年十一月以降の累計比較は

		前年同期同
原料壓搾高	四、〇〇五、一六〇、二五〇斤	
製糖高	五、一六二、八九八擔	
平均步留	一二、八九	一三、一五

即ち一月迄の平均步留は一割二分八厘九毛で前年同期に比し二厘六毛の低を示してゐる、甘蔗の未熟と季節風及霜害の影響とみられる向二月一日現在殘存原料は七十五億八千二百四十六萬一千七百十斤二月以降の製糖高見込は一千十二萬六千七百八十九擔で之に一月迄の製糖高を合せ今期の總產額一千五百二十九萬六百三十八擔を豫想されてゐる

大成火災
配當六分据置
重役全員改選

大成火災保險會社の第十一回定時

大倉陶園製の
高級洋食器紹介
官民招待茶話會

東京大倉陶園支配人日野氏は去る十日より十六日迄鐵道ホテル三階にて同園製作の高級洋食器の展覽會を開催中であるが、同園主大倉和親氏が年來多額の私財を投じ採算的實驗を爲しつつ今日外國品に劣らぬ高級洋食器を製作して輸入高級品を防遏し進んで外國へ輸出せんとする抱負と苦心の程を[illegible]の士に紹介する爲め[illegible]と河村本社社長の兩氏[illegible]

紡績操短
緩和陳情
メリヤス工業
組合から

【大阪十三日發本社特電】日本綿布メリヤス工業組合聯合會會長鈴木外治郎氏は紡績聯合會に對し現行操短を緩和し同時に綿糸の値上に反對[illegible]

淡水副業
組合總會

淡水副業利用販賣組合第十一回定期總會は去る七日午前十一時から會場に於て開催され[illegible]

茶檢查
一月の成績

臺灣茶檢查所における製茶檢查は目下製茶界の閑散期であるので檢查數量も極めて僅少で一月中の檢查高はウーロン茶五百四十六箱、包種茶一萬四千二百八箱、計一萬四千七百五十四箱に達したが前年同期に比すればウーロン茶は三百三箱の增加であるが包種茶は[illegible]

（米界漫言）

[illegible]

養豚購販組合
十四日總會開催

[illegible]

八九年期產糖も
千萬擔に制限せよ
九年への持越尚六百萬擔
臺灣製糖會社常務取締役　石川昌次氏談

新興製糖及臺東製糖の新設工場を十二月開業の際に就いた石川昌次氏は臺灣の製糖界の前途に付き次の如く語る

今期の產糖は糖業聯合會支部の豫想が約一千五百五十萬擔

總督府特產課の豫想が一千六百萬擔で其の間五十萬擔の開きがあつたが、一月初め霜害を受けて[illegible]

北海道
見本市

[illegible]

正市へ新加入
加藤商會と聯盟

[illegible]

產糖額
[illegible]

霜害に
[illegible]

期米逐に崩れる
高値より中限一圓六十五錢安
丸糖蓬萊存外下游る

[illegible]

芭蕉出荷と
生產費自然低下

[illegible]

北　南　西　東

[illegible]

商況
十三日

米況

臺米相場

正米市場

基隆在庫米（十三日）

高雄在庫米（朝現在）

正米市況（後場）

[illegible]

株況

東京銀行實株

東京國債

東京短期

東京長期

[illegible]

昨日の市況

株式　焦付

綿絲　保合

期米　暴落

砂糖　保合

大阪期米

東京期米

神戶期米

堂島米況後場

東京株況後場

大阪長期

大阪短期

[illegible]

糖況

大阪定期

穀肥

神戶豆粕

神戶穀肥市場

絲況

大阪綿絲

大阪棉花

橫濱生絲

銀塊

[illegible]

學藝

東洋畫の系統

臺北ロータリー倶樂部での講演

（上）……小室翠雲

1

東洋畫の系統に就いて、かいつまんでお話したいと思ふ。然るに昨夜、知人と會飲して、非常に暑く、浴衣を着てゐたが、一月二十五日に浴衣を着ることは、恐らくは我國二千年の歴史上に、容るべからざる印象であらうと思ひます。茲に夜遲くまで起きてゐました爲さを感じつつ床に就いたが、何時しか風邪の氣味を覺え、殊に咳いて今朝は少し聲を痛めたやうで定めてお聽き苦しいでありませうが暫らくの間御清聽を煩はしたいと思ひます。

×

東洋畫を二大別して、南畫と北畫と唱へて居ります。それを表現要素として思想的根底より反射感應する日月、星辰、山川、草木、禽獸、蟲魚等の如き宇宙間に有りと有らゆる森羅萬象の可能性の如實ならしむる畫四體、畫風よりして、東洋畫系の內に、先づ以て南宗北宗と二大別したものであります。

×

この南北二派を英斷して、天下に唱呼したものは、明の莫是龍と云ふ人であります。然るに多くの人々は、莫是龍よりも二十五年も後の董其昌が、首唱したものと思つてゐるが、その實は莫是龍が首唱したものである。その莫是龍が言ふに南北は敢て人の南北に非ざるのみと云ふ第一要を作したのであるが不幸にして夭死したから、その硏究、理論が天下に普及されなかつたことは返す／＼も遺憾なことであります。莫是龍は、畫を愛し、畫も描き文字も有つて、詩書共に著名な人でありました。その莫是龍と云ふ號に就いて面白い一つの插話があります。

×

宋の時代に有名な米點法を發明した米元章、名は芾、字は南宮と申します。その子の米友仁、父子二代揃つての能書家であります。或る時、天子から屛風一雙揮毫の命を受けて身に餘る光榮として齋戒沐浴し、謹んで揮毫した。然るにそれが又頗る會心の作と見えて『二王の惡札を一掃した』と云つて歡喜した。二王と云ふは申すまでもなく、既に書聖と仰がれてゐる王羲之、王獻之の事であります。

×

宋の太祖は、特に王羲之を愛崇して、勅命を發して、天下の遺作を蒐めたと云ふほどであります。それに反して米元章は、漸く二王の惡い癖を一掃して、新生を發揮する書が出來たと、欣喜して躍らず踊躍したのであります。帝王は之れを聞いてその書を見られると、これは又頗る見事の出來榮え、墨瀋淋漓、龍蛇出沒のさま見事に、墨香紙筆の名出來でありますから殊の外お喜びになつて、平生座右にお使ひになつてゐた『端硯』と云ふ硯を賜はつた。米元章は何時も白衣を着てゐたが、その硯を押し頂いて喜んだ時、中に墨つてあつた墨汁がタラ／＼と流れて、墨痕淋漓として美しい白衣を染めた。帝王はこの樣子を見て、非常に興ぜられたと云ふ歷史が殘つてゐる。その硯が、宋、元、明と傳はつて、偶然にもこれが莫是龍の手に落したこれから莫是龍と號したのであります

2

これは餘談でありますが「敢て人の南北に非ず」と云ふ所を見れば、南北の論は元より人種別でもなく、地理別でもありません。要するに明代より前代を顧みて、作家の個性を尊重し、自由を認識して、自然に向つて心を馳せて畫となるべき關係か、主觀であるか客觀に因するかと云ふ事を、その內容如何に就いて、二種に分類して出來たのである。これが南北と云ふ文字となつたわけであります。極言すれば、餘りに形式のやうに思はれるか、北宗にも南宗の氣分あり、南宗にも北宗の氣分あつて物を秤衡にかけた如く、科學に物を分析した如く、秋毫の末まで相違がないとは云へません。從つて南北合法と謂ふのもあります。

×

更に南畫、北畫と云ふがあり、南北の字は或は禪宗から來たものでないかと思ひます。これは自分の想像であります。禪の南北は、よほど異にしてゐると思ふ。即ち六祖大師慧能禪師を支那禪宗の第一祖で、それから六代目であるから六祖大師と言ふのであるが、南方に布教の區域を取り、この慧能の兄弟子たる神秀が、北方に布教の區域を取つたので、地理別なることが明かである。

×

然るに南畫は何人が始祖であるかと云ふに、唐の開元年中、王維字は摩詰、太原の人である摩詰右丞に擧げられた。この頃、詩書畫三絶と稱せられ、天下的人物であつた。鈎斫法を一變して、渲淡の法を開拓した。鈎斫法とは、鈎勒法で輪廓の中に色彩を施つたのです。渲淡法は、水墨又は淡彩に始まつて破墨法に至るので、現在で云へば水彩畫の如きものです。

×

その以前は見る能はざる手法であつて、手段はそれで宜しいか、南畫的精神は何れに根據したかといふは、所は御承知の通り、唐三百年を初唐、盛唐、中唐、晚唐の四期に分けるがこの初唐の時に、謝赫が畫の六法を說いて、その第一に氣韻生動と云ふことを說いた。爾來これが畫の定義となつて、歷史の大家も各々この理に就いて種々論じて居るが、凡そ大同小異であります。そこでその內の主なるものを擧ぐれば、氣は大極一元の氣である。これは宇宙萬物生成の所謂造化の精、天地萬物生成の氣大成の極に通ずる意味であります。韻とは、天地間の響を合して、氣力活動の響きを言ふ、氣韻は本然生動は狂瀾と論じてゐる。

×

更にこれを簡單に云ひ換ふれば氣は己性、韻は自然の內容、己性と云つても、生れたばかりの己性ではならぬ。識は肉眼に映ずる自然の外に含まれてゐる自然の響きである。これが渾然融合して紙面に躍如たらしむるものが、即ち藝術の最大要點であり使命であります。これ以外には何物もないと私は確信する。恐らくは、洋の東西を問はず時の古今を論ぜず、萬古不變の眞理、萬世不磨の定義として、尊重せざるべからざるものであります。

×

それであるから南畫の精神たるや、主觀的、全體的、情緒的、即興的であり詩的である。それを取扱つた人は、高士、識人文人墨客隱逸、野鶴、山林閑雲の士であります。宋の郭若虛が「人品已に高ければ、氣品自ら高からざるを得ず」と云つてをるが、誠に偉大なる卓見であると思ひます（續）

文藝時評

―二月の小說散見―

尾崎士郎

今月の創作を散見して、幻想的な作品の多くなつたことがいちじるしく印象に殘る（もつとも、これはいはゆる藝術派だけにかぎられた傾向であるか）

◇―◇

心理の現實を追求することを避けて、病的感覺の中に異常なるものをさがすといふことは必ずしも今日の時代においてのみ特殊な現象ではない。しかし、幻覺への興味を求める傾向が、單に現實を回避するといふだけではなしに幾分組織化してきたことだけは注意さるべきである

◇―◇

これをプロレタリア的觀點から批判すれば「自然と人間との唯物弁證法的關係の組織性を否定し無氣力で縷々たる運命、目に見えない力の統制に甘んじさせやうといふ點に據頭する革命的大衆の世界觀をマヒさせる宗敎的要素を百パーセントに含有してゐる」（中條百合子の言葉——）

◇―◇

といふ斷案に盡きるであらうか。しかし、文學的意味においては、これ等の「異常なる心理への探究」はもつと複雜に檢討さるべきである。そのことについてはここに言はぬとして唯、二月の雜誌を一瞥見（それも極めて大ザッパである）した範圍內においてさへ、現實的傾向の作品がほとんど影をひそめた觀を呈してゐるのは看過しがたき現象である。例へば川端康成氏の「抒情歌」室生犀星氏の「ピアノの町」にしても、牧野信一氏の「酒盗人」にしても、坂口安吾氏の「蟬」にしても

◇―◇

これ等の作品は、それ／＼の意味において藝術的視角を異にしてあるが、一般の方向を暗示する點においては共通してゐる。そこで問題をこれらの「異常なる感覺」がどの程度にまで新鮮なる發展性としてわれ／＼に內容してくるかといふことに限定することにしやう

◇―◇

「抒情歌」の作者は既に天衣無縫である。こん然としてゐることにおいて作者の用語上の神經は行き屆き得るところまで行き屆いてゐる。しかし、そのやうなことはこの作者によつては既に許容された結論である。この作品をおほふ宿命論理論――（組織されざる感情として）は一體どこに發展の道を求めてゐるのであらうか

◇―◇

これはこの作者にとつては一つの常識的觀念であり、從つてこの觀念に依賴するかぎりにおいては「抒情歌」はどんなにでう／＼として響くとしても、これかせん經に府妙深まれば深まるだけ、技術として完成した型を感ずるに止まるであらう。拔け穴ではなくて、この作品は一つの庭である。私はこの天びんに惡まれた作者を歌る藝術師にしてしまひたくない。

「ピアノの町」の作者についてもわれ／＼はこの作品の詩情を稱讃するための何べんとなく繰返して來た言葉を差控へねばなるまい。これは非常に健康なげん想であるが、そして身邊の新しい神性が描きだされてゐるとしてもしかしこの平安にしてうなかなしきげん想からわれわれは新鮮な調音を聽くことはできないのである

◇―◇

「僕の娘はピアノの練習曲を彈いてゐた娘の足は床にとどかない。朝日の光は娘の背中にあたり、赤まむし色の毛絲ジャケツが毛は立つた動物色のにじを描いてゐた」

ああ、何とこれだけで充分ではないか。他はことごとく說明である。わけても結末の「まるでピアノの町のやうで僕はそのピアノとピアノの町のあひだに青い韻を描いた旗を立てて見たらよく調和しやしないかと思つた」といふ文句においては實しい感覺なマンネリズムを感ずるのみである。牧野大人の將來の上に一顧慮なかるべからず

◇―◇

「酒盗人」の作者は現實の悲しみの數々を空想の夢に美しさの中に還元しやうとしてゐる。しかしこのやうに自分の夢にたち醉して夢に安住してしまつては否々、作者は切々たる人生を置いてけぼりにしてどこまでのぼつてゆかうとするのであらうか。私ははるかなる夢の彼方に作者の姿を見失ふことを恐れるよりも、幻想それ自體のうちに作者が不安を感ずるやうになることをおそれる。「蟬」の作者は異常なる感覺と神經に對しおそろしく大膽不敵である。それ故にこの一作だけで推服をおすわけにはゆくまい

◇―◇

要するに、多くの作者が現代を現實として描くことを拒否すると同時に、それ／＼の角度において神秘な世界を理智のカギでこぢあけやうとすることに上つて、その輝々しい努力のうちに現實を見失ひつつあることは事實である

臺日歌壇

安成二郎選

題自由▲用紙はがき▲一葉五首以內▲宛先臺日歌壇

臺北　西田てい子

ふるさとの悲しく海に來て見れば遙く沖べを大船のゆく

臺北　八木たか子

町を行く女のけはひあでなりき正月もまだ五日の夕は

臺北　えち子

さびしくも目にしむ壁の白々とうつろの部屋に春をこもるも

宜蘭　福榮喜美惠

そこしれぬ胸の痛手はしみ／＼とかたりて見れどなくさまぬかな

基隆　高堺冬雨

かにかくに生きてありてよろこびの心したしく除夜の鐘きく

臺北　淸川道男

はつはるのひかりさし入る部屋のうち硝子の窓影は壁に搖る

JFAK

十四日

▲午前八時　全國氣象通報（東京）▲今日のお天氣のおしらせ（臺北測候所發表）▲臺北近郊の今朝のお天氣のお知らせ△北投、草山、基隆、淡水

▲今日の家庭料理獻立△甘藷の蒲燒△カレード・エッグ（玉子のカレー和へ）

▲午前十一時五十九分　正午の時報▲氣象通報（臺北測候所發表）▲放送局編輯ニュウス

▲午後零時二十分　晝間娛樂時間（レコード演奏）長唄「八松の緑」―唄吉住小三藏、三味線稀音家和三郎、上調子稀音家和三次郎△鞍馬山―唄芳村伊十郎、三味線杵屋栄蔵、上調子杵屋栄次郎

▲午後一時二十分　運動競技（大阪）大阪花園グランドより中繼「東西對抗ラグビー試合」

▲午後五時　國語普及の時間（臺北）新竹州苗栗郡□□、一、齊唱「時計の歌」「四季の月」（黃氏長妹外三名）二、お話「州主催國語講習會に出席して」（林氏阿金）三、齊唱「隅田川」（朱氏九妹）四、お話「小話改善」（邱氏秀梅）五、獨唱「スキー民謠」（周氏愿）六、對話「濱洲串作に就いて」（江氏阿妹、林氏長妹）七、齊唱「子守歌」「空の夢」（吳氏足、饒氏鳳、黃氏川）八、お話「迷信」（徐大和）九、獨唱「叱られて」（饒氏花妹）十、私の部落（饒氏時）十一、齊唱「僕の日向」「鳥籠」（林氏玉妹、林氏鳳妹、林氏阿花、林氏阿蓮）十二、お話「留水の瓦斯」（邱阿王）十三、獨唱「草刈」（饒氏錦妹）十四、お話「別職青年」（邱天家）十五、齊唱「孕は寄宿」（全部一同）

▲午後六時　講演（臺北）「故北白川宮殿下と善光寺尼公上人」

▲午後六時三十分　放送舞臺劇（大阪）大阪道頓堀中座より中繼「梅川忠兵衛―飛脚新町井筒屋の場」―配役―龜屋忠兵衛…中村鴈治郎、丹波屋八右衛門…實川延若、料理人五兵衛…淺尾大吉、座頭弱の市…嵐吉三郎、幇間叶六…市川市昇、嫖客…市川高麗五郎、同…市川芝雁、同…實川延車、物賣りの男…實川英雁、女郎鳴瀨濱…中村成太郎、同千代歲…中村翫、同高雨…中村雁之助、同豐川…淺尾奥山、女郎琴路…實川雁三郎、同彩代川…實川みのる、同松本…嵐吉、同市川成代、仲居お菊…中村成笑、同お琴…市川高麗藏、同お菊…林長夫、女中おりん…中村芝鶴、小婢おたま…中村京昇、禿ゆかり…中村政雀、井筒屋おえん…中村魁車、槌屋梅川…中村福助

▲午後七時三十分　管絃樂（東京）東京ラヂオ・オーケストラ、指揮近衛秀麿、解說堀內敬三、三文オペラ音樂小組曲（ワイル作曲）（イ）序曲（ロ）マッキー・メッサーの殺人行爲（ハ）敗に代りての歌（ニ）愉快な人生の物語（ホ）ポリーの歌（ヘ）加農砲の歌（ト）終曲

▲午後八時　チエロ獨奏（東京）チエロ獨奏コンスタンチン・シャピロ、ピアノ伴奏リチア・シャピロ　一、哀歌（フォーレ作曲）二、歌劇「ゴエスカス」間奏曲（グラナドス作曲）三、幻想曲「メダイドフ作曲」

▲午後八時三十分　奉天より（奉天）奉天放送局

▲午後八時四十分　義太夫（臺北）「三勝半七酒屋の段」淨瑠璃豐田良玉、三味線吉田大力

マルクスへの日本的象徵

歌壇から……太田水穗

既成短歌のうちその最初の提唱となつた明治浪漫派（新詩社）の一切を否定したものは自然主義であつて、短歌はここで初めて近世ヨーロッパの理智主義の特質に觸れたのである。この理智主義はさらに西洋中世の觀念主義から出發した現世的の觀方から訂正を受けて著しく觀察的集中的となつて自然主義に食つ著いてゐた前期的の情緒らしいものを清算した。從つて

寫生短歌

の完全に成立した大正十年ごろの歌壇はあだかもヨーロッパに於ける十九世紀科學の影響の程か日本の歌壇に於て……を取つて……はれて來たと云ふやうな觀があ

る。そこで此の寫生主義の形が物に偏寄り過ぎる——科學的であり過ぎると云ふところから宇宙に內在する主觀の力を顧みて來たのが日本の象徵主義である。象徵主義は兎も明治以後の歌壇の二つの大きな動き（浪漫主義と寫實主義）をその進化主義の立ち場に在つて內面から再認しやうとするものであつて、ここに此の主義の指標としての物心一如すなはち

虛實一體

か……其の意味を驅使し

する直觀の單位に立つて、あらたにマルクスの經濟科學に對向しやうとしたのが日本象徵派の一派である。マルクスの經濟科學はその經濟の名の示す如く、ただ物質存在の科學で無く飽くまで人間との關係に於ける物質價値の學である。この物質の價値は人間の慾望の目的を基礎とする限りに於て同時に人間の生活價値の問題であることは云ふまでも無い。しかしてこの生活價値は廣い意味に於て人間社會の諸の問題（マルクスはかういふ言葉を使ふであらうか）であることを避けられないであらう。ただし從來の道義は物質價値を克服して精神價値を求めるに專らであつたのに對して

マルクス

は精神價値を克服し物質價値を求めるといふ大きな所謂を押し寄せて來たのでこの際感は至極逆立ちになつてしまつたので……しかし者の形式はいささか……精神價値か

も點つてゐない依然として生活價値を物價値の問題であることの……に置くか、精神に置くか、或はこの兩者に置くか、その相違であつて人間の慾望の目的たる點に於ては異らないのである。この結論を何から得て來たかと云ふに科學である。此の點に於てマルクスは日本の空想主義者の如き夢幻藝術者で無かつたのであるが、同時に物をただ物として價値以外に據つておくこと彼の自然主義及至寫生作家の如き傍觀的の無能者でもなかつたのである。彼れは人間への積極な目的を持つてゐたこの目的は目的である限りに於て彼れの實質である。彼れに革火の如き……のあるかはそこである。そこでこのマルクス的……に累して人間の欲望を……するかを持つてゐるものであらうかと見るに彼れの……が……なれば……

その弱點

を露呈してくるといふ矛盾を蔽ふことは出來ないであらう。その弱點は何處にあると評へば宇宙（進化）への認識が不足してゐる點である。しかも認識は部分に捕はれる累がある。生命の全體を摑むには直觀に據らなければ出來ない。此の直觀にゐて實相を觀るのが東洋の靈にゐて實を觀ると云ふやり方であつて、これは東洋の演繹的歷史といふやつである。科學は歸納的歷史であるが哲學、藝術、道義はこの演繹の上に成立するのである。日本の象徵藝術は直觀から一木、一草、一事一象のところへ下つてくる藝術である。現はれた形は一物一象であるが、これは直ちに宇宙（進化）を顯映してゐる點にして精神にして盛なる所以である。マルクスの手に……と命……が……の……から……の中では……に……して十……へまで……くのである

囍なかだち

求職一件一回　金壹圓貳拾錢
其他　一回　金壹圓七拾錢
但□名倍額

社員至急招聘　不問經驗有無　希望者履歷書持參　每日午前中來談　太平町　太平生命

店員入用　市內に保證人ある者に限る　臺北市京町一ノ四二　泗倒商會

貸家　三間山通新築東向八、六、六　電話一、二四二一　開鏡下宿　杉江

貸家　大正町七條通內家庭風八、六、六四疊　二十八、三十八圓　臺北商事株式會社　電話一〇一八番

賣家　建成町二丁目二戶建一棟　久に二階コンクリート門　萬華町商工學校內　生田

賣家あり　住宅向貸家向　新榮町一ノ五　電話一七三　土橋運送店

文具店破額讓る　新起町金園本店　電八三八番

藥種商　株共同經營希望者

電話思給　……八八番

ヒヨコ　安價分讓　【カタログ進呈】　背雄元祖　合資商會大衆人工孵化場　愛知縣東春日井郡味岡村

水晶印の大革命
(17) 中野　(22) 床次　(23) 犬養　(19) 濱口
木印以上深い水晶印　（ダイヤモンドの小粉を何川して深く刻る方法を發明）　實物宣傳の爲め高級水晶認印を原價以下の七十錢で提供します
天然透明水晶　小判一寸一分　サック入り　金七十錢　▲御注文は下欄代金引替又は送料共　御代金は郵券可
山梨縣大河內　山梨水晶株式會社　振替東京二三一七八番

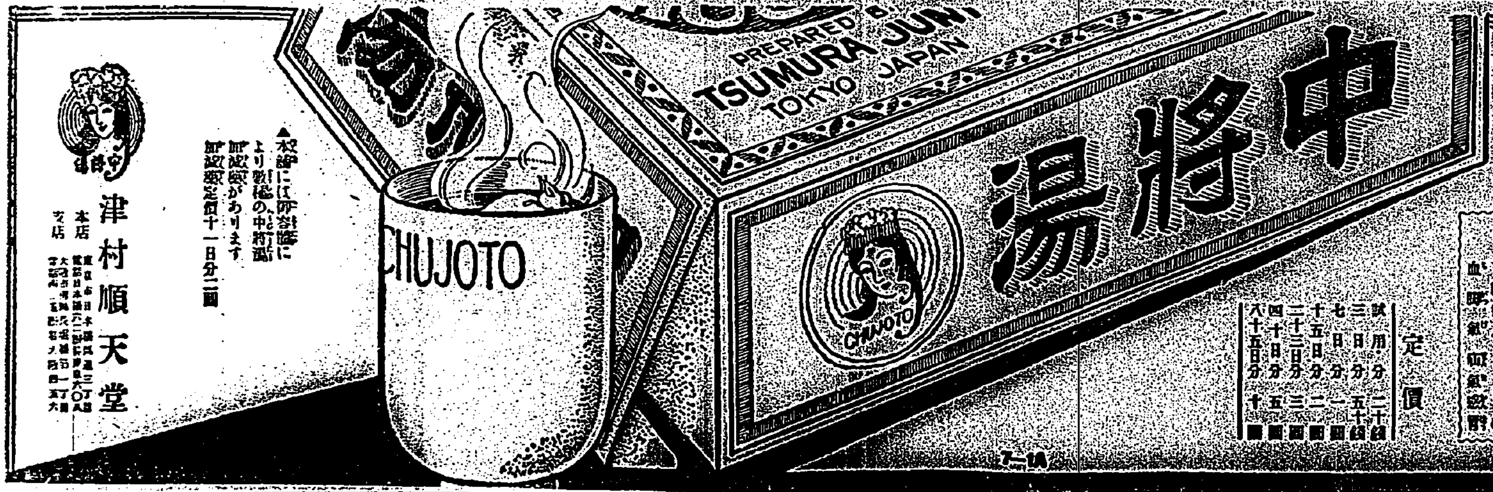
新案特許　シーク点滅器　臺北市京町四丁目　林仁德支店　電話七六三番

ドイツミン　禁煙斷行　定價……　蓄膿症　內用　外用　クキケスとうつつ

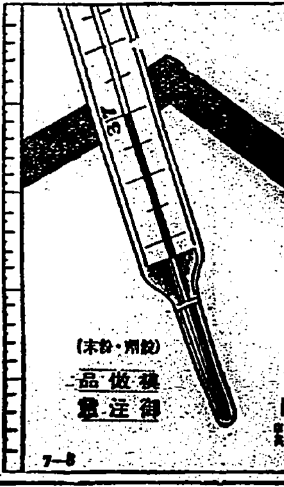
急告　610ハツプ　專賣特許　商標
贋造現はれたり　專賣特許六一〇ハツプ　特に御注意を乞ふ　販賣店樣へ　類似品買つて信用落す勿れ
婦人病・皮膚病・動脈硬化・腎臟病・神經痛・疾病
內服・外用・併用
キヨ／＼と春の如く暮せて　そうして病を治す　一石二鳥
發賣元　名古屋市武藏社合名會社製藥部
名古屋醫科大學醫院御常用　六一〇ハツプ　嚴寒に向ふ時健康第一

月やく　流下の請合藥
不安なとまりで御心配の方、他の無効藥に失敗しお困りの方に夜寢る時に局部に藥を挿入して流下する特殊の良藥あり、この藥は直接局部でトケテ作用し、安全に樂々と流下す。
手當は早く　しなくてはなりませぬ。今すぐ御手紙で御申越下さい委しい說明書を無代で御密に差し上ます。
奈良市小西町東側　松葉ゑん

絕對責任藥（二日のんでキヽメナキ時は殘藥引替に全部返金す）
登錄商標　岩里別府淋藥
服用患者大好評
●藥價　別府溫泉で川來た岩里の淋藥一ケ所　特製（赤印）五圓　並製（黑印）三圓　特約店募集
合名會社　岩里天然堂
●淋病治療書數十頁の美本無代進呈（此新聞名記入申込者に限る）
代理店　賣捌所


PREPARED BY TSUMURA JUN TOKYO JAPAN
中將湯
CHUJOTO

婦人病の徹底的治療に
中將湯は古今を通じての第一人者なり
又 男女にかゝはらず感冒に特効あり
主效　定價
津村順天堂



結核性解熱劑
エルボン
（本劑・錠劑）
吉草酸及びサリチル酸の結合劑

PHYTIN
"CIBA"

神經疾患治療劑
フイチン「チバ」
用法に用ゐると同時に神經系の重要成分である燐を補給し神經衰弱、ヒステリー其他各種神經疾患治療に卓效あり（末・錠劑）

總會召集されても我外務當局は形勢樂觀
聯盟が十五條で行動すれば米國は協力し得なくならう

【東京十三日發電通】聯盟規約第十五條九項に依る支那側の聯盟總會召集要求に對し十二日の理事會は之を拒絕したので第九項後段に依つて支那側の一方的提訴に依る聯盟總會が規約上自動的に開會されることとなつたが右に關しては其會期の決定其他幾多の疑義あるため急速には運ぶまいと見られてゐる而して外務當局の觀測に依れば「支那が九項に依る總會召集を要求せるは理事會に對する不信任の意を表明したもので理事會が自發的總會召集を拒絕したのは之に憤慨せる結果と見られる、支那側の提訴により總會は開かれやうが結局總會は意見又は勸告を附して事件の審議を再び理事會に委ねる外あるまい」として形勢を樂觀してゐる、尚十五條の適用に關して聯盟とアメリカとの關係は頗る興味ある問題で即ち十五條の規定はアメリカが聯盟加入を拒否せる最大理由であつたから聯盟が十五條に依り行動する限りアメリカは之に協力し得なくなる若し協力すれば國內的に紛糾すべく斯くて支那側の十五條發動要求は聯盟とアメリカとの協調關係を破壞することとなるべく成行頗る注目されてゐる

匪賊數百が鷄冠山驛を襲擊
警官隊と衝突激戰

【奉天十三日發電通】十三日午前八時半徐文海一味の匪賊數百は安奉線鷄冠山驛包圍の形勢を以て襲擊し來り我が警官隊と衝突し目下激戰中（午前十一時十分）

東洋和平策を長時間協議
米國務省首腦

【ワシントン十二日發電通】國務長官スチムソン氏は省內首腦部と東洋平和の方策に付き長時間協議せるも遂に意見の一致を見なかつた

コテラス王に特使派遣
熙洽が

【長春十三日發電通】吉林省長官熙洽は新國家建設に關する意見聽取の爲め蒙古王中の有力者コテラス王の許に特使を派遣する事となり、十二日夜一行を出發せしめたがその結果は各方面より注目されてゐる

皇太后陛下 關西行啓御取止め

【東京十三日發電通】豫て關西方面行啓の御內沙汰あらせられた皇太后陛下には御都合に依り三月の關西行啓御取止めに御決定遊ばされた

警察官に眞綿下賜

【東京十三日發電通】畏くも皇后陛下より支那事變地勤務の警官に對し防寒用として眞綿を御下賜遊ばされたが十三日更に追加として二百二十八名分の眞綿を御下賜あらせられた依つて拓務省では直ちに關東廳に傳達することとなつた

日本は明かに平和に叛く
駐米支那公使館から聲明書

【ワシントン十二日發電通】當地支那公使館は上海事件に關し左の如きステートメントを發表した

日本は列國の調停案を拒絕した事に依り明かに平和に叛くものである、支那は全武力を擧げて對日抗爭を繼續することとなるであらう、日露戰爭以來日本の目標は滿洲を占領することにあ

友部警務局長 練習所を視察

友部新警務局長は十三日午前十時警察官訓練所に到り所長と共に今田首席教官外教官一同を引見挨拶をなし次で練習生一同に對し訓示を與へ更に所內を一巡し一々詳細に視察の上正午官舍へ歸つた

友部警務局長 操觚者を招待

友部新警務局長は十三日午後六時より梅屋敷に警務局關係操觚者三十余名を招待して新任披露の宴を張つた

投票の皮切

【山形十三日發電通】日本海の一孤島飛島は全國に魁けして今朝七時から村役場で投票を行つた、同島は酒田町から五日目に一回定期船が通ふ不便の地で有權者二百五十四名である

民政黨の公認銓衡
十三日で打切り

【東京十三日發電通】民政黨では本日を以つて公認銓衡を打切り二百七十名乃至七十二名を限度とすることに決した、先日突如同黨の中心勢力たる井上準之助氏を失つたので非常な混亂であると共に幹部の士氣にも影響を免れず幹部に於ても二百三十名を獲得せんとする最初の意氣が多少ぐらつき出すに至つたやうであるがこの際少くとも二百十名乃至二十名は死守せねばならぬとの意氣込みで陣形を立直し十五日から十九日まで若槻總裁を初め田中、小泉、俵の前閣僚及び永井氏等は公認候補應援のため各地を遊說することになり本部には町田、原、頼母木氏等が居殘り采配を揮ふこととなつた

角源泉氏 出馬を斷念

【東京十三日發電通】元臺灣總督府土木局長たりし角源泉氏は既に民政黨の公認を受け三重縣二區より出馬のため準備を進めつゝあつたが同區は定員四名の所へ中立の尾崎氏初め政友より三名、民政黨より公認三名の所へ非公認一名現はれたので共倒れを恐れ今回は斷念し出馬しないことになつた

夜間の甲種實業學校に
現役將校を配屬

【東京十三日發電通】夜間の甲種實業學校は晝間の中學及び甲種實業學校と殆ど總ての點で同資格を與へられてゐるが、軍隊の幹部候補生制度だけが與へられてゐないので、數年來交涉中の所愈々來る四月から現役將校を之に配屬し、幹部候補生の資格を與へらるることとなつた

後任總督に井上孝哉氏有力
太田總督は十五日辭表を提出せん

【東京十三日發電通】太田臺灣總督は十四日夜東上し十五日中に辭表を提出するものと見られてゐるので[illegible]、森書記官長等は其の後任につき犬養首相に進言しつゝあるが井上孝哉、南弘、木下謙次郎氏等が數へられてゐるが特に井上氏が有力の如くである

招電を受けての東上に非ず
太田總督門司で語る

【門司十三日發本社特電】太田總督は瑞穗丸で今朝門司着、下關大吉樓に入つて十分な朝食をすまし、正午同館で海路東上したが

「自分は政府の招電を受けて東上するのではなく自ら上京を決した譯で、辭職するか如何は諸君の想像にまかす、更に角一年一月、臺灣は實に住み心地のよい所であつた、殘した仕事もいろいろあるが共婚法の實施だけは是非在任中にやりたいと思つてゐたが、仕事の如何に拘はらず內閣が代ると總督も代ると云ふのも政黨政治の今日ではやむを得ない事である」と語つた

故上人の御志を果たすべく來臺
善光寺の大宮智榮尼公上人
臺灣別院の入佛式を機會に

【基隆電話】十三日正午入港の大和丸で善光寺大本願住職大宮智榮尼公上人が隨員十二名、それに東京の同同院法主、增上寺錄事その他關係僧侶各職を合せ同勢三十余名で來臺した、尼公上人は四十八歲位とは思はれない位に若く麗はしく見えたが本紙記者に面にしとやかにをさまり善光寺保存會理事信徒總代羽田眞一郎氏、大木[illegible]氏外

尼僧連 に侍づかれ、善光寺臺灣別院住職中野全龍師外各宗僧侶及び信者達の歡迎に對し一々丁寧に挨拶し羽田氏を通じて記者に語る

「臺灣は初めて穩やかな航海で門徒一同壯者なのは何より仕合せである、本島は前住職尼公上人が北白川宮能久親王のお姉君にあらせられたので御存命中一度臺灣に渡つて臺灣神社に御詣りしたい御念願の所、御志を果たされず二十年前におかくれになつたので、その後を繼いだ私が臺灣別院入佛式を

機會に 故尋因上人と故能久親王の御遺牌を臺灣神社に奉安し、故上人の御心を御果して上げたいので來たのです、善光寺の由來を云ふと千五百年前佛教渡來直後欽明天皇の御代にまだ宗派が別れない時分に建立された古刹で、八宗兼學と云つて宗派の何れにも就かない超越したお寺であつたが、後淨土宗の大本願派が附屬し德川時代に一宗教の勢力の强大を恐れ政策的に天台宗の大勸進院を當らしめたのです、云はば[illegible]

協力し [illegible]

[illegible]てゐる樣に、昔の名刹名山は女人禁制であつたのが、善光寺ばかりは信仰本位男女開放でやつて來たので、自然女性と特別な緣が結ばれ住職も代々尼さんが勤むる事になつたのです」

反宗敎運動に對する上人の感想は羽田氏に聞けば御本人が世俗に遠ざかり宗敎問題は新聞雜誌を通じて御感得になつてゐられるが、上人の

理想から 云ふと既成宗敎も反宗敎運動の何れに對しても、あきたらぬ所が御ありの樣である、併し宗敎は人間にとつての精神上の糧で、食物そのものが全部營養になるものでなく何パーセントかの殘滓は體外に排泄される樣に宗敎そのものにも瑕があるだからそのよい所だけを盛りたてて行くべきで問題の禁慾生活も宗旨から來る信仰もあつてヨーロッパでも信仰から戒律の一つとして固守されてゐる樣各々立場々々によつて

意見の 相違がある、尼僧の有髮問題も現代の新傾向と見られないでもないが、彼は彼之は之で何とも申されぬが禁慾そのものは修養によつて能力の差異を補ふ事にはなります

と、かくて尼公上人一行は[illegible]

會釋し [illegible]

[illegible]動車五臺を連ねて[illegible]氏邸に向ひそこで少憩し午後二時三十八分發列車で基隆の八宗僧侶及び門徒信者に見送られ臺北より奉迎の信徒達と同車臺北へ向つた

昨日著北の智榮尼公上人
臺灣神社、建功神社を參拜
多數の善男善女が出迎へ

既報の如く善光寺尼公上人は黃金三殿佛壇に御姉宮尼公上人御位牌を捧持し隨者二十四名と共に十三日午後一時基隆入港の大和丸にて來臺三時四十分臺北驛に到着した驛プラットホームには世話方關係者始め官民側から岩崎臺北州內務部長、佐々木臺北市助役、愛國婦人會から會長平塚長官夫人等その他州市役所職員等約千餘名、驛前には各宗門始め婦人會信者の約一萬を算する程にてその長さ鐵道ホテル前に及び「奉迎尼公上人猊下」の祭旗の長旗は數百挺を極めた中に[illegible]內にて下車後[illegible]、井手氏、宮賀[illegible]に少憩後徒歩にて信者に一々珠のお授けを行ひつつ用意せる自動車二十臺に分乘して臺灣神社に向ひ參拜次で建功神社に參拜後北投[illegible]に宿泊した北投にては新北投驛前に世話方關係者は勿論多數出迎へて居た【寫眞は臺北驛の尼公上人】

皆吉醫專教授
辭表を提出
大阪で開業

臺北醫專教授總督府文敎局技師皆吉貢氏は鄉里大阪に歸り開業すべく恰も年度末の行政整理に際し辭意を決し先頃辭表を提出した、同氏は臺灣醫育界の權威者であるが緊縮政策に累られ其手腕を揮ふ餘地が少かつたのは臺灣の爲に惜まれてゐる、尙後任は[illegible]長が上京の際物色して來る筈である

パーセルメス夫妻來朝

【東京十三日發電通】米國ファースト・ナショナル社スターとして有名なリチャード・バーセルメス夫妻は今朝八時橫濱入港のエムプレス・オブ・ジャパン號で來朝し直ちに上京帝國ホテルに入つた

北區保甲、生石炭を使用せぬと決議
昨日保正會議を開き
煤煙防止運動愈よ本調子

同じく臺北市でありながらその衛生的見地から見ても又商業政策の見地から見ても甚だしく城內に劣り一路衰微の途を辿つてゐた大稻埕にも一陽來福、アスファルトの舖裝道路の完成及び消防設備の完成に引き續いて太平町大稻埕の照明燈實現によつて漸く活氣づく、近代都市の面目を備へ得るに至つたが唯一つ後に殘されて大稻埕の美觀を毀し衛生保全を害し[illegible]してゐるのは生石炭の使用によつて惹起する煤煙問題である、この問題を[illegible]

解決す べく北區管內に於いては今より八年前近藤警察署長時代に一回山田署長時代に二回の「煤煙防止期成同盟會」なるものを組織し署長以下關係者が生石炭の使用禁止に努力して來たが、何れもその具體的實行方法の不備によつて失敗を重ねて來たが漸く近代都市の面目を備へて來た以上從前の如き管內に煤煙を及ぼす煤煙問題を是非解決の要に迫らしてゐる[illegible]

勢力を なしてゐる北區管內の保甲役員[illegible]十三日午後二時半より市內太平町[illegible]ろ、そして各保甲代表者は各團體に此の趣旨を徹底させ、以つて確實なる實行を期すべく夫々各團體會議を開き右決議事項を決議する事になつてゐるが、それに[illegible]

目的遂行を期す各關係者

[illegible]一致して大會の煤煙防止の目的を以て燃料として生石炭を使用せざる事を決議し一致協心、協同一致して目的遂行に邁進する事を約した、右に關し各關係者は熱意をこめて次の如く語る

岩田署長談 この問題は既に八年前より論議されて來た問題であるだけにどうしても官民協力で實現せねばならない、大稻埕は本島人街として全島に於ける大都市で他をリードすべき地位にあり乍ら管內全般の住民が生石炭を焚き煤煙で管內の衛生、美觀を毀損しつゝある事は時代に逆行した事である、又全島を見るに中南部地方では石炭をたいて煤煙で困つてゐると云ふ話を聞かないが大稻埕のみが一番に多く煤煙の弊害を蒙つてゐると云ふ事である、私は微力ながらも管內住民の熱意あるところを汲み住民諸君と共同一致して目的遂行に邁進したい決心である

郭廷俊氏談 煤煙問題を解決すると云ふ事は換言すれば生石炭使用絕對禁止の實行である、今回の煤煙防止會は以前の失敗に鑑み生石炭以外の燃料を各自の自由選擇に任かせ且つ又主要燃料たるべきガラ、コークス等は北區團體で大量的に安く購入配給すべく實行委員を擧げてその具體的方法を攻究し實施期日、相當の準備期間を置いて六月一日とし萬全を期してゐるから社會公共の幸福のために管內住民の自發的協力を望みたい

許智貴氏談 金があつても子孫があつても命が無ければ何にもならない、この我々の命を縮める煤煙[illegible]見ただけでも煤煙の害は[illegible]、故に生石炭使用は絕對に廢止すべきである、これには實行方法の研究も必要であり違反者に對する制裁も必要であるが自分は北區保正聯合代として出來得る限り盡力をするつもりである

陳清波氏談 衛生組合を利用し又は大稻埕消防組合を動かしてこの煤煙防止問題でどれだけ苦心して來たか知れないよ、最近では少しでも煤煙を減らしたいために各戶の煙突掃除を無料でやつてゐるが生石炭使用を廢止しない以上良好なる成績を擧げる事は出來ない、幸ひに今回は大稻埕が近代都市の面目を備へて來たのに鑑み管內住民もこの問題に對して熱烈なる關心を持つ樣になり岩田北署長も全力を盡して働いてくれるからきつと實行が出來ると信じてゐる

懸賞募集
臺灣軍軍歌

臺灣軍司令部では「臺灣軍軍歌」を左記規定によつて懸賞募集することとなつた

一、軍歌作製上の注意

一、臺灣軍獨特のものとし常に軍隊に於て高唱せしむるに足るものなること

一、本島の地位と領臺戰史とを以て其特色とし臺灣特殊の事情を明かならしむること

一、對支關係の一部を入れ特に士氣振興の資たること

一、「臺灣軍」（在臺軍人）の任務を詠ずること

一、過度に長からざること（六節以內の程度を可とす）

應募資格 制限無し

應募期日 昭和七年三月一日迄に臺灣軍司令部に到着すること

審査の方法 在臺新進權威者に[illegible]依託する

賞金 一等五十圓（一人）二等三十圓（一人）三等十圓（一人）

作曲は陸軍戶山學校に依託す

金山庄の教化聯合會發會式

【基隆電話】基隆郡では目下郡下各庄の教化聯合會發會式を催しつつ行中であるが金山庄の分が十三日午前九時から同庄公學校講堂で擧行され清水郡守、山田郡視學、庄內關係男女青年團員を合せ約三百名列席盛況裡に終了したが今後の豫定は十五日萬里庄、十六日貢寮庄、十七日雙溪庄、十八日七堵庄、十九日瑞芳庄、二十日平溪庄で二十二日瑞芳公學校で郡下各庄教化聯合會發會式を擧行するがこれにて郡下新教化網を完成する筈である

獻金

[illegible]

革新力士團は新興團と提携
協會との交涉打切

【東京十三日發本社特電】革新力士團の後援者井上氏は相撲協會の宮城野、鳴門、伊勢濱、井筒士等と十二日午後一時半東京ステーションホテルで會見し、先に白上氏から協會復興の條件として提出せる大相撲協會の財政根本改革案外六項目の條件につき具體的交涉を進めんとした所井上氏から協會の根本改革は財政問題にあるから協會の帳簿を見せて貰ひたいと主張した所、協會は第三者に帳簿を見せる事は出來ない力士諸君が協會に歸つて力士會を組織した後なら見せてもかまはぬと拒絕したので井上氏は之では問題にならぬと協會の不誠意に憤慨して交涉を打切る事となり會見は

物別れ となつた、之により革新力士團は協會復歸の交涉を打切り新興力士團と提携する事に決定した、尙井上氏は十二日午後九時四十五分名古屋に歸つた

春場所
二十二日から興行に決定

【東京十三日發電通】新興、革新兩力士を總動員とし曲りなりにも春場所を開くに決定十三日朝十時左の如く發表した

一、二十一日歸大阪、二十二日より向ふ八日間、會場國技館、料金は二圓、一圓五十錢、一圓、五十錢の四種

春場所新番附

【東京十三日發電通】相撲協會では春場所番附を十三日正午左の如く發表した

△東方 玉錦、能代潟、[illegible]

△西方 武藏山、清水川、沖津海、吉野川、古賀浦、若瀨川以上幕內、尙この外幕內格四名十兩格四名幕下四名、各十枚を下から昇進させてゐる

中等學校言論大會
けふ高商で

臺北高商では例に依り十四日午後一時より同校講堂にて州下中等學校辯論大會を開催することとなり、特に今回は新なる試みとして優勝盾を設け三年間持續せる學校に對し之を附與するとのこと、題目は左の通りであると

一、和の心 工業 [illegible]

一、國論の一致より見たる日本へ 工業 黑木[illegible]

一、所謂學生政見に對する考察 高校尋常科 [illegible]

一、滿洲事變に對する一考察 高校尋常科 田中[illegible]

一、意氣と熱 北商 兒玉[illegible]

一、現代的實力 北商 [illegible]

一、日本よ古に歸れ 一中 中島[illegible]

基隆都市計畫路
査隊神社參拜

【基隆電話】既報大基隆建設の[illegible]基隆都市計畫路線査定[illegible]は十三日午前九時[illegible]を出發し先づ基隆神社に參拜し[illegible]

基隆の講演會

【基隆電話】基隆市の婦女文化講演會は十三日夜基隆座で開催されたが聽衆無慮五百、弁士交々熱辯を揮ひ盛會裡に十時過閉會した

本社工場參觀（二月十三日）

七星郡關渡公學校兒童三十五名同訓導引率△海山郡三峽公學校兒童百八十名同訓導引率

本日の催し

▲大倉陶器展 夜九時迄本社三階

▲ギルタイプ寫眞展 午前九時より午後四時迄新公園博物館で

▲商業美術展 本町二の二六[illegible]にて

▲[illegible]展 羽衣會にて

▲[illegible]

▲第三高女音樂會 午後一時より同校講堂にて

▲[illegible]新年親睦會 鐵道ホテルにて

▲中等學校辯論大會 午後一時より高商講堂に於て

鐵道省自慢の上野驛完成

【東京十三日發本社特電】鐵道省自慢の近代的設備による大東京の玄關上野驛が完成した、目下內部の仕上げをしてゐるが陽春四月五日を期して堂々たる雄姿を現はす事となつた、總工費二百五十萬圓と約一年半の日子を要した新驛は全く立體的で、來る自動車は二階に、發る自動車は一階に、步行者には地下室が步道とされ全く混雜を避ける樣に出來てゐる、[illegible]上野驛開業を期し松坂屋に東北北海道名所展覽會を開く事となつてゐる

列車から飛降り中學生が重傷
昨日臺北驛で

臺北市建成町三ノ七七基隆中學校二年生[illegible]君（一八）は十三日基隆よりの午後二時五十五分臺北驛着下り列車が、既にホームには入つたが、まだ停車しないとき降車口より逃に飛び降りた際、誤つてホームと線路の間に墜落、アッといふ間に約一間ばかり引き摺られ[illegible]

新海事諸法令實施を急ぎたい
松下督府技師語る

【基隆電話】十三日入港の大和丸で總督府海事技師松下吉氏が內臺海事法令統一に關し[illegible]監理局と之が實施上の打合をして來たが語る

「大體の打合は出來た、成るべく早く實施したいので目下施行規則及細則の審議中である、船舶檢査に關する取扱については基隆出張所詰の瀨戶口技手が目下大阪に出張、かの地海事官署につき實地見學中である、これから發動機船船長も海技免狀を要し、船舶も檢査に合格しないものは運航が出來なくなるから、自然海運業の改善進步を見る事になる、また海技免狀の內容と並行かないけれど漸次その域に進む樣努力する事が必要だ、海事當局として望む所はこの際當業者が新海事諸法令の實施に處する準備をして貰ひたい事である」

汕頭の市中動搖を示す
新聞の煽動により

【馬公特電十三日發】要港部發表、汕頭情報によれば新聞の煽動により對日感情惡化し、領事館に對する[illegible]等報ぜられた、十一日夜の[illegible]市政府南方海岸に土嚢陣等を設け海岸方面の見張警戒を嚴にし、日本領事館に對し十二日中に退去せよとの命令を發し應ぜざれば[illegible]との警告も飛び、市中は相當動搖す、十二日午後日本婦女子三十一名はデリー丸で引揚げをなし、[illegible]は從來通り點火する旨[illegible]通知があつた

暗殺犯人起訴收容
十三日夕方に

【東京十三日發電通】井上準之助氏暗殺犯人小沼正の取調は昨日終了に至らず本日引續き檢事の取調を受け午後四時[illegible]起訴と決定、市谷刑務所に收容さるることとなつた

飛行機建造に千圓寄附
基隆の平戶氏

【基隆電話】十三日朝一匿名で基隆[illegible]に飛行機建造資金一千圓を屆けたものがあつて取調べた所[illegible]主は平戶[illegible]

大名畫 心の日月
日活現代劇部超大特作 原作菊池寛氏 入江たか子 瀧花久子 峰吟子 島耕二（其他總出）
○烈日篇 ○月光篇 第二十六卷一擧上映○
上海目指して
新世界

漢文臺灣日日新報

我總領事館投手榴彈
墜落前庭炸裂幸無損害
便衣隊跳梁愈甚

十三日上海電。十三日午前九時二十分。有從英國總領事館建築豫定地之黃浦江河岸。向我總領事館。投手榴彈二個者。大響二聲。同時炸裂。落于前庭。幸無損害。平艦出雲。警戒隊出動。目下嚴戒中。又八時五分。虹口東館。有投手榴彈者。便衣隊跳梁愈甚。

徐文海匪賊數百
襲擊雞冠山驛
現與警官隊激戰

十三日奉天電。十三日午前八時半。徐文海一派匪賊數百名。以包圍安奉線雞冠山驛形。襲擊而來。與我警官隊衝突。目下激戰中（午前十一時十分）。

上海中國兵
大軍將近十萬
中國僞稱三個師

十二日北平電。中國宣傳上海配備軍。恰如第十九路。惟三個師。事實既由浙江省增援三個師。南京二個師。徐州一個師。計八個師。大兵將達十萬人。

立候補者總數
七百二十名內外
因不景氣人數大減
八選舉區似作無投票

十三日東京電。普選第三回總選舉。已迫至二週間後。立候補屆出。十三日午後十二時截止。全國立候補者。經已確定。今回因不景氣軍資金調達不能如意。候補者遲々不出。總數大減。結局止七百二十名內外。比諸普選第一回九百六十五名。第二回八百四十名者。非常減少。而據警保局調查。至十二日形勢。左記八選舉區。似作無投票區。

▲大阪六區（定員三名）井坂豐光（政）松田竹千代（民）山口義一（政）

▲岐阜三區（定員三名）牧野良三（政）古屋慶隆（民）平井信四郎（政）

▲新潟一區（定員三名）山本悌二郎（政）田邊熊一（政）民政一名。

▲同四區（定員三名）鈴木義雄（政）武田德三郎（政）民政一名。

▲山形二區（定員四名）佐藤理吉（民）熊谷直太（政）清水德太郎（民）松岡俊三（政）

▲千葉二區（定員三名）鵜澤宇八（民）鳩山秀夫（政）今井健彥（政）

▲山口一區（定員四名）天原房之助（政）保良淺之助（政）庄晋太郎（政）藤井啓二（民）

▲大分二區（定員二名）綾部健太郎（政）清瀨規矩雄（政）民政一名。

又山口二區。靜岡三區。至十二日。突現以無競爭形勢而散。因關係者間交涉。或作無投票區亦未可知云。

粵軍飛機
六機抵長沙
參戰上海

十二日漢口電。廣東軍爆擊機三臺。戰鬪機三臺。爲參加上海戰線。十一日夕。抵長沙飛行場。十二日經赴南昌、南京、上海。

瀘藻濱戰
我軍戰利品

十三日吳淞電。十二日瀘藻濱之戰。我軍鹵獲小銃彈二千發。小銃二。銃劍一。手榴彈三。十九路軍帽子十個。

英聯盟協會關日華紛爭
決議適用制裁規定

倫敦十二日電。聯盟協會。對于日華紛爭決議斷然適用聯盟規約制裁規定。此乃聯盟協會創設以來之事。決議內容。

一、聯盟總會召集。

一、與美國提携。對日、華兩國。以諸外交的、經濟的壓迫之。

江灣方面
兩軍交戰
前線配增援隊

十二日上海電。十二日午後九時十分。敵向淞滬路至江灣全線。以小銃機關銃猛射。我軍盛行應戰。配置增援隊于前線。

敵軍十七名
夜襲我軍
大半被我擊斃

十三日吳淞電。昨夜敵之正規兵與便衣隊十七名。夜匍匐田圃。夜襲淺○隊。我機關銃猛射之。大半射殺。我軍稱其大膽云。

迫近敵陣
我軍渡吳淞江

十三日上海本社特電。在吳淞江對峙中我○○○團。十二晚。在河口上流。施架橋工事。十三日曉。我○○隊一部。勇敢渡河。迫近敵陣地。至午前十時尚激戰中。

日華問題外
合見議事

十二日壽府電。第六十六回聯盟理事會。以十三日午後公開會議。日華問題以外選定議事。可全部議了云。

敢於敵前渡河
占領楊家柵齊
我軍二名負傷

十三日上海電。岡本○隊。十三日朝。從吳淞鎭西方進出。吳淞江支流迴塘。行敵前渡河。十時過謀突破第一線。占領楊家柵齊。同所不過吳淞鎭西方六、七百米。敵大動搖。占領時。特務曹長服部達夫。一等兵菊盆武負輕傷。

元英航空隊司令
中國政府欲聘爲
空軍總司令
到底難以就任

十二日倫敦電。元英國航空隊司令斯美士氏。受中國政府。招聘爲航空軍總司令。氏避而不言。但云中國只懇其介議飛行機數臺。又同氏友人。謂顧問則無妨。而現役司令官。想難就任也。

北港建國祭
祝賀及表彰

北港郡北港街之建國祭。月十一日午前十時。在公會堂庭。有鄉軍會員。壯丁團員。婦人會員。男女青年團員。外官民有志多數參列。首由蘇街長宣告開式。揭揚國旗。一同向東北遙拜。次由郡守發聲。三唱帝國萬歲。乃降下國旗閉式。式後在公會堂。開官民合同紀元節祝賀會。又郡役所則於當日午前九時。在同樓上。對左記各警官。由坂口警務部長。舉左記皆勤證書授與式。五箇年皆勤者佐々木吉綠。四箇年皆勤者郎條治。三箇年皆勤者黃福重。一箇年皆勤者矢嶋川二郎。土井榮次郎。留吉行政。陳馬瑞。吉岡桃減。陳炬森。林金獅。榮永發。徐振馨。菲金桂。

日本目標在占滿洲
明々違反平和
駐美中國公使館聲明

十二日華盛頓電。當地中國公使館。關于事件。發表如左記事。日本拒絕列國調停案。明悖平和。中國必舉全武力。繼續對日抗爭。日俄戰爭以來。日本目標。在乎占領滿洲。中國明知之。

後任臺灣總督
井上孝哉氏有力

十三日東京電。入川臺灣總督。十四日依東上。十五日中。將提出辭表。秦拓相。森書記長官。就其後任。進言于犬養首相。井上孝哉。南弘。木下謙次郎氏等爲候補者。就中井上氏似有力云。

潮州庄
深耕競技
竹田團優勝

潮州郡下同苗代聯合會主開深耕競技會。去十二日午前九時。開于萬丹庄共同苗代跡。由郡下六組合選拔二十六名。各受持區域三十坪。自午前十時開始第一回競技。同十二時半告畢。次審查。下午一時。在同庄役場前會場。舉審查褒賞授與式。定刻有長谷川庶務課長報告審查。次會長稻松郡守。授與一等一名。二等三名。三等十名。褒賞副賞及團體優勝竹田團優勝旗。有會長式辭。來賓總代答辭。二時半盛況裡散會。

時　評

○中國代表。要請聯盟。召集總會。英國代表。反對甚力。聯盟當路。復從而指摘列國使臣。方居間調停。士亦不須召集。大勢不問明矣。

○英國聯盟協會。決議聯絡美國。設法制裁日華兩國。究竟居間調停者有人。反對總會者亦有人。決議制裁者亦有人。別有作用耶。

○英美兩使。調停々戰。華人抑以不能撤兵區域外。潤人再講對策乎。抑袖手而退乎。且翹首觀之。

○上海事件。或咎粵人爲匪階。孫陳諸人。既懷忿而去。洛陽政府。能之又不肯行。苟復召氣判底。而坐觀時局於倒懸。非國士之用心也。

○內地總選。僅除一星期。而候補只有七百二十名。頗減於初次九百六十五名。二次八百四十名。經濟不况。不易籌資。對華問題尚未解決。一齊告爲原因歟。

○同一授業料問題也。恒春郡各庄協議會。均決議免除。而馬公內地人協議會員。則因減不果。至於聯狀辭職。以與街當局爭者。亦足以刺戟全島一般協議會矣。

○自治體協議會。名雖諮問機關。而理解時代者。輒以彼今日條明文。爲重合之決議。縱有特別事情。亦必先求諒解。似此公然跋扈。吾屬創聞焉。

○日本商工會議所。決議組織滿蒙視察團。行程僞定三星期。本島方面。不便參加。然不開別自組織計畫者。以臺灣商工團體不認其要耶。

○內鮮協和會。要設病院於大阪。入院料一日五十錢。外來診察料十錢。藥價一劑七錢。擬自新年度實現。一年收容一萬人。似此方爲大群造福也。

○市內諸同機關少數有志。利用地位。希望顯臣名。與東京臺灣關係有志。致書勸告辭職者。適成一反比例。但相形見拙矣。

臺北養豚總會

臺北養豚組合。訂十四日午後一時。於市內南門公會堂（佐久間町）。開第八回通常總會。蓋該組合前年總會流會。蓋因酒糟販賣所解散。組合損失巨款。此回審議。爲最重大。且昨今酒糟。亦不如意。亦有關係云。

臺中實業協會
總會當日行事

臺中實業協會總會。並第十六回。商事從業者表彰式。去十一日。在水源地運動場。午前八時起。先行軟式野球比試。午前十一時。乃開總會。出席人數。約三百餘名。來賓太田知事。暨其他多數列席。會務及會計報告後。選評議員畢。繼舉表彰式。受表彰人數。二十年以上勤續者四名。十年以上二十九名。同五年五十二名。三年七十二名。由坂本會長。授與賞品褒狀。次會長式辭。知事暨來賓祝辭。受賞者總代答辭。而閉式一同午餐畢。旋開紀念陸上運動會。競技種目二十種。乃散會。是日天氣溫暖。觀覽者頗多云。

竹州產業吏員
講習事項

新竹州勸業課。爲指導市街庄。產業事務之關係吏員。訂本月十五日起至二十日六日間。在竹市湖雅開產業講習會。擔任講師以勸業課長李讚生氏。擔任畜產關係之法規。併畜產施設事項。島田技師。擔任農事改良之現況。今村。及佐藤、東條二技手。擔任畜牛、及養豚、養鷄、併家畜簡易治療法。所關諸項。輪湖產業技師。擔任農業經營之合理化。三松技手。擔任林業一般。松木技手。擔任堆肥施設事業。督府派遣技師。擔任科外講演。

高雄州水產會
手數料減豫算難編

高雄州水產會。因不景氣與不漁關係。魚類起水額。較前年。約減五十萬圓。因此。水產會收入。起水手數料。亦減去約四成。致來年度豫算。陷于編成困難。現雖尙無着目。然大體新豫算互一般特別會計。較前年減額一萬二三千圓。合計按在九萬圓。最遲本月中編成完了。豫定來月初開總代會。

自投羅網
到某刑事宅
欲售阿片

基隆署防犯係刑事宅。去十三日午前八時頃。有一本島人。提出阿片煙膏一兩。求刑事購買。該刑事即爲々訊問後。取出捕繩。該人驚愕欲走。被捕往本署嚴究。判明該人係堀川町人紹呆。年五十九。被密輸入團託賣。因不知是刑事之宅。竟自投網羅云。

水洞海岸
盛採砂金

金價騰貴。基隆郡下採金熱復燃。瑞芳庄水南洞海岸。最近部落民。集海岸砂。於近溪洗砂金。一日一人。約可得利七、八十錢云。

嘉義青年訓練
十五日開所

嘉義市立嘉義青年訓練所。定月十五日午後七時。假嘉義小學校講堂。舉開所式。設立目的。爲不入中等學校者。鍛鍊其精神及身體。每年三月三十一日入所。入所者十六歲以上十七歲未滿青年。訓練則間四個年。其中修身公民科百時間。教練四百時間。普通學科二百時間。職業科百時間。總計八百時間。不徵費用。申入期至二月十三日。以市內各學校長及訓導爲教師云。

三高女音樂會

臺北第三高等女學校學友會。訂十四日午前九時。公開音樂會。爲父兄母姊及一般觀志。午後一時。招待音樂會。爲來賓及同窓會員。該校音樂會。久有佳評。屆時任必也衆矣。

金合號帆船
首尾浮海面
險中獲救

高雄市漁船海榮丸。去十一月上午十一時。在距高雄港內方約二十浬海上。發見有僅船首船尾浮于水面之帆船。且聞有呼救聲。即往救助乘組員三名。及將船體曳之歸港。該船係去九日出港于北門郡七股。向東港途中。蹤跡不明之金合發號。被救助船員。爲陳仙發年三十四。外二名。現在高雄署保護中。據遭難者所談。金合發號。去九日午前零時出港。未幾遇暴風雨。船體破壞浸水。幸船員皆抱住于帆柱。漂流海中。歷經三十二時間。飢寒交迫。極度疲勞。幸海榮丸經過。始受救助云。

大開旗亭
泥醉破壞器具
被拘入司法室

嘉義郡中埔庄頂埔人羅萬力。年三十。外三名同件。十一日午後九時頃。在嘉義市西門町西薈芳料理店豪飲。泥醉毀壞器具二十四點。被訴諸西門町派出所。有只野取締。及張刑事。不現場取締。即拘留入司法室訊問中云。

賭博受搜查身體
借群衆毆打巡查
關係者等被拘去嚴究

竹東郡橫山庄八十字馬福人。郭遠金。年三十。外四名。去八日午後二時四十分。聚賭中。被岸雜兩巡查發見。即搜查其身體。其後右賭漢及附近本島人。約三四十名。拳毆兩巡查。使各負治療二週間重傷。當局即拘關係者。以職務執行妨害嚴究中云。

後壁庄主開
競犁豫選

新營郡後壁庄主催之豫選競犁會。訂來十五日午前九時。在同庄役場東北側田地實演。是日三添郡守野津審查委員長及審查員按七名臨席。出演者三十名云。

上海事件以來
輸出精糖杜絕
斯業者工場閉鎖歟
糖界前途暗雲低迷

我邦精糖輸出。自昨秋滿洲事變發生以來。急激減退。蓋輸出地。主在上海。占今輸出之約九成。因此次之上海事件發生。輸出不然杜絕。爲是。前因金輸出再禁。略見好轉之各製糖會社。特注重於精糖部。各執有何等對策。即經營精糖之砂糖供給組合加盟六社。內地十四工場中。除中央製糖名古屋。新高製糖大阪工場外。十二工場。月產能力。一箇月。操業二十五日。五萬五千七百五十噸。然因內地供給協定量。本期四百八十萬擔。月平均不過二萬二千八百噸。昨年中。爲投資輸出。始加生產額。始得採算。然終因輸出不得。且將來亦未得樂觀。加之三月以降。來期落糖協定量。較本期。減少五十五萬擔。決定四百二十五萬擔。是故自來期起。生產設備。不得不休止約七成。且最近事情。依市價強固販賣之微妙統制。十九圓維持策。除至十八圓。是故各社由生產費以下經營。益要一層合理化。爲此對策。各社以爲二三工場。部分的使用。專將其一部工場全休。一部十分使用。較爲有利。各社雖尙付秘密。然此方針實施。已屆時期問題。大日本製糖。對於東京。大阪。大里三工場中。既將大阪工場。一時閉鎖。計畫以他工場製品。供給近畿需要。臺灣製糖對神戶第一。同第二。荒木三工場中。將最新之神戶第一工場休止。明治製糖。對川崎。戶畑。神戶之中。除與明治製菓隣接之川崎外。兩工場中。欲休止一處。鹽水港製糖。對東京。大阪二工場中。計畫注力於東京工場。皆豫定自來三月新年度起實施。而對於勞働者關係。與株價之下落。各社均視爲重大。雖尙未得明確態度。然於經營採算上。大勢必然。各社皆在攻究中。又各社。對於市場狀況。京濱地方。與生產費低廉之北九州。福岡縣下存置之工場。存置之而欲閉鎖坂神地方工場。最惹人注意。殊如有重大關係之大阪市場。與關門市場間。極有微妙之利害相反。臨新年度。開於各社態度。喚起絕大之注意云。

送院兩誌

▲新竹郡舊港庄貓兒錠字後面人陳清波。前犯詐欺。去六日。以事到同庄大眉字松柏林人富某之宅。見其家眷不在中。僅留養女守家。乃藉武力。強犯其貞操。八日被郡當局召審自供。十二日移送新竹支部法院究辦。

▲又同郡紅毛庄後湖字坡子頭人。林金春。年二十四。以赤貧故。會由同庄人楊魂開外一名。共有西瓜園。竊摘西瓜四個。價值一圓五十錢。併由朱慶順許揚酬。朱水技等之共有西瓜園。偷摘三個。價值一圓二十錢。被園主告訴。八日被竹郡召審自供。十二日送院究辦。

捕鯨兩頭
本年大板埒

東洋捕鯨會社。恒春郡大板埒捕鯨事業。較例年漁期稍遲。入二月。亦不見捕獲一頭。至去十日午後零時。在去鵝鑾鼻北々東十四浬海面。始捕獲雌雄二頭。長約三十尺餘。爲本年度之初漁云。

新營郡土地
改良研究會

臺南州新營郡。月十四日上午九時起。在同郡役所樓上。開土地改良研究會。是日同郡下各街庄長助役產業技手。及其他關係者。請出席人員。凡六十餘名。而臺南州藤黑水產課長。一則以講話者臨席云。

蘇澳

納稅表彰

蘇澳庄昭和六年度。前後期分。戶稅割。營業稅割。雜種稅割。納稅成績。去十一日午前十時。於公會堂。與表彰式。小辻庄長起述開會辭。由郡守。授與表彰狀。來賓祝詞。郡守訓示。後閉會。

青年結團

既報。蘇澳新改創之青年團。去九日午後七時半。在公會堂。開磋商會。審議團則。役員詮衡結果。團長陳順隆。副團長陳阿呆。幹事長陳德性。顧問小辻庄長。高橋助役。林陳九。莊阿鳳兩保正。揚長泉。去十一日午後三時。在公學校。舉結團式。有郡守以下官民。多數列席。式後一同登金刀比羅神社參拜。

課員無關

既報蘇東共榮乘合車。去六日夜。一漁夫對女車掌。種々無禮怪事。該漁夫爲誰。至七日。由蘇澳警察課。極力調查。已判明爲南方澳一番地。藤崎秀二。現在某漁業公司奉職。目下警察課召雙方。嚴重訊問中。至於庶務課員前報二名。實則一名而已。是夜雖與該漁夫同伴乘車。緣該漁夫大醉。不能制止之也。

鹿港

救助狀況

既報當街方面委員助成會。對於過去古曆年末貧民救助概況如下。一、收入之部。現金二百五十圓。內衣五十疋。在來種白米二十四石五斗。一、支出之部。救助戶數。二五八戶。共七四五人。配給白米二三石八斗五升。現金九十五圓四十錢。平均一人活生者。給與白米九升。現金二十錢。每增一人者。再加白米二升五合。現金十錢。內衣則給與當街住在月額現救助者。

總會齊開

當街區委員會。農業組合總會。與農倡和會鹿港支部總代會。去八日午前九時。合同開於街會議室。出席者。區委員五一名。代議員及總代二〇名。來賓古澤郡守外五名。先就區委員會。對於勅諭五十週年紀念兵器獻金募集之件說明。後進入農業組合總會。並昭和五年度決算提示。並昭和七年度豫算協議。十一時半閉會。

竹山

非常召集

佐藤臺中州警務部長。並高橋警部係長。去九日午前四時頃。突至竹山。創由寺尾郡庶務課長。召集部下。照付其檢對。至同六時告畢。

慶祝建國

竹山郡竹山。去十一日。建國祭日。各戶揭揚國旗。而竹山公學校。于午前十時起。舉祝賀式。集合官民。計百餘名。先由庄長林朝槐氏。述開會辭。次後合唱國歌。訓話。於後由朝倉郡守。三呼萬歲而散。

北港

區委員會

北港郡口湖庄。定十二日午前九時起。在同庄役場。召集區委員。就本期地租其他徵收督勵。開區委員會。

產組監查

北港郡決定依左記日程。西田岡及外一人出張。對郡下產業組合。施行事務監查。十九日口湖產組。十六日四湖產組第二事務所。十七日同第一事務所。十九日元長產組第二事務所。二十日同第一事務所。二十三日頂萬松產組第二事務所。二十四日同第一事務所。

農事評議

北港郡農事組合。月九日午前九時起。假郡役所樓上。召集同組合評議員並嘉義大圳監視員。就小水路工事費未納者徵收。及昭和七年度小水路維持並補修工事費所關。並其他事項。開事務磋商會。閉會後。同郡水利監視所員。就左記事項。亦開事務磋商會。

一、鹽水地改良之件。

一、保留地非灌溉地處置之件。

一、量水標所關之件。

一、爲小水路設計變更關於水橋其他構造物之件。

繞境徒商

北港媽祖。年例舊正十五日起。三日間。舉行遶境行列一節。日下期日切迫。同廟管理委員十數名。於月九日午後三時半起。會集于同廟接待室樓上。開委員會。決議依例自古曆正月十五日起。迎請聖母遶境三日間。各團體開會各齋團準備陣頭。欲期比前年加一層熱鬧。又此三日間。在廟後與郡衙。開臺南州主催之衛生展覽會云。

岡山

建國祭典

岡山郡岡山庄。去十一日建國祭。招集官公民有志及小公學校兒童等。自午前十時在岡山小學校庭。集遙拜式。式序行禮。唱君代歌。揭揚國旗。[illegible]庄長朗讀宣誓文。既畢。郡守。三唱萬歲。未和之。其次降下國旗畢。既遷于岡山公會堂。[illegible]某少佐。軍事講演。正午散會。

愛禽發會

岡山郡西庄保局某副平見。派職員有志者四十餘名。組織愛禽會。十日下午七時起。假岡山公會堂內發會。當日出席會員二十餘名。席上由郡職員。說明組織概要及規約。會長推爲齊藤芳次郎氏。現彌陀庄長。而副會長同郡庶務課長川野觀太平氏。九時散會。同會經乃飼以名古屋雞。並美國種白鷄爲主眼。會費一名二箇年二圓。會名顏日岡山愛禽會。事務所置于岡山郡庶務課內云。

詩壇

春日偕玉明君遊北投　　黃承節

偶成

連翩遊到夕陽時。洽洽溫泉又賦詩。偶看有隣花路畔。一双燕燕語喃呢。

如歸細草滿山幽。曳杖峰前踏遠畔。眞個紅塵飛不到。林中居士足清修。

遠別　　黃家修

遠別家園日已深。臨風度暗悲吟。問來恋下誰同醉。愁向花前獨自斟。流浪江湖非有意。飄零東海本無心。人生最恨如斯日。國土難逢一識音。

英美滙水　十三日

英美滙水　三弗四四仙八分五

金塊行情　十二日

上海金塊　六六九兩

銀塊行情　十二日

倫敦現物　一九片二三分一

同　先物　一九片一八分五

大連現物　六九四三九錢

同　先物　六九四四五錢

對外滙水　十三日午前十一時

倫敦電信賣　一志一片八分七

紐育同　三四弗八分三

孟買同　二二六留比

新嘉坡同　二二二

爪哇同　九〇盾

馬尼剌同　一四四比四分一

上海（參考同滙）　九七兩四分一

漢口（參考同滙）　八七兩

香港同　七七四四分三

廈門同　七六四二分一

漢文臺日案內

雜件　壯丁團服地羅紗及毛織

醫院　月桂齒科醫院　林氏　下奎府町四

旅館　臺南館　臺北市永樂町二丁目　電話二九九番

洋服　服地と裏地　逢坂洋服店　臺北市大和町二ノ七　電二三四五

臺灣日日新報
號外

昭和七年二月四日
（第三種郵便物認可）
[illegible]
發行所
臺北市榮町四丁目
臺灣日日新報社

本號外は本紙に再錄せず

陸兵增援後の上海

本社著寫眞通信續報

【1】第一線に指揮する下元〇〇隊長（占領せる支那張家宅車庫内にて）

【2】延焼中の寶山玻璃廠を睨みつつ前進する我軍

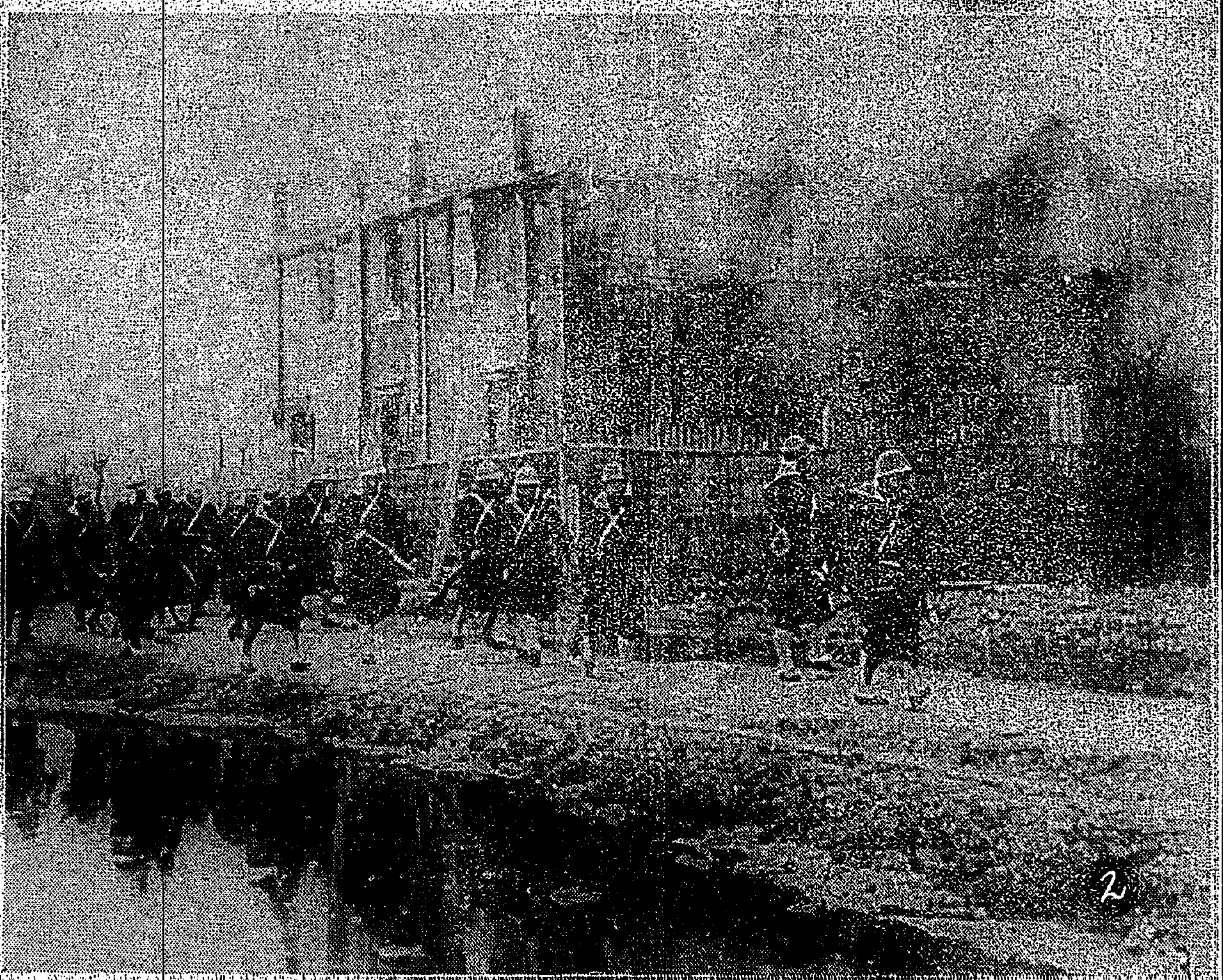
【3】張家宅車庫内より敵と激戰中の我陸軍

【4】北停車場附近の細路を挾んで激戰中の我陸戰隊

【5】公大紡績埋立地にて交戰中の我陸戰隊

【6】兵火に追はれ南京路に雪崩れる避難民

④


2

❺

⑥

臺北下奎府町に
眞性天然痘現る
幼兒は眞性、母親は疑似

東部豪灣で猖獗をきはめつゝある天然痘は遂に臺北市に襲來した、臺北下奎府町三ノ五白慶雲の孫白氏玉雲（二）は二月九日發病十三日午後九時死亡したが大稻埕仁濟醫院某醫師が死亡診斷の結果天然痘の疑ひあるより直ちに州衞生課に報告、州より[illegible]行檢案の結果眞性天然痘と診定した同玉雲の母白王氏金玉（二五）も十四日博愛醫院に於いて疑似天然痘と診定されたので州市衞生課及び所轄北署協力し附近の交通遮斷を行ひ大消毒を行つてゐる

（上海事變畫報）虬江路に於いて便衣隊狩をやつてゐる我が陸戰隊

我○師團司令部
堂々上海に上陸
十四日朝滙山碼頭より

（上海十四日發聯合）我○師團司令部一行は今朝滙山碼頭より威風堂々上陸を開始した

（上海事件畫報）脚部を打たれた我が負傷兵が戰線をうろつく隊朧車に乘つて歸隊するところ

敵に挾擊されて
山本（虎之介）大尉ら戰死
江藤少尉、橋口伍長は負傷
小鎭橋の奪取戰で

（吳淞十三日發電通）小鎭橋の奪取戰で敵に挾擊され午後五時半我軍苦戰に陷り○○○隊○隊長山本虎之介大尉、後藤上等兵戰死し江藤少尉、橋口伍長は負傷した、敵は二個中隊で機關銃を有し我軍增援隊を急派して激戰中（午後六時）

煙草を喫む瞬間
敵彈腹部に貫通
『之れしき―』と壯烈な一語

【吳淞十三日發電通】名譽の戰死を遂げた山本虎之介大尉（岡山縣出身）は小倉○隊の今泉○隊が苦戰に陷つたので下元○○隊長の命に依り午前十一時歩兵二箇○隊及び機關隊二箇○隊を率ゐ吹雪の中を泥濘の田圃を急行、恰も今泉○隊を背後から猛擊しつゝある機關銃を有する一箇大隊の敵と遭遇激戰一時間敵の逃るを追つて一キロ前進し今泉隊と合して目的を達し互に無事を祝して煙草を喫む瞬間敵彈腹部に貫通したが山本大尉は之しきと壯烈な一語を殘し戰死した山本大尉は最近まで三池中學配屬將校であつた

逆襲した
敵を返打ち
少尉候補生の殊勲

【吳淞十[illegible]日發電通】[illegible]

將校斥候の一隊
敵に包圍さる
伊地知中尉以下三名死傷
血路を開いて歸還

【吳淞十三日發電通】○○○隊伊地知中尉の一隊○○名は今朝將校斥候として江灣方面に向つた折柄の雪のため觀測不能で午後一時半競馬場の南方で大部隊の敵に包圍され一時全滅を危ぶまれたが輕機關銃で應戰し血路を開き午後三時本部に歸還した、この遭遇戰で伊地知○隊の椋田一等兵（沖繩出身）戰死を遂げたが牧谷の間もなく引揚るの已むなきに至つた、伊地知中尉は右眼に水野軍曹は右足に負傷した

侵略を罰するより
紛爭防止を強調
カナダ代表の演說
十三日の軍縮本會議

【ゼネバ十三日發電通】十三日の軍縮會議本會議は定刻午前十一時から開會、最初

カナダ代表サー・ジョージ・パーレー氏は我々がこの經驗から紛爭に對する最も良き保障は隣邦との友交關係なりとの確信を得た侵略を罰するよりは紛爭防止を強調し制裁規定を設けるよりは調停機關を設置し且つ國際聯盟を世界輿論の通路として用ふる事に依り最も良くその目的を達成し得ると信じてゐる

[illegible]ハンガリー[illegible]國の代表の演說あり十二時五分から支那代表

顔恵慶氏は日支間に持出した[illegible]演說を爲した[illegible]支那は支那の最近歷史に於ける最大の國家的危難に直面してゐるのである、軍備は共存共榮の爲め協力すべき各國民間の親善を亂し[illegible]を生み出すものである、[illegible]世界平和は[illegible]依つてのみ期待し得る[illegible]現代の戰爭機關を一掃すべきである[illegible]

更に顔代表は[illegible]

[illegible]切抜ける[illegible]支那人は現在の危險を[illegible]新らしい方向を決するであらう[illegible]斯くて本會議は午後零時五十分散會した

血迷へる支那軍
佛租界を砲擊
佛國領事嚴重に抗議

【上海十三日發電通】今朝八時より九時までに血迷へる支那軍は佛租界を砲擊し建物四箇を破壞し支那人の重輕傷者八名を出した佛國領事はその不法行爲に對し嚴重なる抗議を吳鐵城市長に提出した

重光公使
米公使と會見
支那軍撤退の要を說く

【上海十三日發電通】重光公使は本日午後三時から四時まで米國總領事館においてヂヨンソン公使と會談した重光公使は上海事件の由來經過を說明し租界の[illegible]を脫くため支那軍隊の相當距離に撤退を絕對必要とする所以を說き諒解を求めたものであるが米國初め列國も漸次事態の眞相を了解しつゝ[illegible]の如くである

松森上等兵の
告別式

【吳淞十三日發電通】[illegible]松森上等兵の告別式は去る午後二時○○隊本部の前に[illegible]○隊長その他戰友二十餘名參列して嚴かに執行された

敵の兵舍と
陣地に命中
柳營路方面の砲擊

【上海十三日發電通】陸戰隊本部發表、午前十一時柳營路方面に[illegible]小隊に對し第○○野砲の猛擊を加へ午後一時十五分[illegible]兵舍陣地に多數命中し效果を擧げた

敵に對し
威嚇砲擊

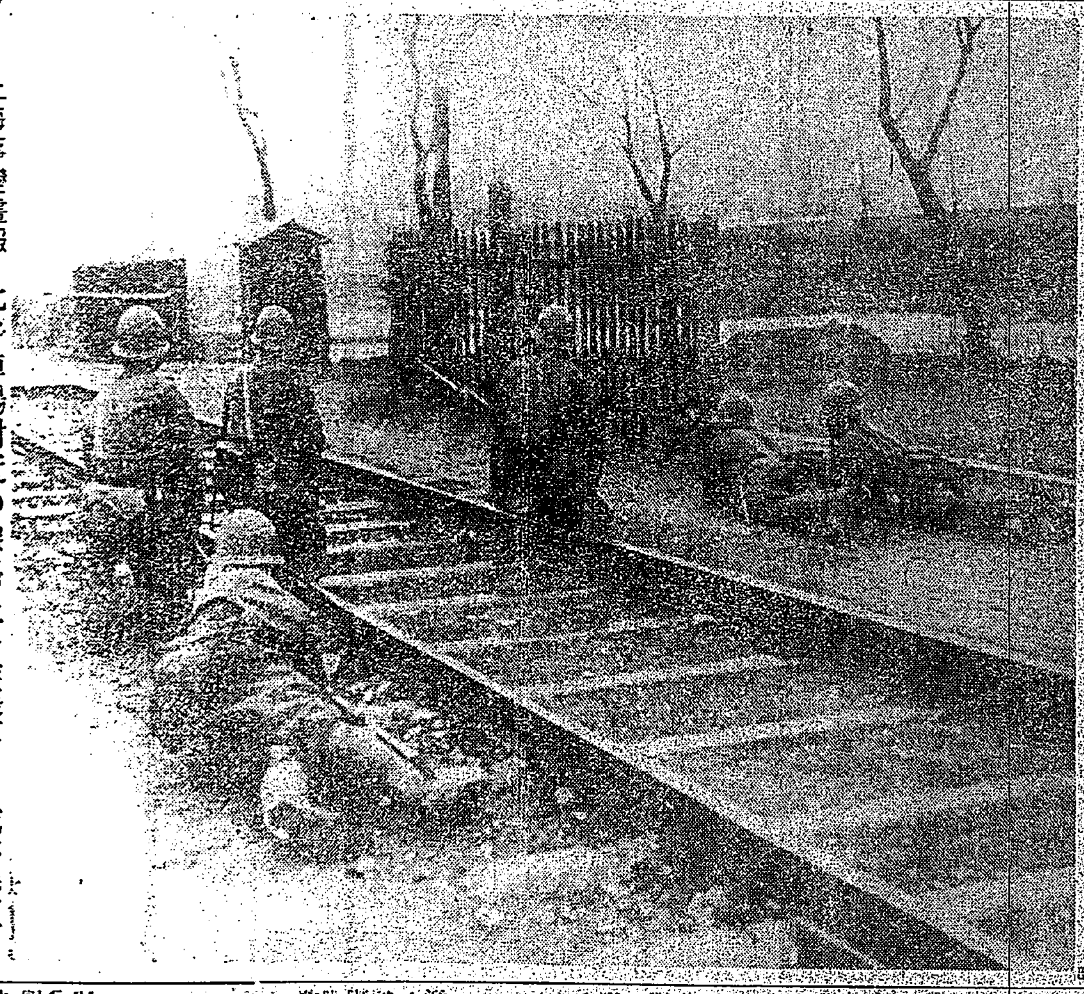
【上海十三日發電通】陸戰隊本部發表、午後七時四十五分閘北柳營路方面の敵に對し威嚇砲擊を加へ同時に吳淞鐵道附近の陣地及び六三路方面の我第一線から敵陣地を機關銃、小銃で射擊したが十時過ぐるも敵は寂として聲なく唯柳營路方面に敵軍の移動するらしきトラックの燈火を認め我警備境界附近で便衣隊の拳銃小銃を聞くのみで靜寂である

江灣方面で
敵兵潰走

【上海十三日發聯合】今朝七時頃江灣方面に殘留せる敵兵を掃蕩すべく雨を冒して我第○隊司令部は○○時行動開始、○○隊は同十時敵陣近く猛烈な突擊を決行激戰約一時間數百の死傷と多數の武器を遺棄し算を亂し西方に潰走した

我陣地へ
攻擊開始
柳營路江灣方面の敵軍

【上海十四日發電通】本日は天氣晴朗、午前六時二十分柳營路、江灣方面の敵は機關銃、小銃、曲射砲をもつて我陣地へ攻擊を開始したので六時半我軍は野砲で應射し彈聲殷々としてゐる



（上海事變畫報）北停車場附近の線路上を突擊する我が陸兵